

神戸市外国語大学 学術情報リポジトリ

アッセマーニ逍遙：アブラコス福音書を巡って

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2012-03-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 井上, 幸和, Inoue, Toshikazu メールアドレス: 所属:
URL	https://kobe-cufs.repo.nii.ac.jp/records/1486

This work is licensed under a Creative Commons
Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0
International License.



神戸市外国語大学 研究叢書 第50冊

アッセマーニ逍遙
—アプラコス福音書を巡って—

井 上 幸 和 著

神戸市外国語大学外国学研究所

2 0 1 2

アッセマーニ逍遙

—アプラコス福音書を巡って—

ПРОГУЛКА ПО АСЕМАНИЕВУ ЕВАНГЕЛИЮ

井 上 幸 和 著

目 次

まえがき	1
第1部 キーワードで捉える古代スラヴ語アブラコス文献	3
第2部 アブラコス福音書：現代ロシア語版と古代スラヴ語版の対比	27
あとがき	173
図版	175

アッセマーニ逍遙

—アブラコス福音書を巡って—

まえがき

この数年間、古代スラヴ語文献、とりわけグラゴル文字で書かれ写された文献に関心を持つようになり、昨年度は教材風のモノグラフを著した¹。古代スラヴ語の全般的な解説を講義とエッセーの形式でまとめ、また、アッセマーニ写本を一部、グラゴル文字活字で示したものに語彙集を付して、これも教科書風にした。そこでは、古代スラヴ語文献とりわけ写本の写真版などを取り上げては、観賞用のギャラリーとか、眺めるだけの *codicology* などと嘯いたりもした。もう少し内容に踏み込まなければ、結局は、筆者が批判的に行っている「物知り顔の解説屋」と変わらないではないか、と内心は忸怩たるものがあつたが、知ったかぶりの教師面で終始した。今回は、心を改めて、前著においては知っていて当然のように使用したいいくつかの用語と、筆者自身もよく分かっておらず、うっかり口にして逆に質問でもされようものなら立ち往生しかねない、しかし、極めて基本的な用語について、可能な限り丁寧な解説をしておきたいと思う。いわば、罪滅ぼしである。

今回も、前回同様に同僚の岡本崇男教授に何かと教示頂いた。また、同じく同僚の清水俊行准教授からは、現代ロシア語版のアブラコス福音書を貸与いただいた。もしそれを見る機会が無ければ、「アブラコス」なるものについてもっと漠然とした捉え方しかできなかったであろう。清水氏には筆者の素朴な質問にも丁寧に答えていただいた。素人の筆者が本書で軽々しく取

¹ 『古代スラヴ語ノート』神戸市外国語大学 研究叢書 第47冊 (2010)。

² СВЯТОЕ ЕВАНГЕЛИЕ-АПРАКОС по церковным зачалам расположенное. Санкт-Петербург, 2007. 本論中では、「現代ロシア語版アブラコス福音書」と呼んだり、Е.-А. (ЕВАНГЕЛИЕ-АПРАКОС の略) と略したりしている。書名中の Апракос が、本書の最も中心的なキーワードである。なお、この書物自体は左頁にロシア教会スラヴ語のアブラコス、右頁に現代ロシア語のアブラコスが対訳の形になっているのであるが、本書ではもっぱら右頁だけを利用しており、また、教会スラヴ語という名称を表面に出すと、後ほど取り上げる古代スラヴ語文献と紛らわしくなるので、もっぱら「現代ロシア語版」を強調している。

り上げている聖書や教会（正教会）関係の事々は、実は同氏の専門であり聖域であることを言い足しておかなければならない。なお、そういった関連のことで、とんでもない間違いが残っているとすれば、それらは明らかに筆者の思い込みにだけ頼って確認さえしなかった筆者の傲慢の現れである。

本書の構成は、大きく第1部と第2部に分かれる。第1部では、上記のように、古代スラヴ語の文献を解説する際に筆者自身曖昧な理解しかしていなかった事柄、実態をよく把握しないまま受け売りと聞きかじりを鸚鵡返しのように講義していた事柄、とりわけ用語の具体的な内容をいくつか、少なくとも筆者自身が納得できる程度には、言葉を尽くしたつもりである。中には言わずもがなの蛇足や、なおまだ舌足らずの部分もあるであろう。なお、「キーワード」と称して、あえて用語を見出しにして羅列したことに深い意味はなくて、原稿提出の締切に合わせてどこでも中断することができるようにしただけのことである。

第2部では、解説することは何もなく、見てのとおり、4種の「アブラコス福音書」の対比である。福音書の記事自体はいっさい掲げていない。したがって、アブラコス福音書の文字通り「骨組み」である。あちこちに空白部分が多いこと自体にここでの「対比」の意図がある。どれほどの意味があるのかは、筆者自身心許無いが、類似のものをこれまで見たことはない。

最後に本書の表題について。少しは学術書に見えるようにと思案もしたが、近々でも数年、元まで戻れば30年以上、古代スラヴ語文献の周辺を彷徨ってきた。少しだけ気取って『逍遙』としてみた。むしろ、ロシア語での表題が素直な心境の表現である。

2011.9.30

第1部 キーワードで捉える古代スラヴ語アブラコス文献

本書の目的は、アブラコス福音書の実態³を明らかにすることにある。より直接には、古代スラヴ語文献の内のアッセマーニ写本の実態を周辺の文献知識をも利用して、わかりよい形で捉えることにある。

以下（第1部）では、章立て、節立てのかわりに、いわゆる「キーワード」をいくつか取り上げ、本書全体のテーマをキーワード毎にほぐしていくことにする。キーワードの順序はあまり意味を持たないが、キーワードの中心は「アブラコス」である。このキーワードに記述の順番が来るまでは「アブラコス」の具体的な解説は提供されていないのであるが、先行のキーワードの説明中に、用語「アブラコス」が使用されることはありえる。このことは、他のキーワードについても同様に言える。この矛盾を避けるだけの用意周到さを、筆者は持ち合わせていない。

《古代スラヴ語》

順序から言っても、解説の取っ掛かりとしても、このキーワードから始めるのが穏当であろう。前著とも繋がることになる。もちろんここでは、本書のテーマの範囲でのキーワードとしての「古代スラヴ語」の解説に絞ることになる。

筆者は、「古代スラヴ語」と「古代教会スラヴ語」とをほぼ同義で用いていること、前著でも述べたとおりである。そしてこのところは口頭でも筆記でも、好んで「古代スラヴ語」を頻用する。多少の理由もなくはないが、いづれにせよ、後代の名付けであることに違いはない。そして現代の視点から素直に言うならば、現代スラヴ諸語（複数形、単数の現代スラヴ語というものはない）の歴史を1千年ばかり遡ると、現代スラヴ諸語がほぼ均一の姿、すなわち単一の言語であるかのような言語状況に行き当たる。そしてその辺りが、スラヴ語の書記文献が現存している上限である。もっと平易に言え

³「実態」とはずいぶん大袈裟な表現であるが、筆者を含めてその中身を知らない者の立場からの言い方である。決して「新発見の事実」を提供しようというものではない。

ば、はじめて文字が考案され、当時のスラヴ語（今でいう方言的差異は若干認められるようであるが、ほぼ単一の姿をしていたと想像される、現代スラヴ諸語の祖先）に聖書（新約、旧約）や教会関連の書物が翻訳され、その一部が現在に至るまで保存されているのである。その時代をとらえればスラヴ世界では「古代」、そして現代のスラヴ諸語の直接の祖先なので「スラヴ語」、したがって「古代スラヴ語」ということになる。「教会」を付ける理由も理解できる。しかしそれは“Homeric Greek”というのとは、少し違うと思われる。もちろん、「古代教会スラヴ語」という用語を否定しているわけではないが、この呼称に執着している立場の人たちには共感できない。「古代ブルガリア語」となれば、なおさらである。

もう少し、本書のテーマとの関わりで、キーワード「古代スラヴ語」の側面に触れてみよう。古代スラヴ語に翻訳された聖書・教会関連文献が具体的にどのような内容で、数量がどれほどであるのかについては、前著での解説に譲る。「古代スラヴ語」と『アッセマーニ写本』の固有の接点は、「グラゴル文字」と「アブラコス福音書」である。前者については前著で解説した。そして、後者は後ほど解説する本書の中心的キーワードである。したがって、ここで述べる事柄は、後ほど解説するキーワード（それをこの場で先取りして解説すると、かえってややこしいことになる）を念頭において、古代スラヴ語から見て様々な捉え方をすることができる翻訳文献のうち、『アッセマーニ写本』はどのように捉えることができるか、という1点での解説である。

接点の一つ「グラゴル文字」については、前著にもあれこれと書いたのであるが、あらためて『アッセマーニ写本』との関わりで強調しておく、『アッセマーニ写本』は、おそらく間違いなくグラゴル文字を用いて翻訳された（アブラコス・タイプの）福音書⁴の何度目かの写しである。周知のよ

⁴「（アブラコス・タイプの）福音書」とか「アブラコス（・タイプの福音書）」とか、わざわざ括弧付で思わせぶりな書き方をしている理由は、やがて明らかになる。要するに、福音書の1つのタイプに「アブラコス」という難しい用語を使っているわけである。Aタイプ、Bタイプとか、第1タイプ、第2タイプというのとほとんど同じであるが、意味が分かれば、こちらの方が便利である。

うに、古代スラヴ語文献は、基本的には、グラゴル文字かキリル文字かのいずれかの文字を使用して翻訳されたと、簡単に済ますなら、これで充分である。しかし、少し捻くれた視方をする、各種翻訳の原本はいつさい残っていないようであるので、グラゴル文字で翻訳されたものをキリル文字で写す、あるいはその逆、というのも考えられないことではない。それにどんな意味があるのかは別にして、⁵ いずれにしても、この1点だけでは古代スラヴ語と『アッセマーニ写本』の固有の接点とは言えない。なぜなら、グラゴル文字で書かれ、写された（と考えてよい）古代スラヴ語文献は、他にもあるからである。そこで、もう一つの接点「アブラコス（・タイプの福音書）」と併せて、はじめて「固有の」接点が成立するのであるが… ますます、「アブラコス」なる用語をここで解説してしまいたい衝動に駆られるが、もうしばらく慎重に（勿体ぶって）手順を踏むことにしよう。

当初は、古代スラヴ語文献の中で『アッセマーニ写本』を位置づけるために、その独自性を見出すことを目的として、他の文献との表面的な比較対照を行うことに終始していた。その簡単な答えの一つがグラゴル文字文献であることは、容易に判ることであったが、それだけでは『アッセマーニ写本』の固有の特徴とはならない。とはいえ、『アッセマーニ写本』だけが持つ独自性は他には見当たらないこと、上に書いたとおりである。確かに、『アッセマーニ写本』が「アブラコス福音書」であることも、どのような参考書にも書いてあるが、他にも「アブラコス福音書」があることも記されている。答えが判ればなんということもないが、「グラゴル文字」と「アブラコス」の2点を結びつけると、古代スラヴ語文献中の『アッセマーニ写本』の独自性になるのである。「グラゴル文字」と「アブラコス」の間には、本来、何の繋がりもないが、このふたつを結びつけると、直ちに『アッセマーニ写本』の独自性が浮かび上がるという次第である。グラゴル文字テキストのサ

⁵ 現実に、グラゴル文字文献を活字で印刷する際に、キリル文字に転写するという慣習が以前からある。写本と印刷の違いはあるが、同じことをしていることになる。もっともキリル文字による転写印刷にまったく意味がないわけではない。

ンプルとしてのアッセマーニ写本は、前著においてほんの少しだが扱ったので、本書においては「アブラコス福音書」としての『アッセマーニ写本』を内容的に検討することにした。ただ、その際には若干のサンプルを掲げるといふわけにはいかない。何らかの方法で全体像が見えるようにしなければならない。

ところでもう一つ、古代スラヴ語文献における『アッセマーニ』写本の独自性を考える上で、忘れてはならないことがある。それは、「アッセマーニ写本の文法」である。いきなりの妄言であるとの批判は甘んじて受けるが、例えば、A. X. Востоков 校訂の『オストロミール福音書』⁶には、付録として簡略な文法が付してある。Грамматические правила словенского языка извлеченные из Остромирова евангелия⁷ という表題からして、明らかに「オストロミール福音書の文法」である。あるいは、やや逆説的な例であるが、近代におけるスラヴ語学の祖とされるドブロフスキー (J. Dobrovský) が「古代スラヴ語基礎 Institutiones linguae slavicae dialecti veteris」を出版した時 (1822年)、知られていた古代スラヴ語文献は2点、すなわち、「クローツ文書 (Glagolita Clozianus)」と「アッセマーニ写本 (Codex Assemanianus)」であった⁸。ということは、ドブロフスキーはこれら2つの文献に基づいて「古代スラヴ語基礎」⁹を著したのである。後の例はあまり説得力はないものの、「アッセマーニ写本の文法」や「マリア写本の文法」などがあってもおかしくはないわけである。もっとも、各種文献の文法を集大成したのが、現代の「古代スラヴ語文法」であることになるわけ

⁶ 1845年、Санктпетербург 刊。

⁷ 現行の正書法に直した。

⁸ この箇所、前著でも大いに利用させていただいた、金指久美子「古代スラヴ語文献の発見と校訂テキスト出版をめぐる」(東京外国語大学論集第64号、2002)の示唆を参考になっている。ただし、金指論文では、「スブラシル写本 (Codex Suprasliensis)」がドブロフスキーの著作が出版された翌年、すなわち1823年に発見されたことを指摘することに重心がある。

⁹ 気軽に書名を上げて、つい最近までであれば (具体的には1年ばかり前)、いくら受け売りとはいえ、「見てきたような嘘を言い」であったが、またまた同僚からマイクロ・フィッシュ版をファイルに落としたのを提供され、文字通り目にすることができた。もっとも、まさに目にしただけで、とても手に負える代物ではない。

ではあるが。

最初のキーワードからいきなり纏まりのない解説になってしまったが、本書のテーマに関係する最も包括的なキーワードによる解説のやむを得ない結末ということで理解されたい。

《聖書》

本書のテーマをとらえるキーワードとしてこれを選ぶことは、当然と言えば当然であるが、しかし、どのような切り口でとらえれば、本書のテーマに多少の厚みを持たせることができるかは、案外、難しい。これを飛ばして、いきなり、キーワード「福音書」から始めるのも悪くはない。しかし、ここでは敢えて、我々一般（非信者の意味で）の日本人が「聖書」をどのように捉えているかを、すこし考えておきたい。

まず基本的な（したがって低い次元の）話から始めよう。ここで言う「聖書」は、当然のことながら、キリスト教の聖典である旧約聖書と新約聖書のことである。ただし、聖書、聖典は、つねにキリスト教だけのものではない。わが国では Bible, Библия, バイブル、聖書、とどのように言っても、もっぱらキリスト教の聖典を簡略に呼ぶ名称になっているが、非キリスト教国の者、或いはキリスト教の信者でない者は、「聖書＝キリスト教の聖典」と安直に結びつけることは慎むべきである。他人の母を「お母さん」と呼ぶようなものである。（すこし違うかもしれない）

ともあれ、ここ（古代スラヴ語の世界）ではキリスト教の「聖書」のことである。古代スラヴ語の文字（グラゴル文字）が考案され、スラヴの使徒と称される（コンスタンチン）キリルとメフォデー兄弟がギリシア語から当時のスラヴ語方言（今日、それを古代スラヴ語、より厳密にはキリル・メフォデー語と呼んでいる）に、現存の何倍ものキリスト教関係の文献を翻訳するまでは、確認する方法はないが、「聖書」という単語も概念もなかったであろう。一方、現在の我々日本人も（一部のキリスト教信者を除いて）、キリル・メフォデー以前の時代のスラヴ人と同様、日常の中に「聖書」という単

語や概念は持ち合わせていない。使用する、知っている、というのは、単に知識として、教養としてである。

さて、そのような知識として、「古代スラヴ語」あるいは『アッセマーニ写本』との関連では、「聖書」に関してどの程度のことを知っておくべきであろうか。まず、「神」「信仰」に関係する事柄は、信者ではないことを言い訳に、触れずにおくことを許してもらおう。とは言っても、「聖書」を物語、叙事詩、小説のようにとらえるわけではない。翻訳源も翻訳も、あくまで宗教上の書物であるが、言語資料として利用する場合には、万人に平等な文字で書かれた文献であり、それ以上でもそれ以下でもない。文字で書かれた様々な文献の一つに過ぎない。さてその「聖書」、当然、旧約聖書と新約聖書があり、古代スラヴ語文献としても、両方が存在する。現存する旧約聖書からの翻訳は詩篇のみであるが、旧約全体の翻訳も行われたようである（つまり、失われたのである）。一方、新約聖書の方は、古代スラヴ語に翻訳されたのは次項のキーワードでもある「福音書」の翻訳である¹¹。次項で詳しく述べるが、古代スラヴ語の「福音書」は何種類か写本があり、その一つが『アッセマーニ写本』であるが、まさにその「福音書」の様相（外見）が、本書のテーマの核心である。すなわち、ここでも話を先取りしてしまうことになるが、仮にアッセマーニ写本を現代ロシア語にでも日本語にでも翻訳してみても、どこをどう眺めても、普通に我々が福音書として（ロシア語や日本語で）見たり、読んだりするものと、おおいに様相（外見）が異なる。始まりも終わりも途中も、ことごとく違っているのである。仮に福音書にストーリーなり顛末があるとしたら、アッセマーニ写本ではそれが細切れになってあちこちに散在し、簡単には通常の福音書のストーリーなり顛末を復元することはできない。それにもかかわらず、アッセマーニ写本は福音書なのである。持って回った言い方になってしまったが、案外、当を得ているか

¹⁰ シナイ詩篇 Psalterium Sinaiticum. Синайская Псалтырь.

¹¹ いわゆる教義の古代スラヴ語文献の中には、新約聖書の「福音書」以外の部分、すなわち「使徒行伝」及び「書簡」の翻訳は、知られていない。

もしれない。

ともかくも「聖書」の方から古代スラヴ語文献を見た場合は、概ね以上のごとくであるが、古代スラヴ語文献全体からみると、かなりの部分を占めるとはいえ、旧約と新約の翻訳が文献のすべてではない。ここでは詳しくは記さないが、聖者伝、祈祷書、説教集などというのものもある。ただ、すべてが教会関係の文献であるので、前述のように、「古代教会スラヴ語」という一風変わった言語名も使用されるのである。

《福音書》

「福音」という日本語は、希に日常語としても用いるが、やはりキリスト教の中心的な概念であろう。辞書によれば、〈福音主義〉：『神の子キリストの十字架での贖罪による靈魂の救いという福音を信仰の中心観念とし、もっぱら敬虔な心情と実践を重んずる主義』、〈福音書〉：『新約聖書の中で、キリストの教訓および一生を記述した書。「マタイ」「マルコ」「ルカ」「ヨハネ」の四書。』（いずれも新潮国語辞典、第2版）とある。勝手な感想を述べるが、この2つの辞書項目の説明が、日ごろ、筆者が辞書に関して抱いている2つの不満の典型例のように思える。すなわち、「福音主義」の説明は、難しすぎて何のことかわからない。「福音書」の説明は、あまりに皮相的で、知ることの喜びからは程遠い。辞書の限界と言えそれまでであろうか。¹²

さて、本書で必要な「福音書」の知識は、上の福音書の辞書説明が多少は助けにはなるものの、実際に見ていくと分かるように、かなり様相の異なるものに見えてくるであろう。聖書は、宗教書のコーナーにあるだけのものではなく、各種文庫にも収録され、ほぼ、一般書扱いと言ってもよい。しかし、信者でなく、また特別な関心が無ければ、めったに手にすることもないであろう。それは、ここが日本だからである。福音書も含まれる新約聖書と旧約聖書が世界のベストセラー本であり、しかも大ロングセラーであること

¹² 序に言うと、どの国語辞典を見ても「アブラコス（福音書）」という項目は見当たらない。

を知る人は少なくないであろう。欧米では、必ず一家に一冊あると言ってもよい。日本では、何に当たるだろうか。漱石全集か、あるいは一時期の大百科事典か。日本で聖書が常備されているのは、一流ホテルの部屋の机の引き出しの中くらいである。(随分話が逸れてしまった。) なぜ、このようなことをくどくどと言うのかというと、卑近な例で申し訳ないが、昨年度、古代スラヴ語入門の講義で、たった一人の受講者に、いずれ必要になるからなるべく早い段階で、聖書、せめて新約聖書だけでも、あるいは福音書だけでも購入しておくように、と言っておいて、その後何度か、購入したかどうか聞いた。ついに1年間、彼はそれを買わずに済ませた。実際の授業では福音書の古代スラヴ語訳を読む場面もあったのである。この受講生が特別なのか、あるいは、授業の中で聖書や福音書の購入を勧めることが異常なのか、あるいはまた、聖書を「購入する」ということ自体の意味が理解できないのか(どうやらこれが答えらしい。試しに、「三宮センター街を歩いていたら、作り笑顔の色白の外国人がタダで聖書をくれるよな」と言うと、急にケラケラ笑い出した。)。本心を質すことはあえてしなかった。(以上、余談である。)

人によって(特に日本人の場合)様々な受け取られ方をする聖書、あるいは福音書であるが、本書では、ある意味で、最もマニアックといえる福音書の取り上げ方をすることになる。ここから後、福音書を、上にも紹介した辞書の説明だけで済ませることができなくなる。前以って言っておくと、ここまで話題にしてきた福音書は「四福音書¹³」と呼ばれるタイプの福音書である。「タイプ」ということは、他にも「別タイプ」があるということであるが、それについてはもう少し後に述べる。「四」は、4人、福音書の著者¹⁴の人数である。つまり、イエス・キリストの伝記(言行録)を4人の著者がそれぞれに著したものをまとめて「四福音書」と呼んでいる。具体的に指示する場合は、それぞれの著者の名を冠して、「マタイによる福音書、あるいは

¹³ Quattuor Evangeliorum. Tetraevangelia. Четвероевангелие.

¹⁴ ロシア語では、便利な一語 „евангелист“ がある。

マタイ伝（以下同様）」「マルコによる福音書」「ルカによる福音書」そして「ヨハネによる福音書」と区別する。（このあたり、常識中の常識を承知の上で書いているが、あとになってこの常識が特別な意味を持つてくる。）ついでに書いておくと、いずれの福音書も、近代の書物にもよくあるように、第1章、第2章……というような章立て、さらには、第1章第1節、第2節……というような節立てが、伝統的に行われている。もっとも節立ては、今風に言えば、細かすぎる。ちなみに「マタイ」は全28章、「マルコ」は全16章、「ルカ」は全24章、そして「ヨハネ」は全21章で、全部合わせても日本語訳の文庫版で少し厚めの1冊分である、といえ凡そのイメージは掴めるであろう。なお、以下の記述とは直接の関係はないが、従来から「マタイ」「マルコ」「ルカ」の3書は、内容が似ていることから「共観福音書」と呼ばれて、「ヨハネ」と区別している。その意味で、逆に「ヨハネ」の独自性があるわけである。

さてそこで「福音書のタイプ」であるが、「四福音書」が1つのタイプであるとすれば、少なくとももう一つ、別のタイプの福音書がある。それが、次のキーワードでもある「アブラコス福音書」である。別種の福音書というのではなく、タイプの違い、もしくは福音書というものの取扱い方、用途の違いなのであるが、詳細は次項に譲ることにする。

《アブラコス》

古代スラヴ語のテキストとして、様々ある中で、比較的近づきやすく、したがって、ちょっとした入門書の撰文集（テキスト・サンプル）にも必ず採用され、また読解用に整備されることも多いのは、新約聖書の福音書の翻訳である。サンプルであり、読解用テキストであるので元の福音書のどの部分からの抜粋であるかは示されているが、引用源の福音書、あるいはその写本がどのような形態・構成なのかは推し量り難いし、ふつつそうする必要もない。マタイ福音書ならマタイ福音書の第何章、第何節なのかが判れば、とりあえず十分である。写本としても何種類かあるが、同一箇所であれば、大き

い差異はない。写本の別とともに、時に明記して区別されるのは、それがグラゴル文字写本なのか、キリル文字写本なのかくらいである。それも、現実にはグラゴル文字写本もキリル文字で印刷されることがほとんどであるので、表面上は、何ら違いが見当たらない。うっかりすると、古代スラヴ語の福音書の写本はヴァリエントが何種類かあるにすぎない、と誤解されかねない。もちろん、入門書の概説の部分を丹念に見れば誰にも直ちに見つかる記述があることはある。例えば、日本語で書かれた代表的な入門書（以後、解説①とする）では、主要な古代スラヴ語文献の一つ、アッセマーニ写本について『ラテン語で《evangeliarium》、ロシア語で《アブラコス (апракос)》と呼ばれる形式の典礼用福音書抜粋で、日曜及び祝日に教会で朗読されるテキストを教会暦によって配列している。¹⁵』とある。一気に畳み込まれて思わず納得となるのか、あるいは一読しただけでは理解しかねるのか。本書のより初歩的な解説を読んだ後であれば、何とか理解できるであろう。また、少しニュアンスが異なるが、ほぼ同内容で実情が呑み込めていない者にはやはり理解困難な説明が、H. G. Lunt, *Old Church Slavonic Grammar* にもある。¹⁶（解説②とする。）三省堂の『言語学大辞典』世界言語編「古代教会スラヴ語」の項にも何がしか言及されているが、信頼できないので無視する。そして他には「アブラコス」とは何かについて、管見の限り、参考にするべきものがこれまではなかった。したがって、上の2つの説明で良しとしなければならなかったのだが、筆者自身、まだ腑に落ちない部分があり、また、それを質問されたら、答えに窮する事柄、さらには、上の記述の中にも1、2の疑問がある。本書のテーマは、筆者が最も関心を寄せている古代スラヴ語文献であるアッセマーニ写本をいかほどか分解することにあるが、その最大のキーワードがこの「アブラコス」にある。アブラコスの何が問題であるのか、上の記述にどのような疑問あるいは不満があるのか、追々述べていく

¹⁵ 木村彰一『古代教会スラヴ語入門』白水社、26頁。

¹⁶ 2001年が最新版であるが、あえて1974 (6th ed.) を引用する：The two evangelaria [i.e. Codex Assemanianus and Savvina Kniga] (Gospels arranged in lessons to be read on Saturdays, Sundays and Feast Days, also known as Aprakos-Gospels) ... (p.6).

ことにするが、まずその前提を現段階で判明した範囲ではっきりさせておこう。根拠となっているのは最近見ることのできた2つの資料である。1つは、「まえがき」にも書いたように、本書執筆の直接のきっかけになったとも言える現代ロシア語版アブラコス福音書の「序文」（以下、資料①とする）である。わずか3ページほどの簡潔な記述であるが、木村（解説①）、Lunt（解説②）の数行の解説に較べれば、何十倍もの情報を得ることができる。さらに、筆者にとってはいささか過剰な情報量であるが、せっかく知り得たので、何とか一部なりとも本書に取り入れたいと考えているのが、A. A. Алексеев, Текстология славянской Библии. С.-Петербург, 1999. である。¹⁷（以下、資料②とする。）この2つの新情報源を文字どおりの付け焼刃として、いささか前提的なことを解説し、木村（解説①）、Lunt（解説②）に対して、多少の補足をしておきたい。

まず前提の第1は、木村（解説①）、Lunt（解説②）ともに「アッセマーニ写本」に対するコメントとして用いているので、その限りでは間違いではないが、「アブラコス」は、民間暦と並行して教会暦¹⁸に沿った新約聖書の抜粋（教会用語で *чтение* と呼ぶが、適切な訳語が見つからない）で、「福音書のアブラコス」と「使徒行伝（*Деяния апостолов*）のアブラコス」がある。¹⁹したがって、アッセマーニ写本に関して言うと、「アブラコス福音書」ということになる。そして、何よりも重要なことは、ここで言うアブラコスとは、福音書の一形式につけた名称であることである。一形式ということは、他にも形式があるということで、もう一つの形式が、通常、新約聖書に含まれる四福音書である。これについては前項の「福音書」でも述べた。これは最も留意しておかなければならない前提であろう。この前提に基づい

¹⁷ ただし、直接に利用したのは、Глава 1. Типология славянских библейских текстов の中の、「アブラコス」と「教会暦」に関係する数節だけである。

¹⁸ 次項のキーワードではあるが、簡単に触れざるを得ない。民間の太陽暦に対して教会行事がそれに基づいて行われるのが、教会暦である。民間暦は9月1日を以って1年が始まり、教会暦は太陰暦で、春分の日の中の最初の満月の後の日曜日を以って1年が始まる。従って、1年の始まりの日付が毎年異なることが、大きい特徴である。

¹⁹ 資料②第1章第5節、参照。

て、より知名度(?)のある²⁰四福音書に対するアブラコス形式の福音書をさらに具体的、内容的に捉えることができるようになる。

さらにもう一つの前提。アッセマーニ写本(Ass)とともに、古代スラヴ語の重要な写本である「サヴァの本 Саввина Книга (Sav)」も同じく「アブラコス福音書」である。²¹ ついでに書いておけば、写本としては最も古いとされる「ゾグラフィオス写本 Зографское евангелие (Zo)」と「マリア写本 Маринское евангелие (Mar)」²² はいずれも四福音書である。推測も含めて整理しておくと、「アブラコス」という名称がビザンチン期のギリシア語であり、ギリシア正教会の概念であり、そしてその形式がそのまま古代スラヴ語への翻訳としても踏襲されたということから、古代スラヴ語期においてはアブラコス福音書と四福音書は少なくとも対等の位置づけをされていたと考えてよいであろう。それも含めて、現代の正教会において日々執り行われているのがアブラコス形式の福音書による典礼(「奉神礼」あるいは「聖体礼儀」と言う方が正しいようである)であること、ただし、使用されている福音書が四福音書であることが、第2の前提である。(この点に、筆者は最も頑固にこだわっている。) この第2の前提は、同僚から貸与を受けた「現代ロシア語版アブラコス福音書」が、同僚曰く「アンチョコのようなもの」²³ であるという極めて説得力ある一言を大きい根拠としている。しかし、筆者一人が納得している恐れもあるので、ここは共通理解のために、あ

²⁰ あくまでも非信者の側からの見方である。つまり、一般的には四福音書を指して単に「福音書」と呼ぶ。果たして(正)教会に通う信者たちは、日々読みあげられる福音書の一節が、四福音書に基づくものであるのか、あるいはアブラコス福音書に基づくものであるかを、認識あるいは意識しているものなのであろうか。批判的な意味は無く、非信者の素朴な疑問である。

²¹ 本書第2部では、「アッセマーニ写本」および「サヴァの本」と並べて「オストロミールの福音書」を、アブラコス福音書の構成の対比のために取りあげている。ただし、狭義の古代スラヴ語文献(カノン)には含められないものであるので、第1部の論議の中では、原則的には言及しない。(古代スラヴ語の枠外で言及することはある。)

²² ちなみに、AssとZoはグラゴル文字写本、SavとMarはキリル文字写本である。

²³ 私的な会話での口語的表現をそのまま活字にしてしまって申し訳ないが、筆者としてはこれほどわかりやすい表現はないので、そのまま使わせていただいた。資料①によれば、16世紀ルーシに印刷術が起って以降、アブラコスはあまり用いられなくなり、19世紀半ばになってモスクワにおいて印刷された時、アブラコスという名称は教会実務に知られていなかった模様である。ようやく20世紀に入って、現在のアブラコス福音書を彷彿させる名称が付された。

えて確認しておこう。現在の正教会の状況を想像すると、このようになる。日々、神父が読誦するのは、その日その刻に定められた、福音書なら福音書の該当箇所、しかし目前におかれて開かれているのは四福音書、つまり、アブラコス福音書が置かれて開かれているのではない。では、その日その刻いずれの箇所を読誦するかをどのようにして確認するのかというと、あらかじめそれを記載した一覧表のようなものがあり、間違いの無いように確認して予め開いておくという段取りである。今回出版された「アブラコス福音書」がまさにそういった性格のものであることを、同僚は一言で表現した、と筆者はとらえている。ほぼ正しいか、あるいは大きい誤謬があるかは、あえて確認しないでおくことにする。それでは、アッセマーニ写本やサヴァの本、あるいはオストロミール福音書の利用状況はどうであったのか。現代の正教会での四福音書に変わるものとして実用された実績が過去にはあったのであろうか。やはり、「アンチョコ」的役割をしていたものであったのだろうか。気がかりなのは、いずれの写本も実に丁寧で豪華な出来栄である。後でも言及するが、資料①の冒頭に、資金不足のために聖書を丸ごと写せずに日曜日と祝日のための奉神礼の箇所だけを写した場合もある、との記述とは、明らかに矛盾する。アッセマーニ写本やオストロミール福音書の場合は、まったく違った目的で作成された、アブラコス福音書の豪華写本であったのかも知れない。²⁴ 将来的に考えが変わるかもしれないが、今のところ、そのように理解しておく。

さて、とりあえず以上のことを前提として、できるだけ「アブラコス」の全容をその構成の側面から明らかにしておき、第2部における各種のアブラコス福音書の対比の理解に資するべく準備したい。その際、上記の2つの解説の中の曖昧な個所の訂正も行っておく。アブラコスが四福音書からの抜

²⁴ 四福音書の少し古いもので、かなり使い込まれてくたびれているがやや豪華な印刷本が、筆者の手元にある。1905年モスクワ刊で、想像するに教会で日々使用されていたものであろう。より後年に出版された四福音書と最も大きく異なるところは、各福音書の通常の章節の他に、欄外に *зачало*（即ち *чтение*）番号が添えられていることである。同様のタイプのものは見たことがない。「アンチョコ」要らずの四福音書なのかもしれない。

粹である、という説明は、事実でもあるが、誤解をも生みかねない。筆者も今回、アッセマーニ写本の内容と構成をやや詳しく検討してみて、誤解の部分に気付いた。つまり、アブラコスが四福音書のエッセンスという意味での抜粋と想像していたのが、必ずしもそうではないことである。確かに、四福音書の一部がアブラコスにおいて読まれていない（*чтение* に入っていない）のも事実である。また、前述のように、その昔、小さい教区（したがって貧しい教会）では、資金不足で聖書（四福音書）丸ごとを写すことができず、祝祭日の *чтение* の部分だけを写していた、また、その内容も分量もまちまちであった、という指摘もある（資料①）。しかし実際にアブラコス福音書として読まれる *чтение* は四福音書のほぼすべてをカバーしており、アッセマーニ写本で言えば、読まれない箇所は、ルカ福音書はやや多く13カ所あるが、他の福音書はせいぜい3、4カ所、しかもいずれも数節程度である。逆に、2度3度と反復して読まれる箇所も多くあり、量的には（精神においても）四福音書を凌ぎかねない。つまり、「抜粋」をより正確に言うならば、アブラコスは四福音書の「並べ替え」、四福音書の章節の順を *чтение* 毎に入れ替えて、教会暦に合わせて日々の *чтение* としたものである。まだ少し分かりづらい部分が残るが、これと関連することがらは、あとの「教会暦」および「²⁵зачало」の項でも触れることになる。

次に、木村（解説①）Lunt（解説②）とも、土、日、祝日にこだわっている。これが必ずしも正鵠を得ていないことは資料①、資料②のいずれからも明らかである。すなわち、アブラコス福音書には完全版（*полный*）タイプと簡略版（*краткий*）タイプの2種があり、Ass と Sav はいずれも後者、すなわち簡略版で、また第2部において比較対照のためにとりあげる「オストロミール福音書 ²⁷Остромирово евангелие」も、簡略版である。これらに

²⁵ これも通常の辞書などでは見当たらない用語であるが、同僚の一人、清水氏から口頭で、通常、「章節目」と訳すとの教えを受けた。

²⁶ 資料②によるとさらに *праздничный* タイプがあり、こちらは *апостол* と *евангелие* を合わせたもの、ということである。

²⁷ 前注（21）にも記したように、狭義の古代スラヴ語文献には算入されない。理由は、写本の年代（1056-57）からすると古代スラヴ語期に属するが、言語的にロシア教会スラヴ語的要素が含ま

対して、現代ロシア語版（および教会スラヴ語版）アブラコス福音書は、対比すれば一目瞭然であるが、完全版である。すなわち、土、日、祝日のみならず、平日の聖体礼儀（литургия）のための чтение も少なからず含まれている。

さて、前提が長くなったが、筆者自身も理解不足のことが多くあったので、細々としたことまで書き連ねる結果になった。この後は、アブラコス福音書の構成について観察する。記述は全面的に資料①と②に負っている。なお、アブラコス福音書の構成は、次項の「教会暦」と表裏の関係になっている。したがって、教会暦を具体的に示さなければうまく説明できない部分は、次項に回す。

現代ロシア語版のアブラコスの構成をモデルにして、古代スラヴ語のアブラコス福音書写本との相違などにも言及しながら、構成の大枠をとらえると次のようになる。現代ロシア語版のアブラコス福音書は、全体が、4部に分かれる。各々の名称と教会暦の解説を前提としない程度の構成内容を記しておく。なお、特に教会用語は、可能な範囲で日本語訳も付すが、あくまでも理解の補助手段であって、正教会での正式な日本語での用語を調査したわけではない。

第1部 СИНАКСАРЬ, чтения праздников переходящих

синаксарь は、辞書の訳では「聖者伝集」で、内容説明としても必ずしも適切な訳語とは思えない。праздники переходящие は「移動祭日」の意で、第2部（МЕСЯЦЕСЛОВ）の праздники непереходящих「固定祭日」に対応する。移動祭日は教会独自の太陰暦で、Пасха「復活大祭」から始まる。詳しくは「教会暦」のところで示すが、主要な祝祭を区切りとして、全部

ゝまれるためである。しかしながら、ここは言語的特徴を云々する場所でもなく、また、ロシア最古の有名かつ重要なアブラコス福音書であるので、比較の意味で取り上げる。なお、「オストロミール福音書」の古代スラヴ語文献としての資格審査については、再考の余地があらうかと、筆者は密かに考えている。古代スラヴ語文献から除外されて久しいが、この間、特にわが国では無批判に欧米での定説が踏襲されている感が否めない。（前著から引き摺っているトラウマであらうか。）

で5期に分かれる。それらの祝祭の内、毎年日付が変わる Пасха と連動する祝祭日を移動祭日という。従って、5期を分けるすべての祝祭日が移動祭日というわけではない。詳細は次項を参照。

第2部 МЕСЯЦЕСЛОВ, чтения праздников непереходящих

месяцеслов は、民間の太陽暦を教会で呼ぶ呼び名。これも辞書では「教会暦；暦」という程度の訳語で、訳語だけでは分かりづらい。太陽暦なので日付が固定している。こちらは、9月1日から、1年が始まる。今回ようやく理解できたのは、教会では太陰暦と太陽暦の両方が採用され、第1部では、一部の祝祭日が（Пасха の日付と連動して）毎年移動し、そのため、何月何日と定められないので、主要な祝祭日（週）から何番目の週の何曜日と数えることになる。この数え方の謎がようやく判った。

ところで、アッセマーニ写本、サヴァの本およびオストロミール福音書で明確に区別されているのは、第1部と第2部である。いまだにはっきりしないが、次の第3、4部は、一部、第1部に混入しているか、あるいは見当たらない。（見つかった限りは、対比一覧の中でコメントしておいた。）

第3部 ЧТЕНИЯ ОБЩИЕ

これも、訳しても意味はない。資料①の解説を筆者なりに咀嚼してみると、こういうことのようなのである。すなわち、7世紀には、第1部の СИНАКСАРЬ および第2部の МЕСЯЦЕСЛОВ のほぼすべての祝祭日や記念すべき出来事に福音書からの чтение²⁸が配分されたので、その後新たに行われるようになる祝祭日や聖人の記念は類似のものを一まとめにして既存の祭日、記念日と一緒にせざるを得なくなった。こうして出来たのが Чтения общие で、これらは祝日なり（人の）記念なりが固有の литургия を持たない場合に読まれる。これが資料①の該当箇所の要約であるが、まだ判然としないところ

²⁸ その単位を зачало と呼ぶ。そこで чтение と зачало はほぼ同義にも使用される。なお、キーワード「Зачало」をも参照。

が残る。なお、資料②には Чтения общие に関連する解説は見当たらない。

第4部 ВОСКРЕСНЫЕ ЕВАНГЕЛИЯ

日曜日の早課（утрення）では、福音書からとられた11個の чтение（= зачало）が順番に読まれる。これを Воскресное евангелие と呼び、現代ロシア語版アブラコスでは Столп евангельских чтений として一まとめにして первое から одиннадцатое まで順番号が付けられて第4部に入っている。したがって、11週で一回りして、12週目からはふたたび первое に戻り、これを繰り返すわけである。起点は、復活大祭週 Святая неделя の後の日曜日、すなわち Пасха の次の日曜日である。

以上は、主に資料①を参考にしてまとめたものである。第3部の Чтения общие は、筆者にはどうしても分析しようがなかったが、Воскресные евангелия（Столп）に関しては、実際の Евангелие-Апракос によって若干の事実関係の修正をしておきたい。確かに、Столп は、機械的に反復されるという理由で、同じ чтение を何度も引用する代わりに、一カ所にまとめて、しかも番号を付して参照するようにすれば、効率が良い、という発想ではないかと思うが、（仮に他にも重要な目的があるにせよ、）Синаксарь の中に取り込んで、一向差支えないと考える根拠がある。ここで、Синаксарь に引かれる Воскресные евангелия をすべて取り出してみよう。Воскресные евангелия は全部で11（Столп）あるので、①～⑪の番号で示す。現代ロシア語版アブラコス福音書に従う。

Пасха 後の第2日曜日：①、第3日曜日：③、第4日曜日：④、第5日曜日：⑦、第6日曜日：⑧、第7日曜日：⑩

五旬祭（Пятидесятница）後の第1日曜日：①、第2日曜日：②、第3日曜日：③、第4日曜日：④、第5日曜日：⑤、第6日曜日：⑥、第7日曜日：⑦、第8日曜日：⑧、第9日曜日：⑨、第10日曜日：⑩、第11日曜日：⑪、

第12日曜日：①、第13日曜日：②、第14日曜日：③、第15日曜日：④、第16日曜日：⑤、第17日曜日：⑥、第18日曜日：⑦、第19日曜日：⑧、第20日曜日：⑨、第21日曜日：⑩、第22日曜日：⑪、第23日曜日：①、第24日曜日：②、第25日曜日：③、第26日曜日：④、第27日曜日：⑤、第28日曜日：⑥、第29日曜日：⑦、第30日曜日：⑧、第31日曜日：⑨、第32日曜日：⑩、第33日曜日：²⁹？、第34日曜日：？、第35日曜日：③、第36日曜日：④
大斎祭（Великий пост）の第1日曜日：⑤、第2日曜日：⑥、第3日曜日：⑦、第4日曜日：⑧、第5日曜日：⑨

以上のように、①～⑪が繰り返されると言っても、五旬祭後のほぼ3巡程度であるので、別掲で纏めて揚げる必要もないのでは、と考えるのであるが、こういうことを言うことにも意味がないのであろうか。

《教会暦》

教会暦の理解も、アブラコス福音書の構成の理解にとって不可欠である。まず、教会暦として、太陰暦と太陽暦の2つの暦が用いられることを言っておかなければならない。

アブラコス福音書のうち、Синаксарь が基づく教会暦は太陰暦（лунный календарь）である。Месяцеслов が太陽暦（солнечный календарь）に基づく固定周期暦（年の始まりが毎年9月1日に固定している）であるのに対して移動周期暦とも言う。移動の原因が、教会暦の年の初めである Пасха の日付にあるので、この暦を復活大祭暦（пасхальный календарь）とも呼ぶ。以下に、今年（2011年）から2027年までの Пасха の日付（旧暦）を挙げておく。³⁰

²⁹ 五旬祭後第33週と第34週の Воскресное евангелие には、いずれにも番号が入っていない。計算上も、⑪、①、②が抜けているので、単なる印刷ミスとも考えづらい。現状では、理由不明。第2部の該当箇所も参照のこと。

³⁰ 現代ロシア語版アブラコス福音書の巻末に2008-2027年の Пасхалия（復活大祭の日付に基づく年表）が掲載されている。そこでは、Пасха の日付の移動に従って移動するすべての移動祝祭日の日付が掲載されているが、煩雑に過ぎるので、ここでは Пасха の日付のみ挙げる。

年	Пасха の日付	年	Пасха の日付
2011	4 月 11 日	2020	4 月 6 日
2012	4 月 2 日	2021	4 月 19 日
2013	4 月 22 日	2022	4 月 11 日
2014	4 月 7 日	2023	4 月 3 日
2015	3 月 30 日	2024	4 月 22 日
2016	4 月 18 日	2025	4 月 7 日
2017	4 月 3 日	2026	3 月 30 日
2018	3 月 26 日	2027	4 月 19 日
2019	4 月 15 日		

このように、毎年異なる日付で始まる Пасха 暦は、主要な祝祭日（週）を節目として、一年を5つの期間に分けている。便宜的に第1期～第5期と数字で呼ぶ。³¹

第1期：Пасха から Пятидесятница（五旬祭日、Троица とも言う）まで50日間。この日数は決まっているので、五旬祭日も Пасха の日付次第で移動することになる。

第2期：五旬祭日から Новое лето（新年）まで。この場合、新年は9月に当たり、太陽暦では9月1日であるが、Пасха 暦では9月の1日から25日の間にある。この期間は16週から17週になり、Пасха の日付によって伸縮する。³²

第3期：新年から Великий пост（大齋期、あるいは四旬祭とも）まで。この期間も16週から17週で、Пасха の日付によって伸縮する。

³¹ 以下、全面的に資料①と資料②に基づいてのまとめであるが、他所でこういった知識を得る方法を、筆者は知らない。

³² このあたりが分かりづらいが、Пасхалия には、毎年異なることになる日付はすべて記載されている。おそらくそれに基づいて毎年期間を決めるのであろう。

第4期：大斎期の期間。この期間は6週で固定している。

第5期：Страстная неделя（キリスト受難週間、Страстная седмицаとも）。これは、Пасха直前の40日間にわたる Великий постのうちの最後の一週間にあたる。

以上から、第1、4、5期の期間は固定しており、第2、3期は期間が変動することになる。

ここでもうやく5期にわたる Пасха 暦に沿って読まれるアブラコス福音書の本体に当たる Синаксарь の具体的な構成の全体を見ることが可能になる。その際、完全版（полный）アブラコス福音書³³と簡略版（краткий）アブラコス福音書とで、各 чтение が一致するところと、しないところとが、時期毎にはば明確に分けることができる。以下、各時期毎の чтение の特徴を簡潔に述べておく³⁵。

第1期：冒頭にヨハネ福音書のいわゆるプロローグに当たる「第1章：1－17節」が Пасха の литургия で読まれる。アブラコス福音書の象徴でもある。四福音書の最初がマタイ福音書の第1章であることと対照的であるが、ある意味では、アブラコス福音書と四福音書の全体の構成は大枠としては類似しているとも言える。すなわち、Пасха 暦の第1期では、ヨハネ福音書のプロローグにはじまり、五旬祭日までは、完全版アブラコスも簡略版アブラコスも、土日だけでなく平日も含めて、毎日の чтение にヨハネ福音書からの чтение（зачало を単位として）が読まれるので、結果的には四福音書のうちのヨハネ福音書がほぼすべて読まれることになる。このことをここで

³³ すでに触れたところであるが、本書の範囲では現代ロシア語版アブラコス福音書（Е.-А.）だけがいわゆる「完全版」である。

³⁴ これも念のために再度確認しておく、本書の範囲では「アッセマーニ写本（Ass）」、「サヴァの本（Sav）」および「オストロミール福音書（Ostr）」が何れもいわゆる「簡略版」に相当する。

³⁵ 細部については、第二部にて詳細に対比する必要がある。

強調するのも、少なくともヨハネ福音書に関しては、アブラコス福音書が、決して、四福音書の抜粋ではないことを言いたいがためである。そして、ヨハネ福音書以外の四福音書（マタイ、マルコおよびルカ福音書）も、第2期以降の解説が、アブラコス福音書が四福音書の単なる抜粋版ではないことを示唆するであろう。

第2期：ここでは基本的にマタイ福音書から引かれた *зачало* がアブラコス用に読まれるが、この時期においては、完全版と簡略版に大きい違いがある。すなわち、完全版では第1期と同様にすべての曜日の *чтение* が含まれ、しかも第12週以降は、平日にはマルコ福音書から引かれた *зачало* が読まれる。すなわち、土日はマタイ福音書、平日はマルコ福音書ということになる。一見、混在しているように見えるが、実際には整然と区別されている。そして完全版に対して、簡略版は、この第2期に関しては、土曜日と日曜日のみの *чтение* になる。なお、もし *Пасха* が（旧暦で）4月15日以降になる年は、第2期の最終第17週が省略される。（先に書いた「期間の伸縮」である。）

第3期：基本的にはルカ福音書から引かれた *зачало* が読まれるが、第2週からの平日にはマルコ福音書の後半から引かれた *зачало* が読まれる。なお、最後の2週（「断肉週 *Мясопустная неделя*」および「断乳週 *Сыропустная неделя*」³⁶と呼ばれる）は、第4期である「大斎期 *Великий пост*」のための準備週とされ、ここではマタイ福音書から引かれた *зачало* も追加される。さらにまた第2期と同様、「簡略版」では土曜日と日曜日の *чтение* のみである。

第4期：マルコ福音書から引かれた *зачало* が *литургия* で読まれる。
литургия は土日にのみ行われるので、結果として、「完全版」も「簡略版」

³⁶「断乳週」は筆者の独断的訳語である。

も同じである。

第5期：この時期も、「完全版」と「簡略版」の間に違いはないが、引かれる *зачало* は四福音書からの様々の個所である。

以上、暦の時期ごとの *чтение* の特徴を書き添えたが、あらためて全体を見ると、第5期は別にして、アプラコス福音書も、四福音書と同様に、基本的には福音書単位でまとまっている。根本的な相違は配列の違いである、と断定的に言ってしまうと極論に過ぎるであろうか。

《Зачало》

日本語で「章節目」というとのこと、本書を著すことがキッカケとなって、知り得ることができた。いまだ、解説中でのこの用語の使用の不自然さは解消されていないが、以前から聞き齧ってはいたが具体的に踏み込んで調べてみることもなく、またその方法も知らなかったことからすれば、格段の進歩かも知れない。

もともと、「アプラコス」という用語も、「*зачало*」と同程度の理解、あるいは理解しているつもりであった。用語が抽象概念であったり、あるいはたとえ具象的な「モノ」であっても、それを理解するという場合、2つの側面であろう。1つには、通常の表現に言い換える、あるいはそれが外国語であれば、日本語に置き換える（翻訳する）ことによって、ようやく理解できるようになる、という側面である。この側面から言うと、“*апракос*” も “*зачало*” も、直接的にはロシア語からの日本語訳が、理解の第一歩になる。そして、この側面からの理解にはほとんど前進はない。通常の露和辞典に掲載されていないのはもちろん、仮に訳語を教示されても、その日本語が日常語でないために、理解からは程遠い。*зачало* がその典型であり、*апракос* に至ってはいまだに日本語でどのように言うのかさえ、知らない。

さて、もう一つの側面は、その用語の語義、つまり、どのような理由・根

扱でそのように呼ばれているか、という側面である。外国語の用語であれば、その用語の語源的な解釈も理解の助けになるであろう。この側面からは、所与の2つの用語は、ある程度のアプローチの余地がある。すなわち、例えば、апракос はロシア語であるが、その起源はギリシア語で a-praktos „не-дельный“、すなわち「非労働の（祝祭日の）」から来ていると説明（資料①の冒頭を参照）されると、うまい訳語は見つからなくても、理解は進む。これに対して、зачало の方はもっと単純で、古代スラヴ語の зачало (“начало”) に辿りつく。しかし、何度も言うように、現代ロシア語の辞典には зачало という単語見出しも、使用例もない。「章節目」が決まりごととしての日本語での用語であるとしても、зачало = начало が結びつかない。そうこうしている間に、資料②に、一個所、非常に興味ある1節を見つけた。まず、直接引用して、ここで言っておきたいこととの関連を述べることにする：… Однако обычно евангельские чтения месящеслова не выписываются полностью, они заменяются начальными словами чтения (incipitum, инципит, зачало) и отсылкой к соответствующим частям синаксаря. (стр. 15.) すなわち、ここでは зачало が（ラテン語 incipitum の訳語としてであろう）“начальные слова чтения” の意で用いられていることが示唆されている。私見を加えれば、“зачало” は чтение の最初の部分（始まりの数語）を指す用語として用いられ、所与の чтение 全体をも指す用語として、（四福音書の章節に代えて）番号付きで用いられたと考えるが、いかがなものであろうか。いずれにしても、зачало には“чтение”と“начало”の両方の意味があると考えて良いようである。各福音書が чтение 毎に зачало 番号で区分され、時には1つの зачало が章を跨ぎ、あるいは章の途中で中断されて、その上で、教会暦に従って配列も変えられたものが、「アプラコス」と呼ばれる福音書である、ということになる。ただし、今も昔も（すなわち、現代ロシア語版も古代スラヴ語版も）зачало 順ではあるが、四福音書での章（節）が記入されてい

³⁷。いわば、確認目的ということであろうが、四福音書の章節の言及もなく、*зачало* の番号もないような「(アブラコス) 福音書」が存在するような状況を想像することは、意味の無いことであろうか。

³⁷ 厳密に言うと、福音書ごとの *зачало* 番号は、本書の範囲では、現代ロシア語版アブラコス福音書（および併載のロシア教会スラヴ語版）においてのみ、確認できるものである。（なお、注24を参照。）古代スラヴ語によるアブラコス福音書では *зачало* 番号は無く、現代ロシア語版と同様に、四福音書における章（節）が各 *зачало* 冒頭に掲げられる。ということは現代ロシア語版さらにはロシア教会スラヴ語版もまた共通の典拠とした古代スラヴ語版アブラコスの翻訳源の *archi-type* はどのような姿であったのか。*зачало* 番号が付載されたアブラコス・タイプの福音書はいつごろから存在したのであるか。（注24で言及した、筆者所蔵の *зачало* 番号付き福音書は、あくまでも四福音書である。）*зачало* の実態は古代スラヴ語写本において眼前にすることができるものであるが、四福音書に戻して初めて番号順の配列が復元できる *зачало* の番号付は、いつのころから行われるようになったのか、近世以前の *зачало* 番号付きの「アブラコス」福音書は存在するのか否か、興味はますます広がる次第である。

第2部 アブラコス福音書：現代ロシア語版と古代スラヴ語版の対比

第1部の「アブラコス」の項で述べたように、現代ロシア語版アブラコス福音書を見ることができたことで、アッセマーニ写本、サヴァの本、およびオストロミール福音書の内容、構成がようやく実感できるようになった。この際、4種のアブラコス福音書を対比してみることにする。見開きの左頁が現代ロシア語版アブラコス福音書、右頁は3列に区切り、左列がアッセマーニ写本、中列がサヴァの本、そして右列がオストロミール福音書である。再三言うように、現代ロシア語版はいわゆる完全版アブラコスであり、あとの3種は簡略版であるため、その点での内容の違いは改めて対比するまでもなく、明らかである。ただし、完全版と簡略版の相違は、第1部 **СИНАКСАРЬ**³⁸において明らかであるが、第2部 **МЕСЯЦЕСЛОВ**における差異は、どうやら完全版 vs. 簡略版の関係ではないようである。ここであえて細部の差異をも示すことで明示的になるであろう。第3部 **ОБЩИЕ ЧТЕНИЯ** および第4部 **СТОЛП (ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ)**に至っては、アッセマーニ写本、サヴァの本、オストロミール福音書のいずれにおいても、現代ロシア語版のように独立したセクションを占めていない。なお、サヴァの本とオストロミール福音書については、アッセマーニ写本ほどは細部の異同を指摘していない。今後の課題であると同時に、本書での課題があくまでもアッセマーニ写本の分解にあったことを言い訳としておく。

対照の仕方としては、**СИНАКСАРЬ**については厳密に行単位で対照できるようにしたが、**МЕСЯЦЕСЛОВ**は日付を付けることで、月単位での対照にとどめた。日付単位の対照も試みたが、日付を付けたことでその必要性もあまりないことが分かり、取りやめた。

³⁸ 各部の名称（詳細は本文の見出しを参照）は、現代ロシア語版から採った。また、あえて日本語訳も付けていない。正教の教会用語や聖書（特にアブラコス）関連の用語は、露和辞典である程度固定した訳語が記載されている場合もあるが、訳語が説明的であったり、そもそも辞書項目に無い用語もあることから、あえてすべてに訳語を付けることは断念した。**си́наксарь** しかり、**ме́сяцеслов** しかり、**сто́лп** しかりである。

略記

四福音書名＝マタイによる福音書：Mt, Мф.

マルコによる福音書：Mk, Мк.

ルカによる福音書：Lk, Лк.

ヨハネによる福音書：Jo, Ин.

ロシア語版アブラコス福音書：E.-A. (Евангелие-Апракос)

写本名＝アッセマーニ写本：Ass. (Codex Assemanianus)

サヴァの本／サヴィナ・クニーガ：Sav. (Саввина книга)

オストロミール福音書：Ostr. (Остромирово евангелие)

略記号

・福音書の節番号を括る角括弧（[]）は、その節が不完全であること、すなわち、一部省略されていたり、極端には、その節のキーワードとして1、2語しか記されていないことを示す。

使用したテキスト：

E.-A.: СВЯТОЕ ЕВАНГЕЛИЕ-АПРАКОС по церковным зачалам расположенное. На церковнославянском и русском языках. Санкт-Петербург 2007.

Ass: EVANGELIARIUM ASSEMANI. Codex Vaticanus 3. slavicus glagoliticus. Tomus II. Edidit J. Kurz. Praha 1955.

Sav: САВВИНА КНИГА. Древнеславянская рукопись XI, XII и конца XIII века. Часть первая. Рукопись. Текст. Комментарии. Исследование. Москва 1999.³⁹

Ostr: ОСТРОМИРОВО ЕВАНГЕЛИЕ 1056-57 года. Изданное А. Востоковым. (Санктпетербург 1845.) Москва 2007.

³⁹ この版のページ付けを採用したが、本文テキストは本来の古代スラヴ語写本の部分（＝САВВИНА КНИГА трудъ Вячеслава Щепкина. (1903) Graz 1959.）である第2部（140-655 pp.）のみを対象とした。

СВЯТОЕ ЕВАНГЕЛИЕ-АПРАКОС ПО ЦЕРКОВНЫМ ЗАЧАЛАМ РАСПОЛОЖЕННОЕ

ЧТЕНИЯ ПРАЗДНИКОВ ПЕРЕХОДЯЩИХ СИНАКСАРЬ

СВЕТЛОЕ ХРИСТОВО ВОСКРЕСЕНИЕ. ПАСХА

На литургии: Пролог Евангелия от Иоанна (Ин 1: 1-17, зачало 1-е).

На вечерне: Явление воскресшего Иисуса Христа ученикам в горнице
(Ин 20: 19-25, зачало 65-е).

ПОНЕДЕЛЬНИК СВЕТЛОЙ НЕДЕЛИ

На литургии: Свидетельство Иоанна Крестителя о себе
(Ин 1: 18-28, зачало 2-е).

ВТОРНИК СВЕТЛОЙ НЕДЕЛИ

На литургии: Явление воскресшего Иисуса Христа на пути в Эммаус
(Лк 24: 12-35, зачало 113-е).

СРЕДА СВЕТЛОЙ НЕДЕЛИ

На литургии: Призвание первых учеников (Ин 1: 35-51, зачало 4-е).

ЧЕТВЕРГ СВЕТЛОЙ НЕДЕЛИ

На литургии: Беседа Иисуса с Никодимом (Ин 3: 1-15, зачало 8-е).

ПЯТНИЦА СВЕТЛОЙ НЕДЕЛИ

На литургии: Изгнание торгующих из Храма (Ин 2: 12-22, зачало 7-е).

СУББОТА СВЕТЛОЙ НЕДЕЛИ

На литургии: Третье свидетельство Иоанна Крестителя
(Ин 3: 22-33, зачало 11-е).

Ass	Sav	Ostr
2c-3a(Jo 1: 1-17)		2a-36(ИИ 1: 1-17)
3b-d(Jo 1: 18-28)		36-4a(ИИ 1: 18-28)
3d-4a(Lk 24: 12-35)		46-6a(ЛК 24: 12-35)
4a-d(Jo 1: 35-52) ¹		6a-76(ИИ 1: 35-51)
5a-d(Jo 3: 1-15)		7b-8b(ИИ 3: 1-15)
5d-6b(Jo 2: 12-22)		8г-9в(ИИ 2: 12-22)
6b-d(Jo 3: 22-33)		9в-10в(ИИ 3: 22-32)
¹ 現行福音書では、ИИ 1: 35-51で、52節は存在しないが、Ass では38節を2分して38、39節としており、そのため最終節が52節になっている (мелкое открытие)。		

2-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПАСХИ

(Фомина Неделя или Антипасха)

На утрене первое воскресное Евангелие (Мф 28: 16-20).¹

На литургии: Уверение апостола Фомы

(Ин 20: 19-31, девятое воскресное Евангелие, зачало 65-е)²

2-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПАСХИ. ПОНЕДЕЛЬНИК

На литургии: Брак в Кане Галилейской (Ин 2: 1-11, зачало 6-е).

2-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПАСХИ. ВТОРНИК

На литургии: Свет пришел в мир (Ин 3: 16-21, зачала 10-е).

2-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПАСХИ. СРЕДА

На литургии: Отец и Сын одно (Ин 5: 17-24, зачало 15-е).

2-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПАСХИ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: Вечный суд (Ин 5: 24-30, зачало 16-е).

2-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПАСХИ. ПЯТНИЦА

На литургии: Свидетельство Отца о Сыне
(Ин 5: 30-6: 2, зачало 17-е).

2-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПАСХИ. СУББОТА

На литургии: Хождение по водам (Ин 6: 14-27, зачало 19-е).

¹ 以下、СІНАКСАРЬを通じて、日曜日の「早課 *утреня*」には ЕВАНГЕЛІЯ ВОСКРЕСНЫЕ (現代ロシア語版では第4部) が読まれる。この箇所から順番に11種類の ЕВАНГЕЛІЕ ВОСКРЕСНОЕ が指定されるが、*чтение* の中身は第4部に収められ、そこを参照するようになっている。

² 前注と同様であるが、ここは、どういうわけか、第4部の9-е воскресное Евангелие のテキストが掲げられている。

Ass	Sav	Ostr
7a–d(Jo 20: 19-31)		10B–11B(ИН 20: 19-31)
7d–8b(Jo 2: 1-11)		11Г–12B(ИН 2: 1-11)
8bc(Jo 3: 16-21)		12B–13a(ИН 3: 16-20) ¹
8d–9b(Jo 5: 17-24)		13a–Г(ИН 5: 17-24)
9b–d(Jo 5: 24-30)		13Г–14B(ИН 5: 24-30)
9d–10d(Jo 5: 30-6: 2)		14B–16a(ИН 5: 30-6: 2)
10d–11c(Jo 6: 14-27)		16a–176(ИН 6: 14-27)

¹ E.-A では21節まで。

3-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПАСХИ

(Св. Жен Мироносиц)

На утрене третье воскресное Евангелие (Мк 16: 9-20).³

На литургии: Приход жен-мироносиц ко гробу Господню
(Мк 15: 43-16: 8, зачало 69-е).

ТРЕТЬЯ НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПАСХИ. ПОНЕДЕЛЬНИК⁴

На литургии: Исцеление сына царедворца (Ин 4: 46-54, зачало 13-е).

ТРЕТЬЯ НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПАСХИ. ВТОРНИК⁵

На литургии: Хлеб небесный (Ин 6: 27-33, зачало 20-е).

ТРЕТЬЯ НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПАСХИ. СРЕДА⁶

На литургии: Иисус хлеб жизни (Ин 6: 35-39, зачало 25-е).

3-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПАСХИ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: Иисус—воскресение мертвых (Ин 6: 40-44, зачало 22-е).

3-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПАСХИ. ПЯТНИЦА

На литургии: Тайна причастия (Ин 6: 48-54, зачало 23-е).

3-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПАСХИ. СУББОТА

На литургии: Ненависть мира к свидетелям Иисуса Христа
(Ин 15: 17-16: 2, зачало 52-е).

³ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

⁴ 些細な指摘であるが、次の注（6、7）を含めて3ヶ所のみ、数字を用いていない。

⁵ 注4参照。

⁶ 注4参照。

Ass	Sav	Ostr
11c–12b(Mk 15: 43-16: 8)		176–18B(Mk 15: 43-16: 8)
12b–d(Jo 4: 46-54)		18B–196(ИИ 4: 46-54)
12d–13a(Jo 6: 27-33)		196–Г(ИИ 6: 27-33)
13ab(Jo 6: 35-39)		20a–6(ИИ 6: 35-39)
13c(Jo 6: 40-44)		206–21a(ИИ 6: 39-44) ²
13d–14a(Jo 6: 48-54)		21a–B(ИИ 6: 48-54)
14ab(Jo 15: 17-[18]–16: 1-[2])		21Г–22Г(ИИ 15: 17-16: 2)
		² E,-A. では40節から。

4-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПАСХИ

(О расслабленном)

На утрене четвертое воскресное Евангелие (Лк 24: 1-12).⁷

На литургии: Исцеление расслабленного (Ин 5: 1-15, зачало 14-е).

4-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПАСХИ. ПОНЕДЕЛЬНИК

На литургии: Верность апостолов и исповедание Петра
(Ин 6: 56-69, зачало 24-е).

4-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПАСХИ. ВТОРНИК

На литургии: Иисус на празднике кушей (Ин 7: 1-13, зачало 25-е).

4-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПАСХИ. СРЕДА

(Преполовление Пятидесятницы)

На литургии: Проповедь Иисуса на празднике кушей
(Ин 7: 14-30, зачало 26-е).

4-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПАСХИ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: Кто знает Сына, знает и Отца (Ин 8: 12-20, зачало 29-е).

4-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПАСХИ. ПЯТНИЦА

На литургии: Отец не оставит Сына (Ин 8: 21-30, зачало 30-е).

4-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПАСХИ. СУББОТА

На литургии: Иисус вышел и пришел от Бога
(Ин 8: 31-42, зачало 31-е).

⁷ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

Ass	Sav	Ostr
14b–15a(Jo 5: 1-15)		22г–24a(ИН 5: 1-15)
15a–d(Jo 6: 56-69)		24a–б(ИН 6: 56-69)
15d–16b(Jo 7: 1-13)		25б–26a(ИН 7: 1-13)
16b–17a(Jo 7: 14-30)		26a–27б(ИН 7: 14-30)
17b–d(Jo 8: [12]-20)		27б–28a(ИН 8: 12-20)
17d–18b(Jo 8: [21]-30)		28a–г(ИН 8: 21-30)
18b–d(Jo 8: 31-[42])		28г–29г(ИН 8: 31-41 ³)

³ E.-A. では42節まで。

5-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПАСХИ

(О самаряныне)

На утрене седьмое воскресное Евангелие (Ин 20: 1-10).⁸

На литургии: Иисус среди самарян (Ин 4: 5-42, зачало 12-е).

5-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПАСХИ. ПОНЕДЕЛЬНИК

На литургии: Слово истины (Ин 8: 42-51, зачало 32-е).

5-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПАСХИ. ВТОРНИК

На литургии: Еще не было Авраама, а Я был
(Ин 8: 51-59, зачало 33-е).

5-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПАСХИ. СРЕДА—Отдание преполовения

На литургии: Пятью хлебами и двумя рыбами накормлено пять тысяч человек
(Ин 6: 5-14, зачало 18-е).

5-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПАСХИ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: Пастырь добрый (Ин 9: 39-10: 9, зачало 35-е).

5-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПАСХИ. ПЯТНИЦА

На литургии: Владыка Жизни (Ин 10: 17-28, зачало 37-е).

5-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПАСХИ. СУББОТА

На литургии: Сын Божий (Ин 10: 27-38, зачало 38-е).

⁸ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

Ass	Sav	Ostr
18d–20d(Jo 4: 5-42)		29Г–32В(И _Н 4: 5-42)
20d–21b(Jo 8: 42-51)		32Г–33В(И _Н 8: 42-51)
21b–d(Jo 8: 51-59)		33В–34Г(И _Н 8: 51-59)
21d–22c(Jo 6: 5-14)		34Б–35а(И _Н 6: 5-14)
22c–23a(Jo 9: 39-10: 9)		35Б–36а(И _Н 9: 39-10: 9)
23a–c(Jo 10: 17-[28])		36а–37а(И _Н 10: 17-28)
23c–24b(Jo 10: 27-38)		37а–38а(И _Н 10: 27-38)

6-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПАСХИ

(О слепом)

На утрене восьмое утреннее Евангелие (Ин 20: 11-18).¹⁰

На литургии: Исцеление слепорожденного (Ин 9: 1-38, зачало 34-е).

6-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПАСХИ. ПОНЕДЕЛЬНИК

На литургии: Заговор против Иисуса (Ин 11: 47-57, зачато 40-е).

6-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПАСХИ. ВТОРНИК

На литургии: Пришел час прославиться Сыну Человеческому
(Ин 12: 19-36, зачало 42-е).

6-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПАСХИ. СРЕДА

(Отдание Пасхи)

На литургии: Верующий в Меня верует и в Пославшего Меня
(Ин 12: 36-47, зачало 43-е).

6-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПАСХИ. ЧЕТВЕРГ.

ВОЗНЕСЕНИЕ ГОСПОДНЕ

На утрене третье воскресное Евангелие (Мк 16: 9-20).¹¹

На литургии: Вознесение Господне (Лк 24: 36-53, зачало 114-е).

6-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПАСХИ. ПЯТНИЦА. Попразднество

Вознесения

На литургии: Кто видел Меня, видел Отца (Ин 14: 1-11, зачало 47-е).

6-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПАСХИ. СУББОТА. Попразднество

Вознесения

На литургии: Иного утешителя даст вам Отец
(Ин 14: 10-21, зачало 48-е).

⁹ утреннее Евангелиеとも呼ぶようであるが、他と合わせれば、восьмое воскресное Евангелиеとなる。

¹⁰ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

¹¹ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

Ass	Sav	Ostr
24b–26a(Jo 9: 1-38)		38a–41a(ИН 9: 1-38)
26a–c(Jo 11: 47-57)		41a–в(ИН 11: 47-54) ⁴
26c–27b(Jo 12: 19-[36])		41г–43a(ИН 12: 19-36)
27b–d(Jo 12: 36-[45]-47)		43б–44a(ИН 12: 36-47)
28a–d(Jo 24: [36]-53)		44a–45в(ЛК 24: 46-53) ⁵
29a–c(Jo 14: 1-[11])	25a(ИН 14: 11)	45в–46б(ИН 14: 1-11)
29c–30a(Jo 14: 10-[11]-21)	25aб(ИН 14: 10-21)	46б–47a(ИН 14: 10-17, 21)

⁴ E.-A. では57節まで。

⁵ E.-A. では36節から。

7-е ВОСКРЕСНИЕ ПОСЛЕ ПАСХИ. Попразднество Вознесения.

(Память свв. Отцов I Вселенского Собора)

На утрени десятое воскресное Евангелие (Ин 21: 1-14).¹²

На литургии: Архиерейская молитва Иисуса Христа. Моление за учеников (Ин 17: 1-13, зачало 56-е).

7-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПАСХИ. ПОНЕДЕЛЬНИК

Попразднество Вознесения

На литургии: Я истинная виноградная лоза (Ин 14: 27-15: 7, зачало 49-е).

7-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПАСХИ. ВТОРНИК–Попразднество Вознесения

На литургии: Утешитель придет к вам (Ин 16: 2-13, зачало 53-е).

7-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПАСХИ. СРЕДА. Попразднество Вознесения

На литургии: Расставание не будет долгим (Ин 16: 15-23, зачало 54-е).

7-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПАСХИ. ЧЕТВЕРГ. Попразднество Вознесения

На литургии: В мире вам будет скорбь, но мужайтесь (Ин 16: 23-33, зачало 55-е).

7-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПАСХИ. ПЯТНИЦА. Попразднество Вознесения

На литургии: Архиерейская молитва Иисуса. Моление за верных (Ин 17: 18-26, зачало 57-е).

7-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПАСХИ. СУББОТА

На литургии: Благословение Петра

(Одиннадцатое воскресное Евангелие, Ин 21: 15-25, зачало 67-е).¹³

¹² см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

¹³ 土曜日の「祈祷 礼拝 (聖体礼儀とも)」であるためか、11-е воскресное Евангелие のテキストが掲げられている。

Ass	Sav	Ostr
30b(Jo 17: [1], [13]) ²	256–266 (ИН 17: 1-13)	47a–486(ИН 17: 1-13)
30b(Jo 14: [27], 15: [7])	266–276(ИН 14: 27-15: 7)	486–496(ИН 14: 27-15: 7)
30bc(Jo 16: [2], [13])	276–28a(ИН 16: 2, 13)	496–50a(ИН 16: 2-13)
30c(Jo 16: [15], [23])	28a(ИН 16: 15)	506–51a(ИН 16: 15-23)
30c(Jo 16: [23], [24], [33])	28a6(ИН 16: 23-33)	516–52a(ИН 16: 23-33)
30cd(Jo 17: [18], [26])	286(ИН 17: 18, 26)	52a–г(ИН 17: 18-26)
30d–31c(Jo 21: 14-25) ³	29a–30a(ИН 21: 14-25) ¹	53a–546(ИН 21: 14-25) ⁶

² この場合、чтение の最初の節と最後の節、しかもそれぞれの節のごく一部のみが挙げられる。この形式は Ass に特に多く、また、Месяцеслов において頻用され、ほとんどの場合、ипшти と指示して参照箇所を示している。

³ E.-A. では15節から。

¹ E.-A. では15節から。

⁶ E.-A. では15節から。

8-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПАСХИ. ПЯТИДЕСЯТНИЦА.

СВЯТАЯ ТРОИЦА

На утрени: Явление воскресшего Иисуса ученикам

(Ин 20: 19-23, зачало 65-е).

На литургии: Первое пророчество Иисуса о святом Духе

(Ин 7: 37-52, 8: 12, зачало 27-е).

1-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПОНЕДЕЛЬНИК

(Духов день)

На литургии: Притча о заблудшей овце. О согрешающем брате
(Мф 18: 10-20, зачало 75-е).

1-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ВТОРНИК

На литургии: Нагорная проповедь. Заповеди блаженства
(Мф 4: 25-5: 13, зачало 10-е).

1-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СРЕДА

На литургии: Нагорная проповедь. Шестая заповедь: не убий
(Мф 5: 20-26, зачало 12-е).

1-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: Нагорная проповедь. Седьмая заповедь: не прелюбодействуй
(Мф 5: 27-32, зачало 13-е).

1-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПЯТНИЦА

На литургии: Нагорная проповедь. Третья заповедь (о клятве). Отказ от мести
(Мф 5: 33-41, зачало 14-е).

1-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СУББОТА

Отдание Пятидесятницы

На литургии: Нагорная проповедь. Любите друг друга
(Мф 5: 42-48, зачало 15-е).

1-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. Неделя всех святых¹⁴

На утрени первое воскресное Евангелие (Мф 28: 16-20).

На литургии: Оставьте дома свои ради Меня

(Мф 10: 32-33, 37-38, 19: 27-30, зачало 38-е).

¹⁴ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

2-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПОНЕДЕЛЬНИК

На литургии: Нагорная проповедь. Уповайте на Отца небесного
(Мф 6: 31-34, 7: 9-11, зачало 19-е).

2-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ВТОРНИК

На литургии: Нагорная проповедь. Берегитесь лжепророков
(Мф 7: 15-21, зачало 22-е).

2-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СРЕДА

На литургии: Нагорная проповедь. Будьте праведны делами
(Мф 7: 21-23, зачало 23-е).

2-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: Усмирение бури (Мф 8: 23-27, зачало 27-е).

2-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПЯТНИЦА

На литургии: Притча о молодом vine (Мф 9: 14-17, зачало 31-е).

2-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СУББОТА

На литургии: Нагорная проповедь. Каким судом судите, таким будете судимы
(Мф 7: 1-8, зачало 20-е).

2-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ

На утрене второе воскресное Евангелие (Мк 16: 1-8).¹⁵

На литургии: Призвание учеников (Мф 4: 18-23, зачало 9-е).

¹⁵ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

Ass	Sav	Ostr
34d-35a(Mt 7: 1-8)	33᠖-34a(M᠑ 7: 1-8)	59B-60᠖(M᠑ 7: 1-8)
35bc(Mt 4: 18-23)	34a(M᠑ 4: 18-23)	60᠖-r(M᠑ 4: 18-23)

3-е НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПОНЕДЕЛЬНИК

На литургии: Посылка апостолов на проповедь

(Мф 9: 36-10: 8, зачало 34-е).

3-е НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ВТОРНИК

На литургии: Не заботьтесь ни о чем, проповедуя Царство Небесное

(Мф 10: 9-15, зачало 35-е).

3-е НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СРЕДА

На литургии: Претерпевший до конца спасется

(Мф 10: 16-22, зачало 36-е).

3-е НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: Не бойтесь убивающих тело (Мф 10: 23-31, зачало 37-е).

3-е НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПЯТНИЦА

На литургии: Возьмите крест свой и следуйте за мною

(Мф 10: 32-36, 11: 1, зачало 38-е).

3-е НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СУББОТА

На литургии: Нагорная проповедь. Дом, построенный на твердом основании. Очищение прокаженного (Мф 7: 24-8: 4, зачало 24-е).

3-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ

На утрене третье воскресное Евангелие(Мк 16: 9-20)¹⁶.*На литургии:* Нагорная проповедь Сохраняйте внутренний свет. Не служите двум господам. Не заботьтесь о завтрашнем дне

(Мф 6: 22-33, зачало 18-е).

¹⁶ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

Ass	Sav	Ostr
35c–36a(Mt 7: 24-8: 4)	34᠖–35a(M᠓ 7: 24-29, 8: 1-4)	60r–61r(M᠓ 7: 21, 25-8: 4) ⁷
36a–d(Mt 6: 22-33)	35a–36a(M᠓ 6: 22-34)	61r–63a(M᠓ 6: 22-33)
		⁷ 21節は他になく、24節を欠く。

4-е НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПОНЕДЕЛЬНИК

На литургии: Иоанн Предтеча (Мф 11: 2-15, зачало 40-е).

4-е НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ВТОРНИК

На литургии: Укоризна не верующим Предтече и Христу
(Мф 11: 16-20, зачало 41-е).

4-е НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СРЕДА

На литургии: Горе нераскаявшимся (Мф 11: 20-26, зачало 42-е).

4-е НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: Иго Мое благо и бремя Мое легко
(Мф 11: 27-30, зачало 43-е).

4-е НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПЯТНИЦА

На литургии: Об иудейской субботе (Мф 12: 1-8, зачало 44-е).

4-е НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СУББОТА

На литургии: Исцеление тещи Петровой (Мф 8: 14-23, зачало 26-е).

4-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ

На утрене четвертое воскресное Евангелие (Лк 24: 1-12)¹⁷.

На литургии: Вера римского сотника (Мф 8: 5-13, зачало 25-е).

¹⁷ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

5-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПОНЕДЕЛЬНИК

На литургии: Исцеление сухорукого в субботу

(Мф 12: 9-13, зачало 45-е).

5-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ВТОРНИК

На литургии: Царство, разделившееся на себя, запустеет

(Мф 12: 14-16, 22-30, зачало 46-е).

5-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СРЕДА

На литургии: Знамение пророка Ионы (Мф 12: 38-45, зачало 48-е).

5-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: Мать и братья Иисуса (Мф 12: 46-13: 3, зачало 49-е).

5-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПЯТНИЦА

На литургии: Притча о сеятеле

(Мф 13: 3-9, зачало 50-е).

5-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СУББОТА

На литургии: Призвание Матфея

(Мф 9: 9-13, зачало).

5-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ

На утрене пятое воскресное Евангелие

(Лк 24: 12-35)¹⁸.

На литургии: Изгнание бесов в стране Гергесинской

(Мф 8: 28-9: 1, зачало 28-е).

¹⁸ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

Ass	Sav	Ostr
38ab(Mt 9: 9-13)	376-38a(Mϕ 9: 9-13)	64r-656(Mϕ 9: 9-13)
38b-d(Mt 8: 28-9: 1)	38a6(Mϕ 8: 28-34, 9: 1)	656-66a(Mϕ 8: 28-9: 1)

6-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПОНЕДЕЛЬНИК

На литургии: Толкование притчи о сеятеле

(Мф 13: 10-23, зачало 51-е).

6-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ВТОРНИК

На литургии: Притча о пшенице и сорняках

(Мф 13: 24-30, зачало 52-е).

6-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СРЕДА

На литургии: Объяснение притчами Царства Небесного

(Мф 13: 31-36, зачало 53-е).

6-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: Толкование притчи о пшенице и сорняках

(Мф 13: 36-43, зачало 54-е).

6-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПЯТНИЦА

На литургии: Объяснение притчами Царства Небесного

(Мф 13: 44-54, зачало 55-е).

6-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СУББОТА

На литургии: Исцеление девицы. Исцеление кровоточивой

(Мф 9: 18-26, зачало 32-е).

6-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ

На утрене шестое воскресное Евангелие

(Лк 24: 36-54).¹⁹

На литургии: Исцеление расслабленного

(Мф 9: 1-8, зачало 29-е).

¹⁹ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

Ass	Sav	Ostr
38d–39a(Mt 9: 18-26)	38᠖–39a(M᠓ 9: 18-26)	66a–r(M᠓ 9: 18-26)
39bc(Mt 9: 1-6, 8) ⁴	39a᠖(M᠓ 9: 1-6, 8) ²	66r–67᠖(M᠓ 9: 1-8)
⁴ 7節を欠く。	² 7節を欠く。	

7-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПОНЕДЕЛЬНИК

На литургии: Нет пророку чести в отечестве его

(Мф 13: 54-58, зачало 56-е).

7-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ВТОРНИК

На литургии: Смерть Иоанна Крестителя (Мф 14: 1-13, зачало 57-е).

7-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СРЕДА

На литургии: Заповедь Божия и предание человеческое

(Мф 14: 35-15: 11, зачало 60-е).

7-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: Не еда оскверняет человека, но скверные помыслы

(Мф 15: 12-21, зачало 61-е).

7-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПЯТНИЦА

На литургии: Исцеление больных

(Мф 15: 29-31, зачало 63-е).

7-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СУББОТА

На литургии: Кто погубит душу свою ради Меня, обретет ее

(Мф 10: 37-11: 1, зачало 39-е).

7-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ

На утрене седьмое воскресное Евангелие

²⁰
(Ин 20: 1-10).

На литургии: Исцеление слепых

(Мф 9: 27-35, зачало 33-е).

²⁰ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

Ass	Sav	Ostr
39c-40a(Mt 10: 37-11: 1)	39᠖-40a(M᠑ 10: 37-42) ³	67B-68a(M᠑ 10: 37-11: 2) ⁸
40a-d(Mt 9: 27-35)	40a᠖(M᠑ 9: 27-35)	68᠖-r(M᠑ 9: 27-35)
	³ 11.1を欠く。	⁸ 11.2は他にない。

8-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПОНЕДЕЛЬНИК

На литургии: Опасайтесь закваски фарисейской

(Мф 16: 1-6, зачало 65-е).

8-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ВТОРНИК

На литургии: О фарисейской закваске (Мф 16: 6-12, зачало 66-е).

8-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СРЕДА

На литургии: Возьми крест свой и следуй за Мною

(Мф 16: 20-24, зачало 68-е).

8-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: Кто потеряет душу свою ради Меня, тот обретет ее

(Мф 16: 24-28, зачало 69-е).

8-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПЯТНИЦА

На литургии: Это Илия пришел в образе Иоанна Крестителя

(Мф 17: 10-18, зачало 71-е).

8-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СУББОТА

На литургии: Не хулите Духа Святого, не пустословьте

(Мф 12: 30-37, зачало 47-е).

8-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ

На утрене восьмое воскресное Евангелие(Ин 20: 11-18)²¹*На литургии:* Насыщение народа пятью хлебами и двумя рыбами

(Мф 14: 14-22, зачало 58-е).

²¹ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

Ass	Sav	Ostr
40cd(Mt 12: 30-37)	40ϥ–41a(Mϥ 12: 30-37)	68r–69B(Mϥ 12: 30-37)
40d–41b(Mt 14: 14-22)	41ϥ–42a(Mϥ 14: 14-22)	68r–70B(Mϥ 14: 14-22)

9-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПОНЕДЕЛЬНИК

На литургии: Будьте как дети. Берегитесь соблазна

(Мф 18: 1-11, зачало 74-е).

9-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ВТОРНИК

На литургии: Где соберутся во имя Мое, там Я посреди них. Прощайте брату своему. Благословение детей

(Мф 18: 18-22, 19: 1-2, 13-15, зачала 76-е и 78-е).

9-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СРЕДА

На литургии: Притча о работниках в винограднике

(Мф 20: 1-16, зачало 80-е).

9-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: Что человек не может, Бог может

(Мф 20: 17-28, зачало 81-е).

9-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПЯТНИЦА

На литургии: Изгнание торгующих из Храма. Проклятие смоковницы

(Мф 21: 12-14, 17-20, зачало 73-е).

9-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СУББОТА

На литургии: Второе умножение хлебов (Мф 15: 32-39, зачало 64-е).

9-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ

На утрене девятое воскресное Евангелие

(Ин 20: 19-31).²²

На литургии: Хождение по водам

(Мф 14: 22-34, зачало 59-е).

²² см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

Ass	Sav	Ostr
41bc(Mt 15: 32-39)	42a6(Mϕ 15: 32-39)	70B-716(Mϕ 15: 32-39)
41d-42b(Mt 14: 22-34)	426-43a(Mϕ 14: 22-23, 25-34)	716-72a(Mϕ 14: 22-34)

10-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПОНЕДЕЛЬНИК

На литургии: О силе веры (Мф 21: 18-22, зачало 84-е).

10-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ВТОРНИК

На литургии: О власти Иисусовой (Мф 21: 23-27, зачало 85-е).

10-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СРЕДА

На литургии: Притча о двух сыновьях (Мф 21: 28-32, зачало 86-е).

10-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: Камень преткновения (Мф 21: 43-46, зачало 88-е).

10-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПЯТНИЦА

На литургии: О воскресении мертвых (Мф 22: 23-33, зачало 91-е).

10-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СУББОТА

На литургии: Если не будете как дети, не войдете в Царство небесное
(Мф 17: 24-18: 4, зачало 73-е).

10-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ

На утрене десятое воскресное Евангелие (Ин 21: 1-14).²³

На литургии: Исцеление лунатика (Мф 17: 14-23, зачало 72-е).

²³ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

Ass	Sav	Ostr
42cd(Mt 17: 24-18: 4)	43a6(Mϕ 17: 24-27, 18: 1-4)	726-73a(Mϕ 17: 24-18: 4)
43a-c(Mt 17: [14]-[23])	44a6(Mϕ 17: 14-23)	73a-r(Mϕ 17: 14-22 ⁹)
		⁹ E.-A. では23節まで。

11-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПОНЕДЕЛЬНИК

На литургии: Горе лицемерам (Мф 23: 13-22, зачало 94-е).

11-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ВТОРНИК

На литургии: Горе лицемерам (Мф 23: 23-28, зачало 95-е).

11-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СРЕДА

На литургии: Горе лицемерам (Мф 23: 29-39, зачало 96-е).

11-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: Признаки конца времен (Мф 24: 13-28, зачало 99-е).

11-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПЯТНИЦА

На литургии: Пришествие Сына Человеческого
(Мф 24: 27-32, зачало 100-е).

11-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СУББОТА

На литургии: Муж и жена единая плоть (Мф 19: 3-12, зачало 78-е).

11-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ

На утрене одиннадцатое воскресное Евангелие (Ин 21: 15-25)²⁴.

На литургии: Притча о милосердном займодавце

(Мф 18: 23-35, зачало 77-е).

²⁴ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

Ass	Sav	Ostr
43c-44b(Mt 19: 3-12)	44b-45a(Mp 19: 3-12)	73r-75a(Mp 19: 3-12)
44a-45a(Mt 18: 23-35)	45b-46a(Mp 18: 23-35)	75a-76b(Mp 18: 23-35)

12-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПОНЕДЕЛЬНИК

На литургии: Крещение (Мк 1: 9-15, зачало 2-е).

12-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ВТОРНИК

На литургии: Призвание учеников (Мк 1: 16-22, зачало 3-е).

12-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СРЕДА

На литургии: Изгнание духа нечистого (Мк 1: 23-28, зачало 4-е).

12-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: Излечение тещи Петровой (Мк 1: 29-35, зачало 5-е).

12-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПЯТНИЦА

На литургии: Не постятся гости, когда жених с ними
(Мф 2: 18-22, зачало 9-е).

12-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СУББОТА

На литургии: Исцеление слепцов иерихонских
(Мф 20: 29-34, зачало 82-е).

12-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ

На утрене первое воскресное Евангелие²⁵ (Мф 28: 16-20).

На литургии: Трудно богатому войти в Царство Небесное

(Мф 19: 16-26, зачало 79-е).

²⁵ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

Ass	Sav	Ostr
45ab(Mt 20: 29-34)	466(Mϕ 20: 29-34)	766-r(Mϕ 20: 29-34)
45b-46a(Mt 19: 19-26)	466-476(Mϕ 19: 16-26)	76r-77r(Mϕ 19: 16-26)

13-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПОНЕДЕЛЬНИК

На литургии: Множество людей идет за Иисусом

(Мк 3: 6-12, зачало 11-е).

13-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ВТОРНИК

На литургии: Избрание двенадцати апостолов

(Мк 3: 13-19, зачало 12-е).

13-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СРЕДА

На литургии: Разделившееся царство не может устоять

(Мк 3: 20-27, зачало 13-е).

13-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: Нет прощения за хулу на Святого Духа. О матери и братьях Иисуса

(Мк 3: 28-35, зачало 14-е).

13-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПЯТНИЦА

На литургии: Притча о сеятеле

(Мк 4: 1-9, зачало 15-е).

13-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СУББОТА

На литургии: Кесарево кесарю, Богу богово

(Мф 22: 15-22, зачало 90-е).

13-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ

На утрене второе воскресное Евангелие(Мк 16: 1-8)²⁶*На литургии:* Притча о злых виноградарях

(Мф 21: 33-42, зачало 87-е).

²⁶ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

Ass	Sav	Ostr
46ab(Mt 22: 15-22)	47ϕ-48a(Mϕ 22: 15-22)	77Γ-78B(Mϕ 22: 15-22)
46b-47a(Mt 21: [33]-42)	48aϕ(Mϕ 21: 33-42)	78B-79B(Mϕ 21: 33-42)

14-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПОНЕДЕЛЬНИК

На литургии: Толкование притчи о сеятеле (Мк 4: 10-23, зачало 16-е).

14-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ВТОРНИК

На литургии: Объяснение в притчах Царства Небесного

(Мк 4: 24-34, зачало 17-е).

14-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СРЕДА

На литургии: Усмирение бури

(Мк 4: 35-41, зачало 18-е).

14-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: Изгнание бесов

(Мк 5: 1-20, зачало 19-е).

14-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПЯТНИЦА

На литургии: Воскрешение дочери Иаира

(Мк 5: 22-24, 5: 35-6: 1, зачало 20-е).

14-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СУББОТА

На литургии: Один есть учитель—Христос, один есть отец—Бог

(Мф 23: 1-12, зачало 93-е).

14-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ

На утрене третье воскресное Евангелие

²⁷
(Мк 16: 9-20).

На литургии: Притча о званых и избранных (Мф 22: 1-14, зачало 89-е).

²⁷ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

Ass	Sav	Ostr
47a-c(Mt 23: 1-11) ⁵		79B-80B(Mф 23: 1-12)
47c-48b(Mt 22: 2-14) ⁶	49a(Mф 24: 10-13) ⁴	80B-81B(Mф 22: 2-14) ¹⁰
⁵ E.-A. は12節まで。 ⁶ E.-A. は1節から。	⁴ 他に対応なし。あるいは、 15週「土曜」の литургия の 一部か。	¹⁰ E.-A. では1節から。

15-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПОНЕДЕЛЬНИК

На литургии: Исцеление кровоточивой (Мк 5: 24-34, зачало 21-е).

15-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ВТОРНИК

На литургии: Нет пророку чести в отечестве его

(Мк 6: 1-7, зачало 22-е).

15-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СРЕДА

На литургии: Посылка апостолов на проповедь

(Мк 6: 7-13, зачало 23-е).

15-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: Насыщение народа пятью хлебами

(Мк 6: 30-45, зачало 25-е).

15-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПЯТНИЦА

На литургии: Хождение по водам

(Мк 6: 45-53, зачало 26-е).

15-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СУББОТА

На литургии: Признаки второго пришествия

(Мф 24: 1-13, зачало 97-е).

15-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ

На утрене четвертое воскресное Евангелие

(Лк 24: 1-12)²⁸.

На литургии: Главная заповедь

(Мф 22: 35-46, зачало 92-е).

²⁸ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

Ass	Sav	Ostr
48b–49a(Mt 24: 1-13)		81B–826(Mϕ 24: 1-9, 13) ¹¹
49a–c(Mt 22: 35-46)	49a6(Mϕ 22: 35-46)	82B–83a(Mϕ 22: 35-46)
		¹¹ E.-A. では Mϕ 24: 1-13.

16-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПОНЕДЕЛЬНИК

На литургии: Исцеления. Предания человеческие и заповеди Божии
(Мк 6: 54-7: 8, зачало 27-е).

16-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ВТОРНИК

На литургии: Заповедь Божия и предание человеческое
(Мк 7: 5-16, зачало 28-е).

16-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СРЕДА

На литургии: Оскверняет человека не пища, а скверные замыслы
(Мк 7: 14-24, зачало 29-е).

16-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: Исцеление финикийской девочки
(Мк 7: 24-30, зачало 30-е).

16-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПЯТНИЦА

На литургии: Насыщение четырех тысяч (Мк 8: 1-10, зачало 32-е).

16-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СУББОТА

На литургии: Пришествие Сына Человеческого
(Мф 24: 34-44, зачало 101-е).

16-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ

На утрене пятое воскресное Евангелие (Лк 24: 12-35)²⁹.

На литургии: Притча о талантах (Мф 25: 14-30, зачало 105-е).

²⁹ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

Ass	Sav	Ostr
49cd(Mt 24: 34-[40] ⁷)	496(Mф 24: 34-37) ⁵	836-84a(Mф 24: 34-44)
		84a-85в(Mф 25: 14-29)
⁷ 49葉と50葉の間に欠落がある。40節の途中で49dが終わり、50aは、次の「5旬祭後第18週」の土曜日の чтение(Lk 4: 31-36)に当たる31節の最後の2行である。	⁵ この後、1葉分（表裏）が写本として失われている。38節以降の欠落も、おそらくそのため。	

17-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПОНЕДЕЛЬНИК

На литургии: Исцеление слепого Вартимея

(Мк 10: 46-52, зачало 48-е).

17-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ВТОРНИК

На литургии: Бесплодная смоковница. Очищение храма

(Мк 11: 11-23, зачало 50-е).

17-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СРЕДА

На литургии: Сила веры

(Мк 11: 23-26, зачало 51-е).

17-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: О власти Иисуса Христа (Мк 11: 27-33, зачало 52-е).

17-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПЯТНИЦА

На литургии: Притча о злых виноградарях. Краеугольный камень

(Мк 12: 1-12, зачало 53-е).

17-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СУББОТА

На литургии: Притча о мудрых и неразумных девах

(Мф 25: 1-13, зачало 104-е).

17-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ

*На утрене шестое воскресное Евангелие*³⁰
(Лк 24: 36-54).*На литургии:* Вера хананейской женщины

(Мф 15: 21-28, зачало 62-е).

³⁰ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

Ass	Sav	Ostr
[⁸]		85B–86B(Mϕ 25: 1-13)
[⁹]		86B–886(Mϕ 15: 21, 23- ¹² 28)
⁸ 恐らく欠落部分。E.-A. および Ostr を参照。 ⁹ 前注に同じ。		¹² 22節を欠く。

18-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПОНЕДЕЛЬНИК

На литургии: Крещение Иисуса (Лк 3: 19-22, зачало 10-е).

18-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ВТОРНИК

На литургии: Родословие Иисуса Христа (Лк 3: 23-4: 1, зачало 11-е).

18-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СРЕДА

На литургии: Испытание в пустыни (Лк 4: 1-15, зачало 12-е).

18-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: Проповедь Иисуса в синагоге в Назарете
(Лк 4: 16-22, зачало 13-е).

18-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПЯТНИЦА

На литургии: Нет проποка в своем отечестве
(Лк 4: 22-30, зачало 14-е).

18-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СУББОТА

На литургии: Изгнание беса в синагоге Капернаума
(Лк 4: 31-36, зачало 15-е).

18-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ

На утрене седьмое воскресное Евангелие ³¹ (Ин 20: 1-10).

На литургии: Призвание учеников (Лк 5: 1-11, зачало 17-е).

³¹ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

Ass	Sav	Ostr
50ab (Lk 4: [31] ¹⁰ -36)		89a-B(ЈІК 4: 31-36)
50b – 51a (Lk 5: [1]-11)		89B–90B(ЈІК 5: 1-11)
¹⁰ 注7参照。		

19-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПОНЕДЕЛЬНИК

На литургии: Исцеления в проповедь в Галилее

(Лк 4: 37-44, зачало 16-е).

19-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ВТОРНИК

На литургии: Исцеление прокаженного (Лк 5: 12-16, зачало 18-е).

19-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СРЕДА

На литургии: В присутствии жениха гости на свадьбе не постятся

(Лк 5: 33-39, зачало 21-е).

19-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: Избрание двенадцати апостолов

(Лк 6: 12-19, зачало 23-е).

19-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПЯТНИЦА

На литургии: Заповеди блаженства

(Лк 6: 17-23, зачало 24-е).

19-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СУББОТА

На литургии: Исцеление расслабленного (Лк 5: 17-26, зачало 19-е).

19-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ

На утрене восьмое воскресное Евангелие(Ин 20: 11-18).³²*На литургии:* Будьте милосердны

(Лк 6: 31-36, зачало 26-е).

³² см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

Ass	Sav	Ostr
51a–c(Lk 5: 17-26)	50a6(Лк 5: 18-26)	90B–91B(Лк 5: 17-26)
51d–52a(Lk 6: 31-36)	506(Лк 6: 31-35)	91r–926(Лк 6: 31-36)

20-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПОНЕДЕЛЬНИК

На литургии: Горе пресыщенным. Заповедь любви к врагам
(Лк 6: 24-30, зачало 25-е).

20-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ВТОРНИК

На литургии: Не судите ближнего (Лк 6: 37-45, зачало 27-е).

20-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СРЕДА

На литургии: Стройте на твердом основании
(Лк 6: 46-7: 1, зачало 28-е).

20-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: Иисус Христос и Иоанн Креститель
(Лк 7: 17-30, зачало 31-е).

20-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПЯТНИЦА

На литургии: Укоризна не верующим Предтече и Христу
(Лк 7: 31-35, зачало 32-е).

20-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СУББОТА

На литургии: Угощение в доме Матфея (Лк 5: 27-32, зачало 20-е).

20-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ

На утрене девятое воскресное Евангелие (Ин 20: 19-31).³³

На литургии: Воскрешение сына вдовы (Лк 7: 11-16, зачало 30-е).

³³ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

Ass	Sav	Ostr
52bc(Lk 5: 27-32)		926-г(Лк 5: 27-32)
52cd(Lk 7: 11-16)		92г-936(Лк 7: 11-16)

21-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПОНЕДЕЛЬНИК

На литургии: Прощение грешницы (Лк 7: 36-50, зачало 33-е).

21-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ВТОРНИК

На литургии: Иисус на проповеди (Лк 8: 1-3, зачало 34-е).

21-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СРЕДА

На литургии: Усмирение бури (Лк 8: 22-25, зачало 37-е).

21-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: Слухи о Иисусе (Лк 9: 7-11, зачало 41-е).

21-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПЯТНИЦА

На литургии: Насыщение пяти тысяч (Лк 9: 12-18, зачало 42-е).

21-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СУББОТА

На литургии: Еда и исцеление в субботу (Лк 6: 1-10, зачало 22-е).

21-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ

На утрени десятое воскресное Евангелие (Ин 21: 1-14).³⁴

На литургии: Притча о сеятеле (Лк 8: 5-15, зачало 35-е).

³⁴ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

Ass	Sav	Ostr
52d–53c(Lk 6: 1-10)		936–946(Лк 6: 1-10)
53c–54b(Lk 8: 5-15)	51a6(Лк 8: 7-15)	946–95B(Лк 8: 5-15)

22-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПОНЕДЕЛЬНИК

На литургии: Апостолы исповедуют Иисуса Христа

(Лк 9: 18-22, зачало 43-е).

22-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ВТОРНИК

На литургии: Кто потеряет душу свою ради Меня, тот обретет ее

(Лк 9: 23-27, зачало 44-е).

22-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СРЕДА

На литургии: Кто не против вас, тот с вами (Лк 9: 44-50, зачало 47-е).

22-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: Требование смирения

(Лк 9: 49-56, зачало 48-е).

22-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПЯТНИЦА

На литургии: Отправление семидесяти на проповедь

(Лк 10: 1-15, зачало 50-е).

22-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СУББОТА

На литургии: Вера римского сотника

(Лк 7: 2-10, зачало 29-е).

22-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ

На утрене одиннадцатое воскресное Евангелие

³⁵ (Ин 21: 15-25).

На литургии: Притча о богаче и Лазаре (Лк 16: 19-31, зачало 83-е).

³⁵ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

Ass	Sav	Ostr
54b-d(Lk 7: 1-10) ¹¹	516-526(Лк 7: 1-10) ⁶	95B-966(Лк 7: 1-10) ¹³
55a-d(Lk 16: 19-31)	526-536(Лк 16: 19-21, 22-31)	96B-97B(Лк 16: 19-31)
¹¹ E.-A. では第2節から。	⁶ E.-A. では第2節から。	¹³ E.-A. では第2節から。

23-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПОНЕДЕЛЬНИК

На литургии: Открытие тайны Сына Божиего

(Лк 10: 22-24, зачало 52-е).

23-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ВТОРНИК

На литургии: Молитва Господня

(Лк 11: 1-10, зачало 55-е).

23-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СРЕДА

На литургии: Просите, и дано будет вам (Лк 11: 9-13, зачало 56-е).

23-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: Кто не со Мною, тот против Меня

(Лк 11: 14-23, зачало 57-е).

23-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПЯТНИЦА

На литургии: Не всегда изгнание нечистого духа бывает к добру

(Лк 11: 23-26, зачало 58-е).

23-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СУББОТА

На литургии: Нет ничего тайного, что не сделалось бы явным

(Лк 8: 16-21, зачало 36-е).

23-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ

На утрене первое воскресное Евангелие

(Мф 28: 16-20).³⁶

На литургии: Изгнание бесов в стране Гадаринской

(Лк 8: 26-39, зачало 38-е).

³⁶ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

Ass	Sav	Ostr
55d–56a(Lk 8: 16-21)	53᠖–54a(Лк 8: 16-21)	97г–98᠖(Лк 8: 16-21)
56b–57a (Lk 8: 27-35, 38-39) ¹²	55᠖–57a(Лк 8: 27-39) ⁷	98᠖–99г(Лк 8: 27-39) ¹⁴
¹² 26、36、37節を欠く。	⁷ 以下、3個の чтение は、他 に対応させたが、Sav では順 序がまったく逆転している。	¹⁴ E.-A. では26節から。

24-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПОНЕДЕЛЬНИК

На литургии: Знамение пророка Ионы (Лк 11: 29-33, зачало 59-е).

24-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ВТОРНИК

На литургии: О внутренней чистоте (Лк 11: 34-41, зачало 60-е).

24-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СРЕДА

На литургии: Осуждение лицемерия (Лк 11: 42-46, зачало 61-е).

24-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: Осуждение лицемерия (Лк 11: 47-12: 1, зачало 62-е).

24-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПЯТНИЦА

На литургии: Не страшитесь открыто исповедовать Христа
(Лк 12: 2-12, зачало 63-е).

24-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СУББОТА

На литургии: Иисус посылает апостолов на проповедь
(Лк 9: 1-6, зачало 40-е).

24-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ

На утрене второе воскресное Евангелие ³⁷ (Мк 16: 1-8).

На литургии: Исцеление кровоточивой. Воскрешение дочери Иaira
(Лк 8: 41-56, зачало 39-е).

³⁷ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

Ass	Sav	Ostr
57ab(Lk 9: 1-6)	55a6(Лк 9: 1-6)	99r-1006(Лк 9: 1-6)
57b-58b(Lk 8: 41-56)	54a-55a(Лк 8: 41-56)	100B-101r(Лк 8: 41-56)

25-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПОНЕДЕЛЬНИК

На литургии: Ищите Царствия Божия, остальное приложится
(Лк 12: 13-15, 22-31, зачало 65-е).

25-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ВТОРНИК

На литургии: Кому много дано, с того много спросится
(Лк 12: 42-48, зачало 68-е).

25-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СРЕДА

На литургии: Огонь и разделение принес Иисус на землю
(Лк 12: 48-59, зачало 69-е).

25-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: Призыв к покаянию (Лк 13: 1-9, зачало 70-е).

25-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПЯТНИЦА

На литургии: Скорбь о Иерусалиме (Лк 13: 31-35, зачало 73-е)³⁸.

25-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СУББОТА

На литургии: Изгнание беса из мальчика (Лк 9: 37-43, зачало 46-е).

25-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ

На утрене третье воскресное Евангелие (Мк 16: 9-20)³⁹.

На литургии: Притча о милосердном самарянине

(Лк 10: 25-37, зачало 53-е).

³⁸ зачало の番号は補った。

³⁹ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

Ass	Sav	Ostr
58b–d(Lk 9: 37-43)	57a6(Лк 9: 37-43)	102a–103B(Лк 9: 37-43)
58d–59c(Lk 10: 25-37)	576–586(Лк 10: 25-37)	103B–Г(Лк 10: 25-37)

26-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПОНЕДЕЛЬНИК

На литургии: О милостыни (Лк 14: 12-15, зачало 75-е).

26-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ВТОРНИК

На литургии: Следование за Иисусом требует жертв
(Лк 14: 25-35, зачало 77-е).

26-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СРЕДА

На литургии: Притчи о заблудшей овце и потерянной драхме
(Лк 15: 1-10, зачало 78-е).

26-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: Притча о неверном управителе (Лк 16: 1-9, зачало 80-е).

26-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПЯТНИЦА

На литургии: О законе. О соблазне (Лк 16: 15-18, 17: 1-4, зачало 72-е).

26-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СУББОТА

На литургии: О последователях Иисуса (Лк 9: 57-62, зачало 49-е).

26-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ

На утрене четвертое воскресное Евангелие (Лк 24: 1-12).⁴⁰

На литургии: Притча о неразумном богаче (Лк 12: 16-21, зачало 66-е).

⁴⁰ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

Ass	Sav	Ostr
59cd(Lk 9: 57-62)	586–59a(Лк 9: 57-62)	103r–1046(Лк 9: 57-62)
60ab(Lk 12: 16-21)	59a6(Лк 12: 16-21)	1046–r(Лк 12: 16-21)

27-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПОНЕДЕЛЬНИК

На литургии: Царство Божие внутри вас (Лк 17: 20-25, зачало 86-е).

27-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ВТОРНИК

На литургии: Второе пришествие Сына Человеческого

(Лк 17: 26-36, зачало 87-е).

27-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СРЕДА

На литургии: Как дитя принимайте Царство Божие

(Лк 18: 15-17, 26-30, зачало 90-е).

27-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: Предсказание страстей и воскресения

(Лк 18: 31-34, зачало 92-е).

27-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПЯТНИЦА

На литургии: Притча о талантах

(Лк 19: 12-28, зачало 95-е).

27-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СУББОТА

На литургии: Тайна открывается младенцам

(Лк 10: 19-21, из зачала 51-го)

27-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ

На утрене пятое воскресное Евангелие

(Лк 24: 12-35)⁴¹.

На литургии: Исцеление в субботу

(Лк 13: 10-17, зачало 71-е).

⁴¹ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

Ass	Sav	Ostr
60bc(Lk 10: 19-21)	59᠖–60a(ЈІK 10: 19-21)	104r–105᠖(ЈІK 10: 19-21)
60c–61b(Lk 13: 10-17)	60a᠖(ЈІK 13: 10-17)	105᠖–106a(ЈІK 13: 10-17)

28-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПОНЕДЕЛЬНИК

На литургии: Вход Господень в Иерусалим (Лк 19: 37-44, зачало 97-е).

28-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ВТОРНИК

На литургии: Изгнание торгующих из храма

(Лк 19: 45-48, зачало 98-е).

28-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СРЕДА

На литургии: О власти Иисуса

(Лк 20: 1-8, зачало 99-е).

28-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: Притча о злых виноградарях

(Лк 20: 9-18, зачало 100-е).

28-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПЯТНИЦА

На литургии: Кесарево—кессарю, Божие—Богу

(Лк 20: 19-26, зачало 101-е).

28-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СУББОТА

На литургии: Ждите пришествия Сына Человеческого

(Лк 12: 32-40, зачало 67-е).

28-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ

Неделя свв. Праотец

На утрене шестое воскресное Евангелие

(Лк 24: 36-54).⁴²

На литургии: Много званых, мало избранных

(Лк 14: 16-24, зачало 76-е).

⁴² см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

Ass	Sav	Ostr
61b–d(Lk 12: 32-40)	60᠖–61᠖(Jl᠙ 12: 22-40)	106a–107a(Jl᠙ 12: 32-40)
61d–62b(Lk 14: 16-24)	61᠖–62a(Jl᠙ 14: 16-24)	107a–r(Jl᠙ 14: 16-24)

29-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПОНЕДЕЛЬНИК

На литургии: О воскресении мертвых (Лк 20: 27-44, зачало 102-е).

29-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ВТОРНИК

На литургии: Терпением спасете душу (Лк 21: 12-19, зачало 106-е).

29-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СРЕДА

На литургии: О будущем разрушении Иерусалима и Храма
(Лк 21: 5-7, 10-11, 20-24, зачало 104-е).

29-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: Исчезнут небо и земля, но не исчезнут слова Мои
(Лк 21: 28-33, зачало 107-е).

29-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПЯТНИЦА

На литургии: Иуда решился на предательство
(Лк 21: 37-22: 8, зачало 108-е).

29-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СУББОТА

На литургии: Иисус учит о Царстве небесном
(Лк 13: 18-29, зачало 72-е).

29-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ

На утрени седьмое воскресное Евангелие ⁴³ (Ин 20: 1-10).

На литургии: Исцеление десяти прокаженных

(Лк 17: 12-19, зачало 85-е).

⁴³ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

Ass	Sav	Ostr
62b–63a(Lk 13: 19-29) ¹³	62a–63a(ЛІК 13: 19-29) ⁸	107r–109a(ЛІК 13: 19-29) ¹⁵
63a–c(Lk 17: 12-19)	63aб(ЛІК 17: 12-19)	109a–в(ЛІК 17: 12-19)
¹³ E.-A. では18節から。	⁸ E.-A. では18節から。	¹⁵ E.-A. では18節から。

30-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПОНЕДЕЛЬНИК

На литургии: Берегитесь закваски фарисейской

(Мк 8: 11-21, зачало 33-е).

30-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ВТОРНИК

На литургии: Исцеление слепого

(Мк 8: 22-26, зачало 34-е).

30-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СРЕДА

На литургии: Предсказание страданий и воскресения Сына Человеческого

(Мк 8: 30-34, зачало 36-е).

30-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: Илия придет прежде Сына Человеческого

(Мк 9: 10-16, зачало 39-е).

30-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПЯТНИЦА

На литургии: Наставление в смирении

(Мк 9: 33-41, зачало 41-е).

30-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СУББОТА

На литургии: Об исцелении в субботу

(Лк 14: 1-11, зачало 74-е).

30-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ

На утрене восьмое воскресное Евангелие(Ин 20: 11-18).⁴⁴*На литургии:* Невозможное для человека возможно Богу

(Лк 18: 18-27, зачало 91-е).

⁴⁴ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

Ass	Sav	Ostr
63c–64a(Lk 14: 1-11)	63᠖–64᠖(ЛК 14: 1-11)	109B–110B(ЛК 14: 1-11)
64b–d(Lk 18: 18-27)	64᠖–65a(ЛК 18: 18-27)	110B–111᠖(ЛК 18: 18-27)

31-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПОНЕДЕЛЬНИК

На литургии: Берегитесь соблазна (Мк 9: 42-10: 1, [за⁴⁵чало] 42-е).

31-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ВТОРНИК

На литургии: О нерасторжимости брака (Мк 10: 2-12, за⁴⁵чало 43-е).

31-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СРЕДА

На литургии: Благословение детей (Мк 10: 11-16, за⁴⁵чало 44-е).

31-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: Надеющемуся на богатство трудно войти в Царство Божие (Мк 10: 11-16, за⁴⁵чало 44-е).

31-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПЯТНИЦА

На литургии: Невозможное человеку возможно Богу (Мк 10: 23-32, за⁴⁵чало 46-е).

31-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СУББОТА

На литургии: Не можете служить Богу и богатству (Лк 16: 10-15, за⁴⁵чало 81-е).

31-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ

На утрене девятое воскресное Евангелие (Ин 20: 19-31).⁴⁶

На литургии: Исцеление слепого (Лк 18: 35-43, за⁴⁵чало 93-е).

⁴⁵ за⁴⁵чало は補った。

⁴⁶ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

Ass	Sav	Ostr
64d–65b(Lk 16: 10-15)	65᠖–66a(ЈІK 16: 10-15)	111B–112a(ЈІK 16: 10-15)
65bc(Lk 18: 35-43)		112a–r(ЈІK 18: 35-43)

32-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПОНЕДЕЛЬНИК

На литургии: Исцеление слепого Вартимея

(Мк 10: 46-52, зачало 48-е)

32-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ВТОРНИК

На литургии: Бесплодная смоковница. Изгнание торгующих из Храма

(Мк 11: 11-23, зачало 50-е).

32-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СРЕДА

На литургии: Веруйте и прошайте

(Мк 11: 23-26, зачало 51-е).

32-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: О власти Иисуса

(Мк 11: 27-33, зачало 52-е).

32-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПЯТНИЦА

На литургии: Притча о злых виноградарях (Мк 12: 1-12, зачало 53-е).

32-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СУББОТА

На литургии: Сила веры

(Лк 17: 3-10, зачало 84-е).

32-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ

На утрене десятое воскресное Евангелие(Ин 21: 1-14).⁴⁷*На литургии:* Посещение мытаря Закхея (Лк 19: 1-10, зачало 94-е).

⁴⁷ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

Ass	Sav	Ostr
65c–66a(Lk 17: 3-10)	66a6(Лк 17: 3-10)	112r–1136(Лк 17: 3-10)
66b–d(Lk 19: [1]-10)		113B–1146(Лк 19: 1-10)

33-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПОНЕДЕЛЬНИК

На литургии: Кесарево кесарю, а Богу божие

(Мк 12: 13-17, зачало 54-е).

33-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ВТОРНИК

На литургии: О воскресении мертвых

(Мк 12: 18-27, зачало 55-е).

33-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СРЕДА

На литургии: Главная заповедь

(Мк 12: 28-37, зачало 56-е).

33-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: Две лепты вдовицы

(Мк 12: 38-44, зачало 57-е).

33-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПЯТНИЦА

На литургии: О втором пришествии Сына Божия

(Мк 13: 1-8, зачало 58-е).

33-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СУББОТА

На литургии: Притча о вдове и неправедном судье

(Лк 18: 2-8, зачало 88-е).

33-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ

(Неделя мытаря и Фарисея)

На утрене воскресное Евангелие⁴⁸

На литургии: Притча о мытаре и фарисее (Лк 18: 10-14, зачало 89-е).

⁴⁸ この「早課」と次の注の「早課」は、何番目の воскресное Евангелие なのか、記載がない。前後から推測すると、одиннадцатое, первое, второе のどれかに当たるが、いずれにしても数が合わない。

Ass	Sav	Ostr
66d–67a(Lk 18: 2-8)	66ḡ–67a(ЛК 18: 2-8)	114ḡ–r(ЛК 18: 2-8)
		114r–115b(Мф 15: 21-28) ¹⁶
67c(Lk 18: 10-14)	67aḡ(ЛК 18: 10-14)	116ḡ–r(ЛК 18:(9) 10-14) ¹⁷
		¹⁶ Sav にのみ対応。(次々頁参照。)
		¹⁷ Ostr では次の <i>зачало</i> の後に位置する。

34-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПОНЕДЕЛЬНИК

На литургии: Претерпевший до конца спасется

(Мк 13: 9-13, зачало 59-е).

34-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ВТОРНИК

На литургии: Признаки конца времен (Мк 13: 14-23, зачало 60-е).

34-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СРЕДА

На литургии: Второе пришествие Сына Человеческого

(Мк 13: 24-31, зачало 61-е).

34-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: Бодрствуйте и молитесь (Мк 13: 31-14: 2, зачало 62-е).

34-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПЯТНИЦА

На литургии: Помазание Иисуса в Вифании

(Мк 14: 3-9, зачало 63-е).

34-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СУББОТА

На литургии: Две лепты бедной вдовы

(Лк 20: 45-47, 21: 1-4, зачало 103-е).

34-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ

(Неделя о Блудном сыне)

*На утрене воскресное Евангелие*⁴⁹*На литургии:* Притча о блудном сыне (Лк 15: 11-32, зачало 79-е).

⁴⁹ 前の注を参照。

35-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПОНЕДЕЛЬНИК

На литургии: Вход Господень в Иерусалим (Мк 11: 1-11, зачало 49-е).

35-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ВТОРНИК

На литургии: Тайная вечеря (Мк 14: 10-42, зачало 64-е).

35-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. СРЕДА

На литургии: Взятие Иисуса под стражу и допрос у первосвященников (Мк 14: 43-15: 1, зачало 65-е).

35-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: Иисус на допросе у Пилата (Мк 15: 1-15, зачало 66-е).

35-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ПЯТНИЦА

На литургии: Распятие (Мк 15: 22-25, 33-41, зачало 108-е).

35-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ.

СУББОТА МЯСОПУСТНАЯ

На литургии: Знаки второго пришествия
(Лк 21: 8-9, 25-27, 33-36, зачало 105-е).

35-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ

(Неделя мясопустная)

На утрене третье воскресное Евангелие (Мк 16: 9-20).⁵⁰

На литургии: Грядущий суд (Мф 25: 31-46, зачало 106-е).

⁵⁰ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

Ass	Sav	Ostr
71b–d(Lk 21: 8-9, 25-27, 33-36)	71a–72a(Лк 21: 8-9, 25-27, 33-36)	119r–120B(Лк 21: 8-9, 25-27, 33-36)
71d–72d(Mt 25: 31-46)	72a–73б(Мф 25: 31-46)	120r–122б(Мф 25: 31-46)

36-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ.

ПОНЕДЕЛЬНИК СЫРНОЙ СЕДМИЦЫ

На литургии: Вход Господень в Иерусалим. Тайная вечеря

(Лк 19: 29-40, 22: 7-39, зачало 96-е).

36-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ВТОРНИК

На литургии: Моление о чаше. Допрос у первосвященников

(Лк 22: 39-42, 45-23: 1, зачало 109-е).

В СРЕДУ НЕДЕЛИ МЯСОПУСТНОЙ ЛИТУРГИИ НЕ СЛУЖАТ

36-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ. ЧЕТВЕРГ

На литургии: Допрос у Пилата. Распятие. Погребение

(Лк 23: 1-34, 44-56, зачало 78-е).

В ПЯТНИЦУ НЕДЕЛИ МЯСОПУСТНОЙ ЛИТУРГИИ НЕ СЛУЖАТ

36-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ.

СУББОТА СЫРОПУСТНАЯ

На литургии: Нагорная проповедь. Учение о милостыне и молитве

(Мф 6: 1-13, зачало 16-е).

36-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПЯТИДЕСЯТНИЦЫ

(Неделя сыропустная)

На утрени четвертое воскресное Евангелие

(Лк 24: 1-12)⁵¹.

На литургии: Нагорная проповедь. О посте и прощении

(Мф 6: 14-21, зачало 17-е).

⁵¹ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

Ass	Sav	Ostr
73a–d(Mt 6: 1-13)	736–746(Mϕ 6: 1-13)	1226–123r(Mϕ 6: 1-13)
73d–74b(Mt 6: 14-21)	746–756(Mϕ 6: 14-21)	123r–124b(Mϕ 6: 14-21)

1-я СУББОТА ВЕЛИКОГО ПОСТА⁵²

Св. Феодора Тирона

На литургии: Прение о субботе (Мк 2: 23-3: 5, зачало 10-е).

1-е ВОСКРЕСЕНИЕ ВЕЛИКОГО ПОСТА

Торжество Православия

На утрене пятое воскресное Евангелие (Лк 24: 12-35).⁵³*На литургии (св. Василия Великого):* Уверение Нафанаила

(Ин 1: 43-51, зачало 5-е).

2-я СУББОТА ВЕЛИКОГО ПОСТА

На литургии: Исцеление прокаженного в Галилее

(Мк 1: 35-44, зачало 6-е).

2-е ВОСКРЕСЕНИЕ ВЕЛИКОГО ПОСТА

На утрене шестое воскресное Евангелие (Лк 24: 36-54).⁵⁴*На литургии (св. Василия Великого):* Исцеление расслабленного

(Мк 2: 1-12, зачало 7-е).

3-я СУББОТА ВЕЛИКОГО ПОСТА

На литургии: Призвание мытаря Левия Алфеева

(Мк 2: 14-17, зачало 8-е).

3-е ВОСКРЕСЕНИЕ ВЕЛИКОГО ПОСТА

Нелеля крестопоклонная

На утрене седьмое воскресное Евангелие (Ин 20: 1-10).⁵⁵*На литургии (св. Василия Великого):* Близко Царство небесное

(Мк 8: 34-9: 1, зачало 37-е).

⁵² 大齋期 ВЕЛИКИЙ ПОСТ の間は、土曜日（聖体礼儀）と日曜日（早課と聖体礼儀）のみ執り行われる。

⁵³ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

⁵⁴ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

⁵⁵ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

Ass	Sav	Ostr
74c–75a(Mk 2: 23-3: 5)	756–76a(Мк 2: 23-28, 3: 1-5)	127a–128a(Мк 2: 23-3: 5)
75b(Jo 1: [44], [52]) ¹⁶	766–77a(ИИ 1: 43-51)	128a–129a(ИИ 1: 43-51)
75bc(Mk 1: 35-44)	77a6(Мк 1: 35-44)	129a–r(Мк 1: 35-44)
75d–76b(Mk 2: 1-12)	776–786 (Мк 2: 1-12) ¹¹	129r–131a(Мк 2: 1-12)
76bc(Mk 2: 14-17)		131a–B(Мк 2: 14-17)
76c–77a(Мк 8: [34]-9: 1)		131r–1326(Мк 8: 34-9:1)

¹¹ ここから7個の чтениеは E.-A. (=Ass) と順序が変わっている。ここでは Sav の順序を保存したが、Ass の順序で番号を付けると、1-4-3-6-5-2-7となる。なお、Ostr では4-3と6-4を Ass と同じ順序にしているが、他は Sav と同順である。

¹⁶ 現行福音書には52節はない。
注1 参照。

4-я СУББОТА ВЕЛИКОГО ПОСТА

На литургии: Исцеление глухого и косноязычного

(Мк 7: 31-37, зачало 31-е).

4-е ВОСКРЕСЕНИЕ ВЕЛИКОГО ПОСТА

На утрене восьмое воскресног Евангелие

(Ин 20: 11-18).⁵⁶

На литургии (св. Вастлия Великого): Изгнание беса из мальчика

(Мк 9: 17-31, зачало 40-е).

5-я СУББОТА ВЕЛИКОГО ПОСТА

На литургии: Исповедание Петра

(Мк 8: 27-31, зачало 35-е).

5-е ВОСКРЕСЕНИЕ ВЕЛИКОГО ПОСТА

На утрене девятое воскресное Евангелие

(Ин 20: 19-31)⁵⁷

На литургии (св. Вастлия Великого): На пути к Иерусалиму

(Мк 10: 32-45, зачало 47-е).

6-я СУББОТА ВЕЛИКОГО ПОСТА. ЛАЗАРЕВА

На литургии: Воскрешение Лазаря

(Ин 11: 1-45, зачало 39-е).

6-е ВОСКРЕСЕНИЕ ВЕЛИКОГО ПОСТА

Неделя Вайй (Вербное воскресение)

На утрене: Вход Господень в Иерусалим

(Мф 21: 1-11, 15-17, зачало 83-е).

На литургии (св. Иоанна Златоуста): Вход Господень в Иерусалим

(Ин 12: 1-18, зачало 41-е).

⁵⁶ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

⁵⁷ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

Ass	Sav	Ostr
77ab(Mk 7: 31-37)	786–79a(Мк 7: 31-37) 79aб(Мк 8: 34-38, 9: 1) 796–80a(Мк 8: 27-31) 80a–816(Мк 9: 17-31) 816–82a(Мк 2: 14-17)	1326–133a(Мк 7: 31-37)
77c–78b(Мк 9: [17]-31)		133a–134b(Мк 9: 17-31)
78bc(Мк 8: 27-31)		134b–1356(Мк 8: 27-31)
78c–79b(Мк 10: [32]-45)	82a–83a(Мк 10: 32-45)	1356–136b(Мк 10: 32-45)
79c–81c(Jo 11: 1-45)	83a–856(ИИ 11: 1-38, 40-45)	136b–1406(ИИ 11: 1-45)
[Mt 21: 1-11, 15-17] ¹⁷	856–87a(Мф 21: 1-11, 15-17)	1406–141r(Мф 21: 1-11, 15-17)
81d–82c(Jo 12: 1-18)	87a–88a(ИИ 12: 1-18)	141r–143b(ИИ 12: 1-18)

¹⁷ この чтение は Ass には欠けるが、Sav および Ostr にある。

СТРАСТНАЯ НЕДЕЛЯ СВЯТОЙ И ВЕЛИКИЙ ПОНЕДЕЛЬНИК

На утрени: Проклятие смоковницы. Власть учить. Притча о двух сыновьях. Притча о злых виноградарях (Мф 21: 18-43, зачало 84-е).

На литургии Преждеосвященных Даров: Пришествие Сына Человеческого (Мф 24: 3-35, зачало 98-е).

ВЕЛИКИЙ И СВЯТОЙ ВТОРНИК

На утрени: Кесарево кесарю, а Богу богово. О воскресении мертвых. Главная заповедь. Берегитесь лицемерия и гордости (Мф 22: 15-23: 39, зачало 90-е).

На литургии Преждеосвященных Даров: В который час не думаете, придет Сын Человеческий. Притча о десяти девах. Притча о талантах. Божий Суд (Мф 24: 36 - 26:2, зачало 102-е).

ВЕЛИКАЯ И СВЯТАЯ СРЕДА

На утрени: Последняя Пасха в Иерусалиме (Ин 12: 17-50, зачало 41-е).

На литургии Преждеосвященных Даров: Предательство Иуды (Мф 26: 6-16, зачало 108-е).

ВЕЛИКИЙ И СВЯТОЙ ЧЕТВЕРГ

На утрени: Тайная вечеря (Лк 22: 1-39, зачало 108-е).

На литургии (св. Василия Великого): Возлияние мирра. Приготовление Пасхи. Умовение ног. Тайная вечеря. Моление о чаше. Взятие Иисуса под стражу. Суд над Иисусом. Отречение Петра. Иисуса отдают Пилату (Мф 26: 1-20, зачало 107-е; Ин 13: 3-17, Мф 26: 21-39, Лк 22: 43-45, Мф 26: 40-27: 2)

Ass	Sav	Ostr
82d–84c(Mt 24: 3-35)	88a–90᠖(M᠓ 24: 3-35)	143B–146B(M᠓ 24: 3-35)
84c–87a(Mt 24: 36-26: 2)	90᠖–93᠖(M᠓ 36-51, 25: 1-31)	146B–152B(M᠓ 24: 36-51, 25: 1-46, 26:1-2)
87ab(Mt 26: [6]-[16]) ¹⁸	93᠖–94a(M᠓ 26: 6, 16)	152r–153B(M᠓ 26: 6-16)
87b–92b(Mt 26: 2-20, Jo 13: 3-17, Mt 26: 21-39, Lk 22: 43-[45], Mt 26: 40-27: 2) ¹⁹	94a–100᠖(M᠓ 26: 1-20, ИH 13: 3-17, M᠓ 26: 21-39, ЛK 22: 43-45, M᠓ 26: 40-75, M᠓ 27: 1-2)	153B–164a(ИH 13: 1-17), M᠓ 26: 2-20, ИH 13: 3-17, M᠓ 36: 21-39, ЛK 22: 43-44, M᠓ 26: 40-27: 2)

¹⁸ 16節の痕跡は全く無い。

¹⁹ 細部の異同は、ここでは省略する。

ДВЕНАДЦАТЬ СТРАСТНЫХ ЕВАНГЕЛИЙ

(читаются в четверг вечером на последовании свв. Страстей Господних)

Первое страстное Евангелие: Прощальная беседа Иисуса с учениками. Архиерейская молитва Иисуса (Ин 13: 31-18: 1, зачало 46-е).⁵⁸

Второе страстное Евангелие: Взятие Иисуса под стражу. Допрос у первосвященника. Отречение Петра (Ин 18: 1-28, зачало 58-е)

Третье страстное Евангелие: Суд в синагедрионе. Отречение Петра (Мф 26: 57-75, зачало 109-е).

Четвертое страстное Евангелие: Суд Пилата (Ин 18: 28-19: 16, зачало 59-е).

Пятое страстное Евангелие: Раскаяние Иуды. Суд Пилата (Мф 27: 3-32, зачало 111-е).

Шестое страстное Евангелие: Крестный путь. Распятие (Мк 15: 16-32, зачало 67-е).

Седьмое страстное Евангелие: Распятие и смерть Иисуса (Мф 27: 33-54, зачало 113-е).

Восьмое страстное Евангелие: Распятие и смерть Иисуса. Благоразумный разбойник. Уверение римского сотника (Лк 23: 32-49, зачало 111-е).

Девятое страстное Евангелие: Распятие и смерть Иисуса (Ин 19: 25-37, зачало 61-е).

Десятое страстное Евангелие: Погребение Иисуса (Мк 15: 43-47, зачало 69-е).

Одиннадцатое страстное Евангелие: Погребение Иисуса (Ин 19: 38-42, зачало 62-е).

Двенадцатое страстное Евангелие: Назначение стражи у гроба (Мф 27: 62-66, зачало 114-е).

⁵⁸ 実際には зачала 46-57(58) に涉っている。

Ass	Sav	Ostr
92b–99c(Jo 13: 31-18: 1)	100б–111a(ИН 13: 1-3, [10], 12, [17], 31-38, 14: 1-31, 15: 1-27, 16: 1-33, 17: 1-26, 18:1)	164a–176в(ИН 13: 31-18:1)
99d–101b(Jo 18: 1-28)	111a–113б(ИН 18: 1-28)	176в–179б(ИН 18: 1-28)
101c (Mt 26: 57, 75)	113a–114б(Мф 26: 57-75)	179б–181б(Мф 26: 57-75)
101c–103c(Jo 18: 28-19: 16)	115a–117a(ИН 18: 28-19: 16)	181б–184в(ИН 18: 28-19: 16)
103c(Mt 27: 3, 27)	117б–119б(Мф 27: 3-32)	184г–187в(Мф 27: 3-32)
103c–104c(Мк 15: 16-32)	119б–120б(Мк 15: 16-32)	187г–189a(Мк 15: 16-32)
104c(Mt 27: 33, 54)	120б–122a(Мф 27: 33-54)	189б–191б(Мф 27: 33-54)
104c–105c(Lk 23: 32-49)	122aб(Лк 23: 32-41)	191б–192г(Лк 23: 32-49)
105c–106b(Jo 19: 25-37)		193a–194б(ИН 19: 25-37)
106b(Мк 15: 43, 47)		194б–г(Мк 15: 43-47)
106cd(Jo 19: 38-42)		194г–195б(ИН 19: 38-42)
106d(Mt 27: [62]-[67])		195б–г(Мф 27: 62-66)

ВЕЛИКАЯ И СТРАСТНАЯ ПЯТНИЦА

Евангелия на часах Великого Пятка

Евангелие 1-го часа: Раскаяние Иуды. Суд Пилата. Крестный путь.

Распятие и смерть Иисуса (Мф 27: 1-56, зачало 110-е).

Евангелие 3-го часа: Крестный путь. Распятие и смерть Иисуса

(Мк 15: 16-41, зачало 67-е).

Евангелие 6-го часа: Распятие и смерть Иисуса. Благоразумный разбойник. Уверение римского сотника (Лк 23: 32-49, зачало 111-е).*Евангелие 9-го часа:* Суд Пилата. Распятие и смерть Иисуса

(Ин 18: 28-19: 37, зачало 59-е).

На вечерне: Раскаяние Иуды. Благоразумный разбойник. Распятие и смерть Иисуса. Уверение римского сотника. Погребение

(Мф 27: 1-38, зачало 110-е, Лк 23: 39-54, Ин 19: 31-37, Мф 27: 55-61)⁵⁹.

ВЕЛИКАЯ И СВЯТАЯ СУББОТА

На утрени (в пятницу вечером): Назначение стражи у гроба

(Мф 27: 62-66, зачало 114-е).

На литургии (св. Василия Великого): Воскресение Иисуса Христа

(Мф 28: 1-20, зачало 115-е).

⁵⁹ Лк 23: 39-54 以下の引用には зачало 番号がついていない。断片的であるが、該当する зачало を補うと、Лк 23: 39-54 は зачало 111-е の一部、Ин 19: 31-37 は зачало 60-е の一部と зачало 61-е、Мф 27: 55-61 は зачало 113-е の一部である。

Ass	Sav	Ostr
106d–109b(Mt 27: 1-43) ²⁰		196a–199r(Мф 27: 1-43)
109bc(Lk 23: 39-43) ²¹		199r–200a(Лк 23: 39-43)
109c–110a(Mt 27: 45-54) ²²		200б–201б(Мф 27: 45-54)
110bc(Jo 19: 31-[37]) ²³		201б–г(ИИ 19: 31-37)
110d–111a(Mt 27: 55-61) ²⁴		201r–202в(Мф 27: 55-61)
111ab(Mt 27: 62-67) ²⁵		
111c–112c(Mt 28: 1-20)		202в–204в(Мф 28: 1-20)

²⁰ E.-A. では56節まで。Ostr 参照。

²¹ E.-A. では32-49節。Ostr 参照。

²² E.-A. での位置は、この頁の最初の чтение の後半（部分）に当たる。Ostr も同様。

²³ わずかに、E.-A. に重なる。Ostr 参照。

²⁴ これも部分的に対応する。Ostr 参照。

²⁵ E.-A. では66節まで。

Ass

Sav

Ostr

204γ-205γ(Мк 16: 9-20)¹⁹
=Е.-А. Столп 3-е

205γ-207а(Лк 24: 1-12)
=Е.-А. Столп 4-е

207а-208а(Ин 20: 1-10)
=Е.-А. Столп 7-е

208а-г(Ин 20: 11-18)
=Е.-А. Столп 8-е

209а-210в(Ин 21: 1-14)
=Е.-А. Столп 10-е

¹⁹ 以下、このページは Е.-А. の
第4部 Евангелія воскресные
に当たる。注29をも参照。

ЧТЕНИЯ ПРАЗДНИКОВ НЕПЕРЕХОДЯЩИХ

(МЕСЯЦЕСЛОВ)

ЕВАНГЕЛИЯ ПРАЗДНИКОВ НЕПЕРЕХОДЯЩИХ

Сентябрь, в 8-й день. Рождество Пресвятой Богородицы

*На утрени:*⁶⁰ Дева Мария в доме Елисаветы (Лк 1: 39-49, 56, зачало 4-е).

На литургии: Иисус у Марфы и Марии. Благословение Богоматери
(Лк 10: 38-42, 11: 27-28, зачала 54-е и 58-е).

Сентябрь, Воскресенье между 8 и 13 сентября. Неделя перед Воздвижением

На литургии: Пророчество о распятии (Ин 3: 13-17, зачала 9-е и 10-е,
см. Четверг после Пасхи и Вторник 2-й недели после Пасхи).

На литургии: Допрос у Пилата. Распятие и смерть Иисуса
(Ин 19: 6-11, 13-20, 25-28, 30-35, зачала 60-е и 61-е).

Сентябрь, Воскресенье между 15 и 21 сентября. Неделя по Воздвижении

На литургии: (Мк 8: 34 – 9: 1, зачало 37-е,
см. 3-е Воскресение Великого поста).

Сентябрь, в 26-й день. Преставление св. Апостола
и Евангелиста Иоанна Богослова

На утрени: 11-е утреннее воскресное Евангелие
(Ин 21: 15-25, зачало 66-е)⁶¹.

На литургии: О стоящем при Кресте Евангелисте Иоанне
(Ин 19: 25-27 и 21: 24-25, из зачала 61-го и 66-го,
см. 9-е страстное и 11-е воскресное Евангелия)⁶².

⁶⁰ Синаксарьでは一貫して На утрениであったが、これ以降は На утрени となっている。

⁶¹ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

⁶² Евангелия の誤り。

Ass МЕСЯЦЕСЛОВ	Sav МЕСЯЦЕСЛОВ	Ostr МЕСАЦЕСЛОВ
	9/1	9/1
1, сентябрь ²⁶ 112d–113b(Lk 4: 16-22)	124б–125а(Лк 4: 16-22)	211а–г(Лк 4: 16-22)
113b–d(Mt 4: 25, 5: 1-12)	*125аб(Лк 10: 39-48, 56) ¹²	211г–212в(Мф 4: 25, 5: 1-12)
2, сентябрь 114ab(Jo 10: 9-16)	125б–126б(Мф 4» 25, 5: 1-12)	212г–213в(Мф 5: 14-19) ²⁰
3, сентябрь 114c(Jo 15: 1)	9/2 126б–127а(Ин 10: 9-16)	213в–214в(Ин 10: 9-16) ²¹
4, сентябрь 114cd(Lk 10: 1-3, 10-12)	*127а(Ин 10: 22)	214в–215а(Ин 15: 5-7)
5, сентябрь 115ab(Mt 23: 34-39)	*127а(Лк 1: 39)	9/5 215а–216а(Мф 23: 29-39)
6, сентябрь 115с–116b(Мк 12: 28-37)	9/8 127аб(Лк 10: 38-42, 11: 27-28)	216б–217б(Лк 1: 39-49, 56) ²²
8, сентябрь 116b–d(Lk 10: 38-42, 11: 27-28)	9/9 127б–128а(Лк 8: 16)	9/8 217б–218а(Лк 10: 38-42, 11: 27-28) ²³
9, сентябрь 116d(Lk 8: [16], [21]) 116d(Mt 10: [37])	9/13 128а(Мф 10: 37) 128а(Мф 10: 37) 9/13 128аб(Ин 3: 13-17) *128а–129а(Ин 12: 25-36)	9/13 218г–219б(Ин 3: 13-17) ²⁴ 9/ 219б–221в(Мф 27: 1, Ин 19: 6, 9-11, 13-20, 20 Е.-А. де чтения общие 21 Е.-А. де чтения общие 22 Е.-А. де чтения общие 23 Е.-А. де чтения общие 24 Е.-А. (Ass) に従って9月8 – 13日の間の日曜日。ただし、最初 のマタイの第1節は含まれない。

²⁶ Е.-А. および Ass 本文中で判る限りで日付を付ける。日付の変り目は1行分空行とし、特に意味はないが、月の変り目は改頁する。

¹² 以下、*印をつけたものは、他に対応が無いことを表す。

Ass	Sav	Ostr
11, сентябрь 116d(Jo 3: [16])	129a–130b(Мф 27: 1-2, Ин 19: 6, 9-11, 13-20, 25-28, 30-35) ¹³	25-28, 30-35)
12, сентябрь 116d(Jo 10: [47])	9/16 131aб(Лк 7: 42-50)	221в–222б(Ин 8: 26-32)
13, сентябрь 117a(Jo 3: 13-17)	9/17 131б(Лк 9: 23)	9/16 222б–224a(Лк 7: 36-50)
²⁷ , сентябрь 117b–118b(Jo 19: 6, 9-11, 13-20, 25-28, 30-35)	9/20 131б–132a(Лк 21: 12-19)	224a–в(Лк 10: 9, 24-27)
15, сентябрь 118b–119a(Mt 5: 14-19)	*132a(Лк 1: 39) 9/24	9/20 224г–225в(Лк 21: 12-19)
16, сентябрь 119a–120a(Lk 7: 36-50)	132a(Мф 25: 1) *132a(Мф 4: 25)	226a–в(Мф 24: 42-47)
17, сентябрь 120ab(Lk 9: 23-27)		
20, сентябрь 120b–121a(Lk 21: 12-19)		
22, сентябрь 121a(текст無し)		
23, сентябрь 121a(текст無し)		
24, сентябрь 121a(Mt 25: [1], 13)		

²⁷ E.-A. に従って8–13日の間の日曜日。

¹³ Мф 27: 1-2を除いて、Ass に一致する。なお、日付については、Ass の注27を参照。

Ass	Sav	Ostr
1, октябрь 122a(Јо 1: 35, [42])	10/3 132a–133a(Мф 13:45-54)	10/3 227a–г(Мф 13: 45-54)
2, октябрь 122a(Лк 21: 19)	10/6 133a(Ин 20: 19)	10/11 228в–229б(Мф 5: 14-19)
3, октябрь 122ab(Мт 13: 45-48, 51-53)	10/18 133aб(Лк 10: 16-21)	229б–230в(Мк 8: 33-36, 14: 3-9)
6, октябрь 122b(Јо 20: [19], 31)	10/21 133б–134б(Лк 6: 17-23)	10/13 230в–231в(Мф 7: 12-21)
7, октябрь 122b(Лк 21: 19)	*134б(Ин 10: 22)	231г–232в(Лк 10: 16-21)
11, октябрь 122b(Мт 5: 14, 19)	10/25 134б(Ин 15: 17)	
13, октябрь 122b–123a(Мт 7: 12-21)	*134б(Ин 15: 5)	
18, октябрь 123a(Лк 10: [16], [21])		
21, октябрь 123b–124a(Лк 6: 17-23)		
23, октябрь 124a(Мт 10: 24-32)		
25, октябрь 124b(Јо 15: [17])		
124b(Јо 16: [2])		

Ass	Sav	Ostr
1, ноябрь 125b(Mt 10: 1, 5-8)	11/1 1346–135a(Мф 10: 1, 5-8)	
2, ноябрь 125b(Јо 15: [17])	11/6 135a(Ин 10: 9)	
125b(Јо 16: 2)	11/16 135a(Мф 9: 9)	
6, ноябрь 126a(Јо 10: [9], [16])		
7, ноябрь 126a(Lk 12: [12])		
8, ноябрь 126a(Јо 5: [15])		
126a–127a(Mt 13: 24-30, 36-43)		
11, ноябрь 127a(Јо 15: [17])		
127a(Јо 16: [2])		
13, ноябрь 127a(Јо 10: 9, 16)		
14, ноябрь 127a(Јо 1: [44], [52] ²⁸)		
15, ноябрь 127a(Јо 14: [10], [21])		

²⁸ 現行福音書ヨハネ第1章に
52節は無い。注1参照。

Ass	Sav	Ostr
16, ноябрь 127a(Mt 9: [9], [13])		
17, ноябрь 127a(テキスト無し)		
18, ноябрь 127a(テキスト無し)		
20, ноябрь 127b(Mt 5: [14], [19])		
21, ноябрь 127b(Lk 10: 38)		
25, ноябрь 127b(Jo 15: [17])		
127b(Jo 16: [2])		
27, ноябрь 127b(テキスト無し)		
27, ноябрь 127b(テキスト無し)		
30, ноябрь 127b(Jo 1: [35], [52])		

Декабрь, в 6-й день. Память св. Николая, архиепископа

Мир Ликийских, чудотворца

На утрени: Пастырь Добрый (Ин 10: 9-16, зачал 36-е).

На литургии: Заповеди блаженства (Лк 6: 17-23, зачал 24-е,
см. в пятницу 19-й недели после Пятидесятницы).

Декабрь, Воскресенье между 11 и 17 днем. Неделя Святых Праотец

На литургии: Много званых, мало избранных (Лк 14: 16-24, зачал 76-е, см. в 28-е Воскресение после Пятидесятницы).

Декабрь, Воскресенье между 18 и 24 днем.

Неделя пред Рождеством Христовым, Святых Отец

На литургии: Родословие Иисуса Христа (Мф 1: 1-25, зачала 1-е и 2-е).

Декабрь, в 24-й день. Предпразднество Рождества Христова

На 1-м часе: Рождество (Мф 1: 18-25, зачал 2-е,
см. Воскресение перед Рождеством).

На 3-м часе: Рождество (Лк 2: 1-20, зачал 5-е).

На 6-м часе: Поклонение волхвов (Мф 2: 1-12, зачал 3-е).

На 9-м часе: Бегство в Египет (Мф 2: 13-23, зачал 4-е).

На литургии: Поклонение пастухов
(Лк 2: 1-20, зачал 5-е, см. на 3-м часе).

Если Предпразднество выпадает на субботу или воскресенье, то на литургии:

Объяснение притчами Царства Небесного (Мф 13: 31-36, зачал 53-е,
см. в среду 6-й недели после Пятидесятницы).

Декабрь, в 25-й день. Рождество Господа нашего Иисуса Христа

На утрени (Мф 1: 18-25, зачал 2-е,
см. Воскресение перед Рождеством).

Ass	Sav	Ostr
1, декабрь 127b(Jo 12: [24], [36])	12/4 1356–136a(Мк 5: 24-34)	12/6 232г–233в(Лк 6: 17-23)
4, декабрь 127b–128a(Мк 5: 24-34)	12/5 136a(Мф 11: 27-30)	233г–234в(Мф 10: 24-32) 234г–235г(Лк 12: 2-11)
5, декабрь 128b(Mt 11: 23-30)	¹⁴ 12/ 1366–138a(Мф 1: 1-25)	2366–238a(Лк 13: 10-28)
6, декабрь 128b(Lk 6: [17], [23])	12/24 1386–141a(Лк 2: 1-40)	238в–239в(Лк 18: 2-14) 239г–2406(Мф 10: 1, 5-8)
8, декабрь 128b(テキスト無し)	*141a(Мф 1: 18) 12/25 141a–142a(Мф 2: 1-12)	240г–242a(Мф 13: 24-30, 36-43) 243a–244a(Мк 5: 24-34)
12, декабрь 129ab(Lk 10: 16-24, Mt 22: 14)	*1426(Мф 2: 13)	244a–6(Мф 11: 27-30)
13, декабрь 129b(Lk 21: 19)	*1426–143a(Мф 12: 15-21) 12/26 143a–144a(Мф 2: 13-23)	²⁵ (9/25) 244г–245a(Лк 8: 22-25) 245в–246a(Мф 12: 15-21)
17, декабрь 129b–130a(Mt 12: 15-21)	12/29 144a(Мф 2: 13, 18)	2466–2486(Мф 1: 1-25) 2486–251a(Мк 9: 33-41)
²⁹ , декабрь 130a–131b(Mt 1: 1-25)		
20, декабрь 131b–132a(Мк 9: 33-41)		12/24 249в–251a(Лк 2: 1-20)
22, декабрь 132b(Lk 7: [36])		12/25

²⁹ E.-A. に従って18-24日の間の日曜日。

¹⁴ E.-A. に従って18-24日の間の日曜日。

²⁵ この日付に相当する *зачало* ではあるが³、位置的に疑問がある。

На литургии: Рождество (Мф 2: 1-12, зачало 3-е,
см. Предпразднество Рождества на 6-м часе).

Декабрь, в 26-й день. Собор Пресвятой Богородицы.

На литургии: Бегство в Египет (Мф 2: 13-23, зачало 4-е,
см. Предпразднество Рождества на 9-м часе).

Декабрь, Суббота по Рождестве Христовом.

На литургии: Пророчество Исаии (Мф 12: 15-21, зачало 46-е).

Декабрь, Воскресенье между 26-м и 31-м днем.

Неделя по Рождестве Христове.

На литургии: Бегство в Египет (Мф 2: 13-23, зачало 4-е,
см. Предпразднество Рождества на 9-м часе).

Ass	Sav	Ostr
23, декабрь 132b(テキスト無し)		2516–252b(Mф 2: 1-12)
24, декабрь 132b–133b(Lk 2: 1-20)		12/26 252г–253г(Mф 2: 13-23)
25, декабрь 133b–134b(Mt 2: 1-12)		254a–255a(Mф 3: 1-11)
26, декабрь 134b–135b(Mt 2: 13-23)		2556–256a(Мк 1: 1-8)
27, декабрь 135b(Mt 21: [33], [42])		
29, декабрь 135b(Mt 2: 13)		

Январь, в 1-й день. Обрезание Господне

На утрени: Пастырь и овцы (Ин 10: 1-9, из 35-го зачала,
см. Четверг 5-й недели после Пасхи).

На литургии: Обрезание Иисуса Христа. Отрок Иисус в Храме
(Лк 2: 20-21, 40-52, зачала 6-е и 8-е).

Январь, в 1-й день. Память св. Василия Великого.

На литургии: Заповеди блаженства (Лк 6: 17-23, зачал 24-е,
см. Пятница 19-й недели после Пятидесятницы).

Январь, Воскресенье между 1 и 5 января.

Неделя перед Богоявлением (Просвещением).

На литургии: Проповедь Иоанна Крестителя (Мк 1: 1-8, зачал 1-е).

Январь, в 5-й день. Предпразднество Богоявления

На 1-м часе: Проповедь Иоанна Крестителя (Мф 3: 1-11, зачал 5-е).

На 3-м часе: Проповедь Иоанна Крестителя (Мк 1: 1-8, зачал 1-е,
⁶³ см. Воскресение перед Богоявлением).

На 6-м часе: Крещение (Мк 1: 9-15, зачал 2-е,
см. Понедельник 12-й недели после Пятидесятницы)

На 9-м часе: Крещение (Мф 3: 13-17, зачал 6-й).

На литургии: Проповедь Иоанна Крестителя
(Лк 3: 1-18, зачал 9-е).

Январь, в 6-й день. Богоявление (или Крещение Господне,
или Просвещение)

На утрени: Крещение (Мк 1: 9-11, из зачала 2-го,
см. Понедельник 12-й недели после Пятидесятницы).

⁶³ Богоявлением の誤植。

Ass	Sav	Ostr
1, январь 135b–136b(Lk 2: 20-21, 40-52)	1/1 144a–145(Лк 2: 20-21, 40-52)	1/1 256б–257в(Лк 2: 20-21, 40-52)
2, январь 136b–137b(Mt 3: 1-11)	1/2 145aб(Мф 3: 1-6)	1/5 257г–259г(Лк 3: 1-18)
³⁰ , январь 137b–138a(Мк 1: 1-8)	¹⁵ 1/ 145б–146a(Мк 1: 1-8)	259г–260a(Мк 1: 9-11)
5, январь 138a–139a(Lk 3: 1-18)	1/5 146a–147б(Лк 3: 1-18)	1/6 260a–в(Мф 3: 13-17)
6, январь 139a(Mt 3: 13-17)	*147б–148a(Мк 1: 9-11)	1/7 260в–261б(Ин 1: 29-34)
7, январь 139b–140a(Jo 1: 29-34)	1/6 148a(Мф 3: 13-17)	²⁶ 1/ 261б–262a(Мф 4: 1-11)
³¹ , январь 140ab(Mt4: 1-11)	1/7 148aб(Ин 1: 29-34)	²⁷ 1/ 262бв(Мф 4: 12-17)
³² , январь 140b–141a(Mt 4: 12-17)	¹⁶ 1/ 148б–149б(Мф 4: 1-11)	
8, январь 141a(Mt 4: [25])	¹⁷ 1/ 149б(Мф 4: 12-17)	
11, январь 141a(текст無し)		

³⁰ Просвещениеの前の日曜日。³¹ Просвещениеの後の土曜日。³² Просвещениеの後の月曜日。¹⁵ Ass の注30を参照。¹⁶ Ass の注31を参照。¹⁷ Ass の注32を参照。²⁶ Ass の注30を参照。²⁷ Ass の注31を参照。

На литургии: Крещение (Мф 3: 13-17, зачало 6-е,
см. Предпразднество Богоявления на 9-м часе).

Январь, в 7-й день. Собор Иоанна Крестителя.

На литургии: Свидетельство Иоанна Крестителя
(Ин 1: 29-34, зачало 3-е).

Суббота после Богоявления

На литургии: Испытание Иисуса Христа (Мф 4: 1-11, зачало 7-е).

Январь, Воскресенье между 7-м и 13-м днем.

Неделя по Богоявлении.

На литургии: Начало проповеди Иисуса (Мф 4 : 12-17, зачало 8-е).

Январь, в 30-й день. Память свв. Василия Великого, Григория
Богослова и Иоанна Златоустого.

На утрени: Пастырь Добрый
(Ин 10: 9-16, зачало 36-е, см. 6-го декабря).

На литургии: (Мф 5: 14-19, зачало 11-е).

Ass	Sav	Ostr
14, январь 141a(Mt 4: [25])		
16, январь 141a(Jo 21: [14])		
17, январь 141a(Lk 6: [17])		
18, январь 141a(Mt 5: [14])		
28, январь 141b(テキスト無し)		
29, январь 141b(テキスト無し)		
30, январь 141b(テキスト無し)		
31, январь 141b(テキスト無し)		

Февраль, во 2-й день. Сретение Господне

На утрени: Симеон-Богоприимец (Лк 2: 25-32, зачало 8-е).

На литургии: Симеон-Богоприимец и пророчица Анна

(Лк 2: 22-40, зачала 7-е и 8-е).

Ass	Sav	Ostr
1, февраль 141b(Lk 10: [19], [21])	2/24 150a(Мф 11: 9-15)	2/2 264a–265г(Лк 2: 22-40)
2, февраль 141b–142b(Lk 2: 22-40)		266a–в(Ин 12: 24-26, 35-36)
3, февраль 142b(Lk 2: [25], [40])		2/24 266в–267в(Мф 11: 2-15)
11, февраль 142b(テキスト無し)		
14, февраль 142b(Mt 4: [25])		
16, февраль 142b(テキスト無し)		
17, февраль 142b(テキスト無し)		
22, февраль 142b(テキスト無し)		
24, февраль 142b–143a(Mt 11: 2-15)		

Март, в 25-й день. Благовещение Пресвятой Богородицы

На утрени: Дева Мария в доме Елисаветы (Лк 1: 39-49, 56, зачало 4-е,
см. 8 сентября в Рождество Богородицы).

На литургии: Явление ангела Деве Марии (Лк 1: 24-38, зачало 3-е).

Ass	Sav	Ostr
9, март 143b–144a(Mt 20: 1-16)	3/9 150aб(Мф 20: 1-10)	3/9 267r–269a(Мф 20: 1-16)
22, март 144a(テキスト無し)	3/25 151a(Лк 1: 32-38)	3/25 269b–270b(Лк 1: 24-38)
24, март 144b–145a(Lk 1: 39- 49, 56)		²⁸ (8/1) 271a–b(Мф 10: 16-21)
25, март 145ab(Lk 1: 24-38)		

²⁸ この日付の *зачало* に該当するが、位置的に疑問がある。

Апрель, в 23-й день. Память св. великомученика Георгия Победоносца

На утрени: Помазание Иисуса мирром (Ин 12: 2-12, зачало 41-е,
см. на литургии в Вербное воскресенье).

На литургии: Последняя беседа Иисуса с учениками о ненависти
мира

(Ин 15: 17 – 16-2, зачало 52-е, см. в 3-ю субботу после Пасхи).

См. службу 26-го сентября.

Ass	Sav	Ostr
6, апрель 145b(テキスト無し)		
11, апрель 145b(テキスト無し)		
22, апрель 145b(テキスト無し)		
23, апрель 145b(Jo 15: [17], 16: [2])		
25, апрель 146a(テキスト無し)		
26, апрель 146a(テキスト無し)		
30, апрель 146a(テキスト無し)		

Май, в 8-й день. Память св. Апостола и Евангелиста Иоанна
Богослова

На утрени: Пастырь и овцы (Ин 10: 1-9, из 15-го зачала,
см. 1-го января на Обрезание Господне).

Май, в 9-й день. Перенесение мощей святого Николая Чудотворца.

На литургии: Заповеди блаженства (Лк 6: 17-23, зачал 24-е,
см. в пятницу 19-й недели после Пятидесятницы).

Май, в 11-й день. Память свв. равноапостольных Кирилла и Мефодия⁶⁴
Служба святителей.

⁶⁴ 引用章節目（зачало）無し。

Ass	Sav	Ostr
1, май 146a(テキスト無し)	5/8 1516(ИН 19: 25-27, 21: 24-25)	5/8 272a–b(ИН 19: 25-27, 21: 24-25)
2, май 146a(テキスト無し)	*1516–152a(ЛК 11: 2-4, 9-13)	5/11 272г–273в(ИН 15: 9-16)
8, май 146a(Јо 19: 25-27, 21: 24-25)		273в–274a(ИН 14: 21-27)
9, май 146a(テキスト無し)		274г–276a(ЛК 11: 1-13)
11, май 146ab(Јо 15: [9], [16])		
³³ , май 146b(テキスト無し)		
14, май 146b(テキスト無し)		
15, май 146b(テキスト無し)		
21, май 146b(テキスト無し)		
23, май 146b(テキスト無し)		

³³ 聖父エビファニー（の日）
と読めるような記載がある。
以下、6月4日まで同じ。

Июнь, в 24-й день. Рождество св. Иоанна Предтечи

На утрени: Рождение Иоанна Предтечи

(Лк 1: 24-25, 57-68, 76, 80, из зачал 3-го и 4-го).

На литургии: Благовестие Захарии. Рождение Иоанна Предтечи

(Лк 1: 5-25, 57-68, 76, 80, зачала 2-е, 3-е и 4-е).

Июнь, в 29-й день. Память свв. первоверховных

Апостолов Петра и Павла

На утрени: 11-е воскресное Евангелие (Ин 21: 15-25, зачал⁶⁵ 67-е).

На литургии: Исповедание апостола Петра

(Мф 16: 13-19, зачал 67-е)

Июнь, в 30-й день. Собор святых 12 Апостолов

На литургии: Отправление двенадцати Апостолов на проповедь

(Мк 3: 13-19, зачал 12-е,

см. во Вторник 13-й недели после Пятидесятницы).

⁶⁵ см. ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ.

Ass	Sav	Ostr
2, июнь 146b(テキスト無し)	6/14 1526(Лк 4: 24-28)	6/14 2766-277a(Лк 4: 22-30)
4, июнь 146b(テキスト無し)	*153a6(Ин 21: 4-14) *154a(Мф 28: 19-20)	6/24 2776-280г(Лк 1: 1-25, 57-68, 76, 80) ²⁹
8, июнь 146b(Jo 15:[17], 16: [2])	*154a6(Мк 16: 1-8) ¹⁸	
11, июнь 146b(Mt 10: [16])		
14, июнь 146b-147b(Lk 4: 22-32)		
15, июнь 147b(テキスト無し)		
19, июнь 147b(テキスト無し)		
24, июнь 147b-149b(Lk 1: 1-25, 57-68, 76, 80)		
27, июнь 149b(テキスト無し)		
28, июнь 149b(テキスト無し)		
29, июнь 149b-150a(Mt 16: 13-19)		

¹⁸ Sav の Месяцеслов はこ
こまで。

²⁹ Ostr の Месяцеслов はこ
こまで。

Июль, в 20-й день. Память св. пророка Илии

На литургии: Нет пророка в своем отечестве (Лк 4: 22-30, зачало 14-е,
см. в пятницу 18-й недели после Пятидесятницы).

Ass	Sav	Ostr
1, ИЮЛЬ 150a(テキスト無し)		
2, ИЮЛЬ 150b(テキスト無し)		
7, ИЮЛЬ 150b(テキスト無し)		
8, ИЮЛЬ 150b(Lk 6: 17-19, 9: 1-2)		
11, ИЮЛЬ 150b(テキスト無し)		
15, ИЮЛЬ 150b(テキスト無し)		
16, ИЮЛЬ 150b(テキスト無し)		
20, ИЮЛЬ 150b(テキスト無し)		
25, ИЮЛЬ 150b(テキスト無し)		
27, ИЮЛЬ 151a(テキスト無し)		
31, ИЮЛЬ 151a(Jo 10: [22])		

Август, в 1-й день. Происхождение честных древ ⁶⁶Честного Креста
На освящение воды: Исцеление расслабленного у Овчей купели
 (Ин 5: 1-4, зачало 14-е,
 см. на литургии в 4-е воскресение после Пасхи).

На литургии: Допрос у Пилата. Распятие и смерть Иисуса (Ин 19:
 6-11, 13-20, 25-28, 30-35, ⁶⁷зачала 60-е и 61-е,
 см. на литургии 14го сентября на Воздвижение Чесного Креста).

Август, в 6-й день. Преображение Господне
На утрени: Преображение (Лк 9: 28-36, зачало 45-е).

На литургии: Преображение (Мф 17: 1-9, зачало 70-е).

Август, в 15-й день. Успение Пресвятой Богородицы.
 См. на Рождество Пресвятой Богородицы 8-го сентября.

Август, в 16-й день. Перенесение Нерукотворенного Образа Господа
 нашего Иисуса Христа из Едеса в Царьград (служба убрусу).
На утрени и на литургии: Иисус на пути в Иерусалим
 (Лк 9: 51-56, 10: 22-24, зачала 48-е и 52-е).

Август, в 29-й день. Усекновение главы Иоанна Предтечи
На утрени: Смерть Иоанна Крестителя (Мф 14: 1-13, зачало 57-е,
 см. во Вторник 7 недели после Пятидесятницы).

На литургии: Смерть Иоанна Крестителя (Мк 6: 14-30, зачало 24-е).

⁶⁶ Честного の誤植か。

⁶⁷ расслабленного の誤植。

⁶⁸ 14-го の誤植。

Ass	Sav	Ostr
1, август 151ab(Mt 10: 16-22)		
5, август 151b(テキスト無し)		
6, август 151b–152a(Mt 17: 1-9)		
15, август 152a(テキスト無し)		
18, август 152a(テキスト無し)		
20, август 152a(テキスト無し)		
22, август 152a(テキスト無し)		
24, август 152a(テキスト無し)		
25, август 152a(Mt 5: [143])		
26, август 152a(テキスト無し)		
29, август 152a–153b(Mk 6: 14-30)		
30, август 153b(テキスト無し)		

Ass

Sav

Ostr

31, август

153b(テキスト無し)

ЧТЕНИЯ ОБЩИЕ

АПОСТОЛЫ И ЕВАНГЕЛИЯ ОБЩИЕ СВЯТЫМ

Служба Пресвятой Богородицы.

На утрени: Лк 1: 39-49, 56.

На литургии: (Флп 2: 5-11; или Евр 9: 1-7). Лк 10: 38-42; 11: 27-28.

Служба святых небесных бесплотных Сил

Евр 2: 2-10. Лк 10: 16-21 или Мф 13: 24-30, 36-43.

Служба святителя

Евр 7: 26-8: 2; Ин 10: 9-16

Служба святителей общая

На утрени: Ин 10: 1-9.

На литургии: Евр 13: 17-21, Мф 5: 14-19 или Ин 10: 9-16

Служба преподобных

Галат 5: 22 - 6: 2, Мф 11: 27-30 или Лк 6: 17-23

Ass

Sav

Ostr

ЕВАНГЕЛИЯ ВОСКРЕСНЫЕ

СТОЛП ЕВАНГЕЛЬСКИХ ЧТЕНИЙ

(одиннадцать евангельских зачал, посвященных Воскресению
Иисуса Христа; читаются в воскресенья на утрени)

1-е воскресное Евангелие:	Мф 28: 16-20 (задало 116-е)
2-е воскресное Евангелие:	Мк 16: 1-8 (задало 70-е)
3-е воскресное Евангелие:	Мк 16: 9-20 (задало 71-е)
4-е воскресное Евангелие:	Лк 24: 1-12 (задало 112-е)
5-е воскресное Евангелие:	Лк 24: 13-35 (задало 113-е)
6-е воскресное Евангелие:	Лк 24: 36-53 (задало 114-е)
7-е воскресное Евангелие:	Ин 20: 1-10 (задало 63)
8-е воскресное Евангелие:	Ин 20: 11-18 (задало 64)
9-е воскресное Евангелие:	Ин 20: 19-31 (задало 65)
10-е воскресное Евангелие:	Ин 21: 1-14 (задало 66)
11-е воскресное Евангелие:	Ин 21: 15-25 (задало 67)

Ass	Sav	Ostr
³⁴ 153b(Mt 25: 16, 20)		³⁰ 281a-b(Мф 16: 13-19)
153b(Mk 16: 1, 18)		282a-b(Лк 6: 17-19, 9: 1-2)
153b-154b(Mk 16: 9-20)		283b-284b(Лк 9: 28-36)
154b-155a(Lk 24: 1-12)		284b-285b(Мф 17: 1-9)
155a(Lk 24: [12], [35])		285b-286a(Мк 11: 22-26)
155a(Lk 24: [53])		286r-288b(Мк 6: 14-30)
155b-156a(Jo 20: 1-10)		288r-289b(Лк 13: 1-9)
156ab(Jo 20: 11-18)		289r-290b(Мк 6: 7-13)
156b(Jo 20: [19], [31])		290r-292r(Мк 16: 53-72)
156b-157b(Jo 21: 1-14)		292b-294b(Лк 22: 40-65)
157b(Jo 21: [14], [25]) ³⁵		
158a(Lk 1: [39], [56]) ³⁶		
158b(Mt 21: 1-8)		

³⁴ ここから注35までは、ほぼ、
E.-A. の 第4部 Евангелия
воскресные に相当する。

³⁵ ここまでが E.-A. の第4部
に相当する。

³⁶ 最後の2つの чтение は、今
のところ、他のアブラコスの
どこに当たるのか、見当がつ
かない。

³⁰ 以下は E.-A. の第4部 Ева-
нгелия воскресные (Столп)
に当たる。ただし、чтение 全
体を示す場合と、一部を示す
場合とがある。

あとがき

第1部では今回ようやく知り得たところを中心に、できるだけ自身の言葉で解説を試みた。もっと背伸びをすべきところであったが、そうしようとした途端に破綻しそうになって、思い留まった。結局、短い論文程度の分量で、なおかつ、ほぼすべて借り物の新知識を丸ごと呑み込んだようなものである。本文中でも書いたように、その方面の専門家から見れば、常識中の常識ばかりであろう。門外漢が怖いもの知らずに侵入し、理解できたことだけを急いでメモした、と思ってもらえれば幸いである。すべての知識は、最初、新知識であったはずで、時間とともに旧知識に変貌していく。それとともに、新知識が伴っていたはずの感動も、時間とともに失われていく。筆者は、旧知識も新知識も等しく、知り得た時の感動とともに書き記したいと、常々、思っている。それがもしも「知ったかぶり」にしか見えないとしたら、不徳の致すところである。

これに対して、第2部は、解説もなく唐突に始まり、終わった印象を与えてしまうであろう。「対照」の中に、言葉では表現できないものを詰め込んだつもりであるが、思わず言葉を添えた箇所、あるいは実際に言わずもがなの言葉を加えてしまった箇所もある。つまりは、「対比を以って語らせる」というのは表向きで、表現力の不足を、あえて素っ気ないやり方で誤魔化しているだけである。結論めいたことを、一つだけ書いておきたい。すなわち、アブラコス福音書は **Синаксарь** の部分と **Месяцеслов** の部分を、どのようにとらえるかで、テキストの特徴を指摘することができるようである。**Синаксарь** に関しては、今回行った対照作業が第1部において解説した「完全版」アブラコス福音書と「簡略版」アブラコス福音書を明示的にしたものである。これに対して **Месяцеслов** の対照は、言葉によって説明することが難しく、また、テキスト毎の **Месяцеслов** の固有の特徴を明示的にも示せないことを実証した、ということになろうか。それだけのことを言うために紙幅を費やしたのか、と言われれば反論の余地もないが、筆者としては小さい発見をしたと密かに思っている。

最後に、本書の執筆を申し出た頃の心積もりと、今回何とか形にした本書の内容とは、かけ離れたものがある。わざわざ言うことでもないが、自覚はしている。従って、この乖離を埋める作用が、もしもう一度機会が与えられれば、筆者の責務であろう。

図 版

1. Синаксарь. 復活祭後第6週 литургия (Ин 14: 10-21, зачало 48-е)

1a. E.-A. 教会スラヴ語・現代ロシア語対訳 (p.55-56)

1b. Ass. 29c-30a (Jo 14: 10-[11]-21). 写本と活字版

1c. Sav. 25a¹б (Ин 14: 10-21). 写本と活字版

1d. Ostr. 46б-47a (Ин 14: 10-17, 21). 写本と活字版

2. Месяцеслов. 9月8日 (Лк 10: 38-42, 11: 27-28² зачало 54-е)

2a. E.-A. 教会スラヴ語・現代ロシア語対訳 (p.369-370)

2b. Ass. 116b-d. 写本と活字版

2c. Sav. 127aб. 写本と活字版

2d. Ostr. 217б-218a. 写本と活字版

¹ Sav の古代スラヴ語写本は、このすぐ前の 25a(Ин 14: 11) から始まる。写本、活字印刷とも Савина книга, М. 1999. に基づく。

² Ass. Sav. Ostr. ではいずれも9月1日から始まるが、E.-A. にあわせて共通の最初の個所にあたる9月8日の литургия を掲げた。

детъ къ ѡцѣ, то́кми мно́ю. | ѿ́ще
мѧ́ вы́сте зна́ли, и ѡ́ца моего́ зна́ли
вы́сте о́убо: и ѡ́сѣлѣ́ позна́сте е́го и
ви́дѣсте е́го. | Глаго́ла е́мѣ́ фѣ́липпъ:
гди, покажи́ на́мъ ѡ́ца, и до́влѣтъ
на́мъ. | Глаго́ла е́мѣ́ ѿ́сь: то́лико вре́-
ма съ ва́ми е́смь, и не позна́лѣ е́си
мене́, фѣ́липпе; ви́дѣвый мене́ ви́дѣ
ѡ́ца; и ка́къ ты глаго́лещи: покажи́
на́мъ ѡ́ца; | Не вѣ́рѣши ли, ѿ́къ ѡ́зъ
во ѡ́цѣ, и ѡ́цъ во мнѣ́ е́сть; Глаго́лы,
ѿ́же ѡ́зъ глаго́лю ва́мъ, ѡ́ севѣ́
не глаго́лю: ѡ́цъ же, во мнѣ́ пребы-
ва́й, то́й творитѣ́ дѣ́ла. | Вѣ́рѣйте
мнѣ́, ѿ́къ ѡ́зъ во ѡ́цѣ и ѡ́цъ во
мнѣ́. ѿ́ще ли же ни, за та́ дѣ́ла вѣ́рѣ
и́мѣте мѧ́.

6-я НЕДЕЛЯ ПОСЛЕ ПАСХИ. СУББОТА. Попразднество Вознесения
На литургии: Иного утешителя даст вам Отец (Ин 14:10–21, начало 48-е)
Рече́ гсдъ сво́имъ о́ученикѡмъ: глаго́лы и́же ѡ́зъ глаго́лю ва́мъ

Не вѣ́рѣши ли, ѿ́къ ѡ́зъ во ѡ́цѣ,
и ѡ́цъ во мнѣ́ е́сть; Глаго́лы, ѿ́же
ѡ́зъ глаго́лю ва́мъ, ѡ́ севѣ́ не глаго́лю:
ѡ́цъ же, во мнѣ́ пребыва́й, то́й тво-
ритѣ́ дѣ́ла. | Вѣ́рѣйте мнѣ́, ѿ́къ ѡ́зъ
во ѡ́цѣ и ѡ́цъ во мнѣ́. ѿ́ще ли же ни,
за та́ дѣ́ла вѣ́рѣ и́мѣте мѧ́. | И́ми́нь
ѡ́ми́нь глаго́лю ва́мъ: вѣ́рѣ́й въ мѧ́
дѣ́ла, ѿ́же ѡ́зъ творю́, и то́й сотво-
ритѣ́, и бо́льша сѣхъ сотвори́тъ, ѿ́къ
ѡ́зъ ко ѡ́цѣ́ мое́мѣ́ гра́дѣ́. | И́ е́же ѡ́ще
что́ про́сите ѡ́ ѡ́ца ѡ́ имени́ мое́мъ,
то́ сотворю́: да просла́вится ѡ́цъ въ
сѣ́хъ. | И́ ѡ́ще че́сѡ́ про́сите во́ имя́
моё́, ѡ́зъ сотворю́: | ѿ́ще лю́бите мѧ́,
за́повѣ́ди моѧ́́ соблю́дите. | И́ ѡ́зъ

ко́ через Меня. ⁷Если бы вы знали
Меня, то знали бы и Отца Моего. И
отныне знаете Его и видели Его.
⁸Филипп сказал Ему: Господи! пока-
жи нам Отца, и довольно для нас.
⁹Иисус сказал ему: столько времени
Я с вами, и ты не знаешь Меня, Фи-
липп? Видевший Меня видел Отца;
как же ты говоришь: покажи нам
Отца? ¹⁰Разве ты не веришь, что Я в
Отце и Отец во Мне? Слова, которые
говорю Я вам, говорю не от Себя;
Отец, пребывающий во Мне, Он тво-
рит дела. ¹¹Верьте Мне, что Я в Отце
и Отец во Мне; а если не так, то
верьте Мне по самым делам.

¹⁰Разве ты не веришь, что Я в Отце
и Отец во Мне? Слова, которые гово-
рю Я вам, говорю не от Себя; Отец,
пребывающий во Мне, Он творит
дела. ¹¹Верьте Мне, что Я в Отце и
Отец во Мне; а если не так, то верьте
Мне по самым делам. ¹²Истинно, исти-
нно говорю вам: верующий в Меня,
дела, которые творю Я, и он сотво-
рит, и больше сих сотворит, потому
что Я к Отцу Моему иду. ¹³И если
чего попросите у Отца во имя Мое,
то сделаю, да прославится Отец в
Сыне. ¹⁴Если чего попросите во имя
Мое, Я то сделаю. ¹⁵Если любите
Меня, соблюдайте Мои заповеди. ¹⁶И

оумолою ѡца, и иного оутѣшителя дасть вамъ, да бѣдетъ съ вами въ вѣкъ: | Дхъ истины, егѡже мѣръ не можетъ прѣати, ѡкѡ не видить егѡ, ниже знаетъ егѡ: вы же знаете егѡ, ѡкѡ въ васъ превываетъ и въ васъ бѣдетъ. | Не ѡставляю васъ сиры: приидѣ къ вамъ. | Ещѣ малѡ, и мѣръ кѡмѡ не видить менѣ, вы же видите мѡ, ѡкѡ азъ живѡ, и вы живи бѣдете. | Въ той дѣнь разѡмѣете вы, ѡкѡ азъ во ѡцѣ моёмъ, и вы во мнѣ, и азъ въ васъ. | Имѣай заповѣди моѡ и соблюдай ихъ, той естъ любай мѡ: а любай мѡ возлюбленъ бѣдетъ ѡцѣмъ моимъ, и азъ возлюблю егѡ и явлюса емѡ самъ.

7-е ВОСКРЕСЕНИЕ ПОСЛЕ ПАСХИ. Попрасуднество Вознесения.

(Память свв.Отцов I Вселенского Собора)

На утрѣне десятое воскресное Евангелие (Ин 21:1–14)

На литургии: Архиерейская молитва Иисуса Христа. Молѣние за учеников (Ин 17:1–13, зачало 56-е)

Во время оно возведе исъ очи свои на небо

Оѡ глагола ийсъ и возведе ѡчи свои на нѡ и рече: ѡче, прииде часъ: прослави сѡа твоегѡ, да и сѡъ твоѡй прославить: тѡ: | Икоже далъ еси емѡ власть всѡкѡа плѡти, да всѡкѡ, еже далъ еси емѡ, дастъ имъ живѡтъ вѣчнѡй. | Се же естъ живѡтъ вѣчнѡй, да знаютъ тебѣ едѡнаго истиннаго бѡга и егѡже послалъ еси ийсъ хрѡта. | Азъ прославихъ тѡ на землѡи: дѣло совершихъ, еже далъ еси мнѣ, да сотворю. | И нынѣ прослави мѡ тѡ, ѡче, оѡ тебѣ самогѡ славою,

Я умолю Отца, и даст вам другого Утешителя, да пребудет с вами во-век, ¹⁷Духа истины, Которого мир не может принять, потому что не видит Его и не знает Его; а вы знаете Его, ибо Он с вами пребывает и в вас будет. ¹⁸Не оставлю вас сиротами; приду к вам. ¹⁹Еще немного, и мир уже не увидит Меня; а вы увидите Меня, ибо Я живу, и вы будете жить. ²⁰В тот день узнаете вы, что Я в Отце Моём, и вы во Мне, и Я в вас. ²¹Кто имеет заповеди Мои и соблюдает их, тот любит Меня; а кто любит Меня, тот возлюблен будет Отцем Моим; и Я возлюблю его и явлюсь ему Сам.

После сих слов Иисус возвел очи Свои на небо и сказал: Отче! пришел час, прославь Сына Твоего, да и Сын Твой прославит Тебя, ²так как Ты дал Ему власть над всякою плотью, да всему, что Ты дал Ему, даст. Он жизнь вечную. ³Сия же есть жизнь вечная, да знают Тебя, единого истинного Бога, и посланного Тобою Иисуса Христа. ⁴Я прославил Тебя на земле, совершил дело, которое Ты поручил Мне исполнить. ⁵И ныне прославь Меня Ты, Отче, у Тебя Са-

с	естѣ: глѣн ѡже	1	d	камѣ: кѣроуѣнѣ
	азѣ глѣж камѣ:	2		къ мамѣ: дѣла ꙗ
	о себѣ не глѣж:	3		же азѣ теоритѣ: ѡ
	оцѣ же прѣбѣн	4		тѣ теоритѣ: ѡ
	каѣнѣ къ мнѣ:	5		большаѣ сътео
	тѣ теоритѣ дѣ	6		ритѣ снхѣ: ꙗко
	ла: 11. кѣрж нмѣ	7		азѣ къ оцѣу грѣ
	тѣ мнѣ: ꙗко ѡ	8		дж: 13. ѡ ѡгоже ко
	зѣ къ оцѣ: ѡ оцѣ	9		анждо проситѣ:
	къ мнѣ: —	10		къ мамѣ мое:
	Б(ѣ) с(ѣ) ѣ не: еѣ:	11		то стѣорж: да
	о на гла рѣнж:	12		прослакинтѣ сѣ
	Рече глѣ скоѡ	13		оцѣ о снѣу: 14. ѡ аще
	мѣ оученико	14		чѣо проситѣ
Jan 14.	мѣ: 10. глѣн ѡ	15		къ мамѣ мое:
	же азѣ глѣж	16		то стѣорж: 15. ѡ аще
	камѣ: о се	17		любите мамѣ:
	бѣ не глѣж.	18		заповѣди мо
	оцѣ же прѣбѣн	19		мѣ съблюдетѣ:
	каѣнѣ къ мнѣ:	20		16. ѡ азѣ оумоляж
	тѣ теоритѣ дѣ	21		оцѣ: ѡ нного па
	ло: 11. кѣрж нмѣ	22		раклитѣ да
	тѣ мнѣ: ꙗко ѡ	23		стѣ камѣ: да
	зѣ къ оцѣ: ѡ оцѣ	24		бждѣтѣ сѣ мамѣ
	ко мнѣ: ѡ аще ли	25		къ кѣкѣн: 17. дѣхѣ
	же ни: за та дѣ	26		истѣнѣнѣн: ѡго
	ла кѣрж ѣми	27		же мирѣ не мо
	тѣ ми: 12. ѡминѣ	28		жетѣ приѣти,
	ѡминѣ глѣж	29		ꙗко не видѣтѣ ѣ
		30		го: ни знаѣтѣ ѡго:

а	кѣи жє зндѣтє	1	б	^а Д ^ж Е ^т Ж ^ѣ Б ^н И ^ѣ Н ^ѣ Я	
	ѣ: ꙗко кѣ класъ	2	⋈ НѢ Ж ЕЪ НІЖ БЪНІЯ		
	прѣбѣнїдѣтъ:	3	⋈ пѣмѣ ѡцмѣ і е нннн ⋈		
	ѣ кѣ класъ бж	4	⋈ ꙗко ѡ нѡд гла		
	дєтъ: 18. нє ѡста	5	^ѣ Р ^ѡ 1. кѣзєдѣ	Jan 17.	
	кѣж класъ снрѣ:	6	нѣсѣ ѡчи скон на нѣо		
	прндѣж к камъ:	7	рєчє ѡчє прндє го		
	19. ѣще мало ѡ ми	8	дїна прослаен		
	рѣ к томоу нє кн	9	сна скоѣго ⋈ ко		
	днѣтъ мєнє: кѣи	10	13. да нмжтѣ радѡ		
	(н) жєкнднтє мѣ:	11	стѣ моѡж нсплѣ		
	ꙗко дѣж жнєж:	12	нєнж кѣ сєбѣ ⋈—		
	ѣ кѣи жнєн бж	13	нѣи кѣ дмѣ ежє на		
	дєтє: 20. Бѣ тѣ дє	14	мѣж хѣж срѣдѣ ⋈—		
	нѣ разоумѣѣ	15	⋈ ^к Д ^ѣ т ^н ѣ ^ѣ Б ^ѣ ⋈—		
	тє кѣи: ꙗко дѣ	16	⋈ Р ПО Ж НѢ ЄР О НО ГЛ ^ѣ р ^ѣ ⋈—		
	зѣ кѣ ѡцн моѣ	17	^ѣ Р ^ѣ Гѣ скоѣмѣ оуѣ	Jan 14.	
	мѣ: і кѣи єо	18	ннмѣ. 27. да нє сѣмж		
	мнѣ: і дѣж кѣ	19	ѡдѣтѣ сѣ кашє срѣ		
	класъ: 21. імѣѣѣ	20	нн оуѣстрашѣтѣ ⋈ ко		
	запокѣдн мо	21	7. просїтє н бждєт	Jan 15.	
	ѣѣ: н сѣблѣдѣѣ	22	камѣ ⋈ нѣи ежє		
	ѣѣ: тѣ єстѣ лю	23	на мѣж хѣж кѣ дмѣ ⋈—		
	бѣѣ мѣ: ѣ лю	24	⋈ ^к Д ^ѣ т ^н ѣ ^ѣ Б		
	бѣѣ мѣ: бѣзѣ	25	⋈ БѢ Ж НѢ Є О НО ГЛѣ		
	юєнѣ бжтѣ ѡ	26	^ѣ Р ^ѣ Гѣ скоѣмѣ оуѣ		
	цѣмѣ моѣмѣ:	27	чєннмѣ. 2. Прндѣ єрѣ	Jan 16.	
	н дѣж кѣзѣлю	28	мѣ. да єсѣкѣ іє оуѣ		
	бж ѣ: н ꙗкож сѣ	29	бїєт кѣи. мнѣтѣ		
	ємоу сѣмѣ ⋈	30	сѣ слоужєж принѡ		

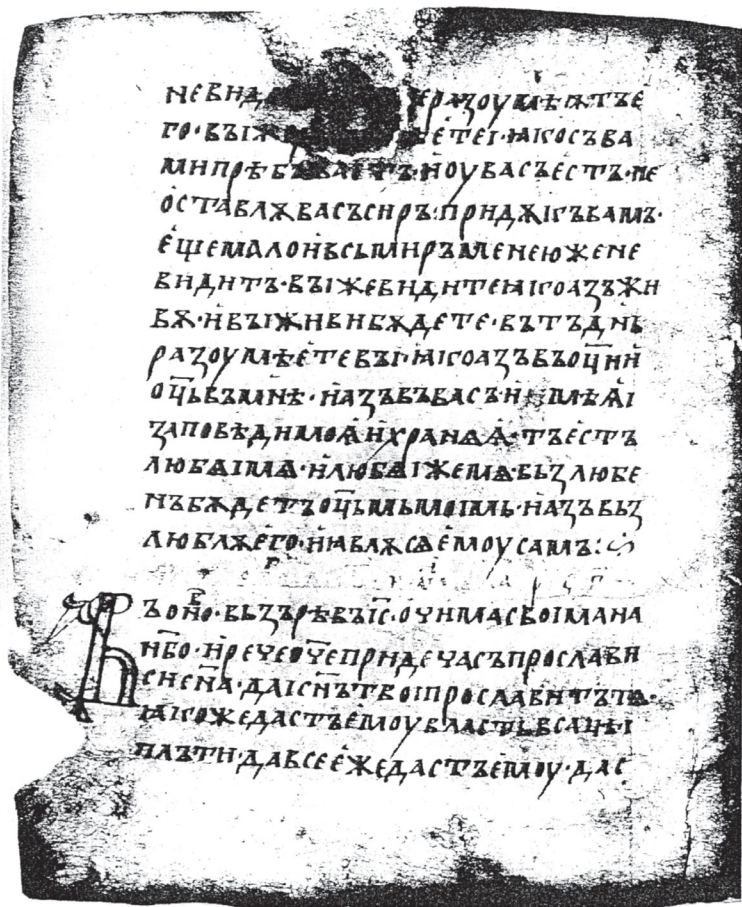
ОЦННОЦЬВЪЛН
 ЕУЕГЬСВОИМЪОУ ~~ОУ~~ ГЛЫ
 АЖЕАДЪГЛХБАМЪОСЕБНГЛХНЪ
 ОЦЕЖНЕВІНСАВЪЛННЪ ТЪТВОРН
 ТЪДЪЛАБЪРЖНМЪТЕМН.АИГОА
 ЗЪБЗОЦННОЦЬВЪЛННЪ.АЩЕЛНЖЕНН
 ЧАНСТАДЪЛАБЪРЖЕМДЕТЕМН.А
 ПНАМНГЛХБАМЪ.БЕРОУДЪБМДДЕ
 ЛААЖЕАДЪТВОРЖ.НЕИСТЕОРНТЪ.
 НЕБОЛЬШАИХЪСТЕОРНТЪ.АИГОАДЪКЪ
 ОЦЮГРАДЪ.НЕГОЖЕЩЕПРОСНТЕВН
 МАМОЕ.ТЪСТЕОРЖДАПРОСЛАЕНТЪ
 САОЦЕОСНА.НАЩЕУЕСОПРОСНТЕОИДДЕ
 ННМБЕМЪ.АДЪСТЕОРЖАЩЕИСТЪЛЮБН
 ТЪЛМА.НЪАПОЕДННМАСВЪЛЮДЕТЪ.
 НАДЪОУДЪЛХОЧА.НННОГООУБЕТЪ
 НННАДЪ.ТЪБАМЪДАСЪВАМНЕСЧА
 БЪЕВІСАДХНСТНННЪ.НЕГОЖЕБ
 СЪМНРЖНЕМОЖЕТЪПРНДТН.АИГО

25 а

1 11 ОЦН Н ОЦЬ ВЪ МН- -----
 2 **Р**ече ГЪ своимъ оууенникомъ. 10 ГЛЫ
 3 ѡже азъ глѡ вамъ о себѣ не глѡ. нѣ
 4 оцъ жнвѡи н сѡи въ мнѣ. тѣ творн-
 5 тѣ дѣла. 11 вѣрѡ нмѣте мн. ѡко а-
 6 зъ въ оцн н оцъ въ мнѣ. аще ли же нн
 7 за нстаѡ дѣла вѣрѡ ѣмлетѣ мн. 12 а-
 8 мн амн глѡ вамъ. вѣроуѡи въ ма дѣ-
 9 ла ѡже азъ творѡ. н вы створнтѣ.
 10 н больша снхъ створнтѣ. ѡко азъ къ
 11 оцю градж. 13 н ѣгоже аще проснтѣ въ н-
 12 ма мое. то створѡ да прославнтѣ
 13 сѡ оцъ о снѣ. 14 н аще уесо проснтѣ о нме-
 14 нн моѣмъ. азъ створѡ. 15 аще кто люен-
 15 тѣ ма. н заповѣдн моѡ съблюдетѣ.
 16 16 н азъ оумолѡ оца. н нного оувѣтѣ-
 17 ннка дастѣ вамъ. да съ вамн ѣстъ
 18 въ вѣкѣ. 17 дхъ нстинньнѣ. н ѣгоже въ-
 19 съ мнрѣ. не можетѣ приѡти. ѡко

Ин 14.11

Ин 14.10-21



256

1 НЕ ВНДѢТЪ ЕГО ꙗко ѿ разоумѣхъ ѿ
 2 ГО. ВЪТѢ ЖЕ разоумѣете ꙗко съ ва-
 3 мн прѣбываетъ. ꙗко оу васъ естъ. 18 не
 4 ѡставлѣ васъ сирѣ. прѣдѣ кѣ вамъ.
 5 19 еше мало ꙗко всѣ мнрѣ мене юже не
 6 вндѣтъ. вѣтѢ ЖЕ вндѣте ꙗко азъ жн-
 7 вѣ. ꙗко вѣтѢ жнвѣ бѣдете. 20 вѣтѢ днѣ
 8 разоумѣете вѣтѢ. ꙗко азъ вѣтѢ оу ꙗко ꙗко
 9 оу вѣтѢ мнѣ. ꙗко азъ вѣтѢ васъ. 21 ꙗко ꙗко
 10 заповѣдн моѣ ꙗко хранѣ ꙗко. тѣ естъ
 11 любѣ ма. ꙗко любѣ же ма. възлюбѣ-
 12 нѣ бѣдетъ оу вѣтѢ моимъ. ꙗко азъ въз-
 13 любѣ ꙗко. ꙗко ꙗко сѣ ꙗко самъ : ѿ
 14 нѣ ꙗко. ѿ. нѣ ꙗко ꙗко ꙗко

15 **ВѣтѢ оу.** ꙗко възвѣтъ ꙗко. оу вѣтѢ своима на
 16 нѣ. ꙗко реу оу прѣдѣ ꙗко прославн
 17 сн сѣ. да ꙗко сѣ твои прославнѣтъ тѣ.
 18 2 ꙗкоже дастъ ꙗко вѣтѢ всѣтѢ
 19 плѣтн. да все ꙗко дастъ ꙗко. дас-

Ин 17.1-13

БО ОТЪ СЕЛѢЗНА
 Н ТЕН · Н В И ДѢ С Т Е
 Н ГЛАГОШУ Ф Н
 Л И П Ѣ Г Н П О К А
 Ж И Н А Ш Ѣ О Ц А · Н
 Д О В Ъ Л Е Т Ъ Н А М Ъ
 ГЛАГОШУ Н И С Ѣ Т О
 Л И К О К Р Ѣ М А С Ѣ
 В А Ш И Н Е С М Ы Н Н Е
 П О З Н А Л И М Е Н Е
 Ф И Л И П Е В И ДѢ
 В Ъ И Н М Е Н Е В И ДѢ
 О Ц А · Н К А К О Т Ъ
 Г Л А Г О Ш И · П О К А Ж И
 Н А М Ъ О Ц А Н Е Б Ѣ
 Р О У Е Ш И Л И · Я К О
 А З Ѣ К Ѣ О Ц И Н О Ц Ѣ
 В Ъ М Ъ Н Ѣ Н С Т Ъ

Г Л Ъ И Ж Е А З Ъ Г Л Ю
 В А М Ѣ · О С Е Б Ѣ Н Е Г Л Ю
 О Ц Ѣ Ж Е П Р Ѣ Б Ъ В А Я
 К Ѣ М Ѣ Н Ѣ · Т Ъ Т К О
 Р И Т Ъ ДѢ Л А К Ѣ Р О У
 Н Т Е М Ъ Н Ѣ · Я К О А
 З Ѣ К Ѣ О Ц И Н О Ц Ѣ
 К Ѣ М Ѣ Н Ѣ

Е К Ѣ С Ж Б О · С Ѣ Н Е · Е В А Н ·

Е О Т Ъ Н О А Н А · Г Л А · Р К Ѣ

Р Е Ч Е Г Ъ · К Ѣ О У Е
 Н И К О М Ѣ С К О Н
 М Ѣ Г Л Ъ И Ж Е А З Ѣ
 Г Л Ъ В А М Ѣ · О С Е Б Ѣ
 Н Е Г Л Ъ О Ц Ѣ Ж Е П Р Ѣ
 Б Ъ В А Я К Ѣ М Ѣ Н Ѣ ·
 Т Ъ Т К О Р И Т Ъ ДѢ Л А
 В Ѣ Р Ж И М Ѣ Т Е М Ѣ

- БО О Т Ъ С Е Л Ъ З Н А
 К Т Е Н . Н В Н Д Ъ С Т Е
 8. Н Г Л А К М О У Ф Н
 Л Н П Ъ Г Н П О К А
 Ж Н Н А М Ъ О Ц А . Н
 Д О В Ъ Л К Т Ъ Н А М Ъ
 9. Г Л А К М О У Н І Г Ъ Т О
 Л Н К О В Р Ъ М А С Ъ
 В А М Н К С М Ъ Н Н Е
 П О З Н А Л Н М Е Н Е
 Ф Н Л Н П Е В Н Д Ъ
 В З Н М Е Н Е В Н Д Ъ
 О Ц А . Н К А К О Т З І
 Г Л К Ш Н . П О К А Ж Н
 10. Н А М Ъ О Ц А Н Е В Ъ
 Р О У К Ш Н Л Н . И К О
 А З Ъ В Ъ О Ц Н Н О Ц Ъ
 В Ъ М Ъ Н Ъ К С Т Ъ

- Г Л З І А Ж Е А З Ъ Г Л Ю
 В А М Ъ . О С Е Б Ъ Н Е Г Л Ю
 О Ц Ъ Ж Е П Р Ъ Б З І В А Я
 В Ъ М Ъ Н Ъ . Т Ъ Т В О
 11. Р Н Т Ъ Д Ъ Л Л В Ъ Р О У
 Н Т Е М Ъ Н Ъ . И К О А
 З Ъ В Ъ О Ц Н . Н О Ц Ъ
 В Ъ М Ъ Н Ъ . . .

Е В Ъ С Ж К О . ^Г С . ^А Н Е . ^Г С К А Н .
 Е О Т Ъ Н О А Н А . Г Л А . ^К Р К З . . .

Io.
 XIV.
 10.



- Е У Е Г Ъ . К Ъ О У У Е
 Н Н К О М Ъ С В О Н
 М Ъ Г Л З І А Ж Е А З Ъ
 Г Л Ж В А М Ъ . О С Е Б Ъ
 Н Е Г Л Ж О Ц Ъ Ж Е П Р Ъ
 Б З І В А Я В Ъ М Ъ Н Ъ .
 Т Ъ Т В О Р Н Т Ъ Д Ъ Л А
 11. В Ъ Р Ж Н М Ъ Т Е М Ъ

НѢ ІАКО АЗЪ БѢХО
 ТЫЦН НОЦЬ БѢМЪ
 НѢ АЩЕ АНЖЕ НН
 ЗАТАДѢЛА БѢ РОУ
 ННѢ ТЕМН АШН
 НЪ АШННЪ ГЛѢЖ
 БАШЪ БѢ РОУ ІАН
 БѢЛА ДѢЛА ІАЖЕ
 АЗЪ ТВОРИЖ НТЪ
 СЪ ТВОРИТЪ Н БО
 ЛѢША С НУХЪ СЪ ТВО
 РИТЪ ІАКО АЗЪ
 КЪ ОЦОУ ГРАДЖ Н
 ЮГОЖЕ КОЛНЖЪ ДО
 ПРОСИТЕ КЪ ИМА
 ШО ИТО СЪ ТВОРИЖ
 ДА ПРОСЛАВИТЪ СЯ
 ОЦЪ О СЫНОУ НА

ШЕ У ЕСОЛПРОСИТЕ КЪ
 ИМАШО И АЗЪ СЪ
 ТВОРИЖ АЩЕ АЮ БН
 ТЕМА ЗАПОВѢДН
 ШО ІА СЪ БЛЮДѢТЕ
 НАЗЪ ОУШО АЮ ОЦА
 ЗАВѢ НННОГО ПА
 РАКАН ТАДА СТЬ БЛА
 МЪ ДА ВЖДЕТЪ СЯ
 ВАШН БѢ БѢКЪ
 ДХЪ ИСТИННЪ И
 Н ЮГОЖЕ ШН РЪ Н
 МОЖЕ ТЪ ПРИІАТИ
 ІАКО НЕ БН ДНТЪ
 ЮГО ННЗНАЕ ТЪ
 ЮГО БѢЖЕЗНАЕ
 ТЕН ІАКО ВѢВАСЪ
 ПРОБѢВКАЮТЪ

- НѢ ИКО АЗЪ ВЪ О
 ТЫЦН. НОЦЬ ВЪ МЪ
 НѢ. АЩЕ ЛНЖЕ НН.
 ЗАТАДѢ АА ВЪ РОУ
 12. НМѢТЕ МН АМН
 НѢ. АМННѢ ГЛѢ
 ВА МЪ ВЪ РОУ ЛН
 ВЪ МАДѢ АА ЖЕ
 АЗЪ ТВОРИЖ. НТЪ
 ГЪ ТВОРНТЪ Н БО
 АШАСН ХЪ ГЪ ТВО
 РНТЪ. ИКО АЗЪ
 13. КЪ ОЦОУ ГРАДѢ Н
 ЕГОЖЕ КОЛНЖЪ ДО
 ПРОСИТЕ ВЪ НМА
 МОКТО ГЪ ТВОРИЖ.
 ДА ПРОСЛАВНТЪ СЯ
 14. ОЦЪ О ГИНОУ НА

- ШЕ УЕГО ПРОСИТЕ ВЪ
 НМА МОК. АЗЪ ГЪ
 15. ТВОРИЖ АЩЕ ЛЮБН
 ТЕ МА. ЗАПОВѢДН
 МОЯ ГЪ БЛЮДѢТЕ.
 16. НАЗЪ ОУМО ЛЮ ОЦА
 ЗАВЫ. НННОГО ПА
 РАКЛНТАДА ГЪ ВА
 МЪ. ДА БѢДѢТЕ ГЪ
 ВА МН ВЪ ВѢКЪ.
 17. ДХЪ Н ГТННЪ Н ЗИ
 Н. ЕГОЖЕ МН РЪ НЕ
 МОЖЕТЪ ПРНѢТН.
 ИКО НЕ ВНДНТЪ
 ЕГО НН ЗНАЕТЪ
 ЕГО ВЪ ЖЕ ЗНАЕ
 ТЕ Н ИКО ВЪ ВА ГЪ
 ПРѢБЫВАЕТЪ

НКЪ БАСЪ БѢДЕТЬ
 НЛЪ ИАНЪ АПОКѢ
 ДНЛО ИАНЪ БЛЮДА
 ІАНІА · ТЪ КЪ ТЪ ЛЮ
 БАНІА · А ЛЮ БАН
 ША ВЪЗЛЮБЛЕНЪ
 БѢДЕТЬ ОЦЪ МЪ ЛЮ
 НШЪ НАЗЪ ВЪЗЛЮ
 БЛЮН · НІА ВЛЮСА
 МЛОУСАШЪ ·

· НЕДѢЛА · З · ЕВАНГЕЛІЕ ·

· ОУТЪ ИОАННА · ГЛА · РИГ ·


 ВЪРЪШАМОНО ·
 ВЪЗВЕДЪНІСЪ
 ОУН · СВОННА · НЕ
 БО · ИРЕ · ОУЕ ·
 ПРОСЛАВНІСІ
 НЪ · Т · БО · Н · ДА · Н · СІ

НЪ · Т · БО · Н · ПРОСЛАВН
 ТЪ · ТА · ІА · КО · ЖЕ · ДА ·
 ЛЪ · КЪ · МОУ · КЪ · СІ · БЛА ·
 СТЬ · ВЪ · СІА · КО · ІА · ПЛЪ ·
 ТИ · ДА · КЪ · СІА · КО · Н ·
 ЖЕ · КЪ · СІ · МОУ · ДА · ЛЪ ·
 ДА · СТЬ · НІ · ТЪ · Ж · КО ·
 ТЪ · КЪ · У · Н · ЗІ · Н · СЕ ·
 ЖЕ · КЪ · СТЬ · Ж · И · КО · ТЪ ·
 ВЪ · КЪ · У · Н · ЗІ · Н · ДА ·
 З · НА · Ж · ТЪ · Т · Е · К · Е ·
 Д · Н · И · О · Г · О · Н · С · Т · Н · Ъ ·
 НА · А · Г · О · К · А · Н · Н · Г · О ·
 ЖЕ · ПО · СЪ · ЛА · Н · І · СО · У ·
 Х · А · ЗЪ · ПРОСЛАВН
 Х · Е · ТА · НА · З · Е · ТА · Н ·
 Д · Е · Л · О · СТЬ · ВЪ · РЪ · Ш · Н ·
 Х · Ъ · К · Е · ДА · ЛЪ · К · Е · С · Н ·

нѣвъвасѣбждетъ
 21. нмѣѡнзѡповѣ
 днмоѡнсѣблѡда
 ѡнѡ. тѣнстѡлю
 бѡнмѡ алюбѡн
 мѡвѣзлюбѡннѣ
 бждетѡцѣмѡмѡ
 нмѣназѣвѣзлю
 бѡюн. ннѡлѡсѡ
 кмѡуѡамѣ. . .

Ѣнедѣла: 3. Ѣвангеліе.

Ѣотѣнона. гла. рнг. . .

Іо.
 XVII.
 1.



ѡврѣмѡно.
 вѣзведѣнѣѡ
 оуногоннѡнѣ
 бонреѡе оѡе.
 прославнѣнѣ
 нѣтѡн. данѣнѣ

нѣтѡнпрославн
 2. тѣтѡ нкожеда
 лѣнмоуѡснѡла
 етѣ. вѣсѡкоѡпѡлѣ
 тн. даѡвѣсѡкоѡ
 жеѡснѡмоудѡлѣ.
 даетѣнмѣжнѡ
 3. тѣѡѡѡнѡн ѡс
 жеѡетѣжнѡтѣ
 вѣѡѡнѡн. да
 знаѡтѣтѣѡсн
 днногонѣтннѣ
 наѡгоѡ. нѡго
 жеѡѡѡла нѣѡу
 4. ѡа азѣпрославн
 ѡѣтѡназѣмѡн
 дѡѡѡѡѡѡѡн
 ѡѣѡжедаѡѡѡн

ЕВАНГЕЛИЯ ПРАЗДНИКОВ НЕПЕРЕХОДЯЩИХ

Сентябрь, в 8-й день. Рождество Пресвятой Богородицы

На утрени: Дева Мария в доме Елисаветы (Лк 1:39–49, 56, зачало 4-е).

Въ дни оны воставши маріамъ нде въ горнаа

Воставши же маріамъ во дни тыа
йде въ гѡрнаа съ тѣаніємъ, въ
градѣ іудовѣ. | И вниде въ дѡмъ захă-
ріинъ и цѣлова ѳісаветь. | И высть,
ѣкѡ оуслыша ѳісаветь цѣлованіе
маріино, взыграа младенецъ во чре-
вѣ ѳа: и испѡлниса дѣа. ста ѳіса-
веть. | И возопи гласомъ велиимъ и
речѣ: благословена ты въ женѣхъ,
и благословенъ плодъ чрева твоегѡ. |
И ѡбѣда мнѣ сѣ, ꙗко прійде мѣи гда
моегѡ ко мнѣ; | Сѣ во, ꙗкѡ высть
гласъ цѣлованіа твоегѡ во оушю
моёю, взыграа младенецъ радоща-
ми во чревѣ моёмъ. | И влаженна
вѣровавшаа, ꙗкѡ вѣдетъ совершеніе
глагланымъ ѳи ѡ гда. | И речѣ марі-
амъ: величитъ душа моя гда, | И воз-
радоваса дѣхъ мой ѡ вѣѣ спсѣ мо-
ёмъ. | И ꙗкѡ призрѣ на смиреніе рабы
своеѡ: сѣ, во ѡнынѣ оублажатъ мѡ
вси роди. | И ꙗкѡ сотвори мнѣ величіе
сильный, и сѣо ѡмѡ ѳгѡ. | Превысть
же маріамъ съ нею ꙗкѡ три мѣцы:
и возвратиса въ дѡмъ свой.

³⁹Встав же Мария во дни сии, с по-
спешностью пошла в нагорную стра-
ну, в город иудин, ⁴⁰и вошла в дом За-
харии, и приветствовала Елисавету.
⁴¹Когда Елисавета услышала привет-
ствие Марии, взыграл младенец во
чреве ее; и Елисавета исполнилась
Святаго Духа, ⁴²и воскликнула гром-
ким голосом, и сказала: благословен-
на Ты между женами, и благословен
плод чрева Твоего! ⁴³И откуда это мне,
что пришла Матерь Господа моего ко
мне? ⁴⁴Ибо когда голос приветствия
Твоего дошел до слуха моего, взыграл
младенец радостно во чреве моем. ⁴⁵И
блаженна Уверовавшая, потому что
совершится сказанное Ей от Господа.
⁴⁶И сказала Мария: величит душа Моя
Господа, ⁴⁷и возрадовался дух Мой о
Боге, Спасителе Моем, ⁴⁸что призрел
Он на смирение Рабы Своей, ибо от-
ныне будут ублажать Меня все роды;
⁴⁹что сотворил Мне величие Сильный,
и свято имя Его, ⁵⁶Пребыла же Мария
с нею около трех месяцев, и возврати-
лась в дом свой.

На литургии: Иисус у Марфы и Марии. Благословение Богоматери
(Лк 10:38–42, 11:27–28, зачала 54-е и 58-е)

Во вѣмѡ оно вниде инсъ въ весь нѣкѡю

Бысть же ходѡщимъ ѡмъ, и самъ
вниде въ весь нѣкѡю: жена же нѣ-
каа ѡменемъ марѡа пріятъ ѳгѡ въ

³⁸В продолжение пути их пришел
Он в одно селение; здесь женщина,
именем Марфа, приняла Его в дом

дóмъ свóй. | И сестрѣ ѿ бѣ нарицае-
маѣ маріа, ꙗже и сѣдши при ногѣ
и́исовѣ слышаше слово е́гѡ. | Ма́рда
же мо́лваше ѡ мно́зѣ слѣжеѣ, ста́в-
ши же, рече: гди, не врежѣши ли,
ѡ́кш сестрѣ моѣ́ е́динѣ ма́ ѡста́ви
слѣжити; рци ѡ́вѡ ѿи, да ми помо́-
жетъ. | Ѣвѣща́въ же и́исъ рече ѿи:
ма́рдо, ма́рдо, пече́шисѣ и мо́лвиши
ѡ мно́зѣ, | е́дино же ё́сть на потрё-
вѣ: ма́ріа же вла́гѡ ча́сть и́звѣра,
ѡ́же не ѡи́метсѣ ѡ неѣ. | Бѣи́тъ же,
е́гда глаго́лаше сѣѣ, воздви́гши нѣ-
каѣ женѣ гла́съ ѡ наро́да рече е́мѣ:
влаже́но чре́во, носѣвшее тѣѣ, и сосца́,
ѡ́же е́си съсѣѣ. | Ѣнѣ же рече: тѣѣм-
же ѡ́вѡ влаже́ни слы́шащїи слово
бжїе и храни́ще е́.

свой;³⁹у неё была сестра, именем Ма-
рия, которая села у ног Иисуса и слу-
шала слово Его. ⁴⁰Марфа же заботи-
лась о большом угощении и, подой-
дя, сказала: Господи! или Тебе нуж-
ды нет, что сестра моя одну меня ос-
тавила служить? скажи ей, чтобы по-
могла мне. ⁴¹Иисус же сказал ей в от-
вет: Марфа! Марфа! ты заботишься и
суетишься о многом, ⁴²а одно только
нужно; Мария же избрала благую
часть, которая не отнимется у неё.
²⁷Когда же Он говорил это, одна жен-
щина, возвысив голос из народа, ска-
зала Ему: блаженно чрево, носившее
Тебя, и сосцы, Тебя питавшие! ²⁸А Он
сказал: блаженны слышащие слово
Божие и соблюдающие его.

Сентябрь, Воскресенье между 8 и 13 сентября. Неделя перед Воздвижением
На литургии: Пророчество о распятии (Ин 3:13–17, зачала 9-е и 10-е,
см. Четверг после Пасхи и Вторник 2-й недели после Пасхи)

На литургии: Допрос у Пилата. Распятие и смерть Иисуса
(Ин 19:6–11, 13–20, 25–28, 30–35, зачала 60-е и 61-е).

Во время оно совѣтъ сотвориша архіереѣ и старци на іисѣса,
ѡ́ко да оубію́тъ его. и привѣдоша его къ пѣлатѣ,
глаголюще: возъмн, возъмн, распни его.

Е́гда же ви́дѣша е́гѡ архіере́е и слѣ-
гѣ возопѣша, глаголюще: | Распни рас-
пни е́гѡ. Глаго́ла и́мъ пѣлатъ: поимѣ-
те е́гѡ вѣи и распнитѣ: ѡ́зъ во не ѡв-
рѣ́таю въ не́мъ винѣи. | Ѣвѣща́ша
е́мѣ іѡде́е: мы зако́нъ и́мамы, и по
зако́нѡ на́шемѡ до́лженъ ё́сть о́у́мрѣ-
ти, ѡ́кш севѣ сѣѣ вѣи́ѣм сотвори. | Е́гда
же слы́ша пѣлатъ сѣѣ слово, пѣче о́у́во-
ѣсѣ. | И ви́иде въ прѣтѡ́ръ па́ки и

⁶Когда же увидели Его первосвящен-
ники и служители, то закричали: рас-
пни, распни Его! Пилат говорит им:
возьмите Его вы, и распните; ибо я не
нахожу в Нем вины. ⁷Иудеи отвечали
ему: мы имеем закон, и по закону на-
шему Он должен умереть, потому что
сделал Себя Сыном Божиим. ⁸Пилат,
услышав это слово, больше убоялся.
⁹И опять вошел в преторию и сказал

а	ѣтъ кѣсѣтъ	1	в	дѣножіѣ но	
	жагаѣмъ ѿх	2		гама тѣонма ·	
	жрьтѣ · 34. ѿсѣ	3		37. самъ оубо дѣтъ ·	
	же кндѣкѣ ѿ ·	4		нарицаѣтъ	
	ѣко съмънсаъ	5		гѣ · ѡтъ кждоу	
	но ѡтъкѣща · Рѣ	6		снѣ ѣмоу ѣтъ ·	
	че ѣмоу · не да	7		ѿ многоу наро	
	лече ѣси ѡтъ	8		дѣ · слоушаа	
	црстеіа бжѣ · ѿ	9		ше ѣго кѣ сласть · · · —	
	никтоже не съм	10		мѣца то ѿ Рѡдстео	
	ѣаше ѣго к томоу	11		стѣна гжда бѣа · · —	
	къпросіті · 35. ѿ	12		· · · ѣна ѡ лоу гѣа ѿ ѿ · · —	
	ѡтъкѣщаеъ	13		ѿ ѡ 38. Кѣ	Lukáš
	ѿсѣ · оуча гѣа	14		ниде ѿс	10.
	аше кѣ цркѣ · Ка	15		кѣ кѣс	
	ко гѣжтъ кѣни	16		ѣтерж ·	
	жѣни · ѣко	17		жѣна же ѣ	
	хѣ снѣ дѣкѣ	18		тера ѿменемъ	
	ѣтъ · 36. тѣ бо	19		марта приѣ	
	рече дѣмъ ст	20		тѣ ѿ кѣ домъ	
	ѣмъ · Рече гѣ	21		скоѿ · 39. ѿ се ѣн бѣ	
	гю моѣмоу · сѣ	22		сестра · нари	
	дѣ ѡ дѣснжѣ	23		цаѣмаа мѣрѣ	
	мене · Донде	24		ѣже ѿ сѣдѣши	
	же положж кра	25		при ногоу ѿскоу ·	
	гѣн тѣоѣ · по	26		слѣншааше сло	

БРЗІ НЗНАЖМОА НЗНАЖТЗМА
 МОА ІАГОЖЕЗНАТЗМА ОЦЬ НАЗ
 ЗНАЖОЦА НДІОЖДОТЗПААГАЖДА
 ОБЬЦА НОНЗІОБЫЧНІААМІАЖЕ
 НЕСХТЗОЧЗДБРАСЕЖУНТЗІАДПО
 ДОПАСЬПРНЕССТЫНПЛАСБІАЖЕ
 ШАТЗНЕЖДСТЗДНІОСТІАДОНЕ
 ДННЗПАСТРОУХЖЕТЕТЕ
 ВТОНОЖШТАЖЕННА ПСА
 ЕЛІА СІНЕ ПОБЕЖІД НЕНТ ПОД

ВТОНОЖШТАЖЕННА ПСА
 ЕЛІА СІНЕ ПОБЕЖІД НЕНТ ПОД

РНІА ПСА

ХСЕГОЖДС

РДОМО ВІНІА СЕЗДЕСЬ ДННЖЖЕНА
 ЖСЕДННАЖЕНСАЛЛАРТА ПРН
 ТЗІВЗДОЛАСЕОІ ІСЕСЕБСЕ
 СТРАНІМЕНІАЛЛАРНІАЖЕНС
 ДЗІОНІРН НОГОУТОБЛІШАНЕ
 СЛОВОСГДЛАРТАЖЕПЛАХВІШЕОІМО

127 а

126 а

1 БРЪ. ꙗ ꙗЗНАѢ МОА. ꙗ ꙗЗНАѢТЪ МА
 2 МОА. 15 ꙗКОЖЕ ꙗЗНАѢТЪ МА ОЦЪ. ꙗ АЗЪ
 3 ЗНАѢ ОЦА. ꙗ ДШЖ МОѢ ПОЛАГАѢ ЗА
 4 ОВЬЦА. 16 ꙗ ОНЫ ОВЬЦА ꙗМАМЪ. АЖЕ
 5 НЕ СЖТЪ ОТЪ ДВОРА СЕГО. ꙗ ТЪ МН ПО-
 6 ДОБАѢТЪ ПРИВЕСТИ. ꙗ ГЛАСЪ МОИ СЛЫ-
 7 ШАТЪ. ꙗ БЖДЕТЪ ЕДННО СТАДО. ꙗ Е-
 8 ДННЪ ПАСТОУХЪ. ѿ МЪ С СЦЕННѢ БЦН
 9 ЕВА Ѡ НѠА. ВЪ ОНѢ. 22 БЪИША СЦЕННА. ПСА
 10 ВЪ ПА Е НЕ ПО ВЕЛНЦЪ ДНЕ Ѡ ПОЛЪ. МЪ Н
 11 РОЖДЪСТВО БЦН ЕВА Ѡ ЛѢ НА УТРО-
 12 СЪ ВЪ ОНѢ. 39 ВЪСТАВЪШИ МАРИА. ПСА
 13 А СЕГОЖДЕ. А СЕ НА АНТЪРЪГНИ ЕВА Ѡ ЛѢ
 14 **ВЪ** ОНѢ. 38 ВЪНДЕ ІС ВЪ ВСЪ ЕДННЖ. ЖЕНА
 15 ЖЕ ЕДННА НМЕНЕМЪ МАРТА. ПРИА-
 16 ТЪ І ВЪ ДОМЪ СВОИ. 39 ꙗ СЕ ЕІ БЪ СЕ-
 17 СТРА НМЕНЕМЪ МАРИА. АЖЕ ꙗ СЪ-
 18 ДЪШН ПРИ НОГОУ ІСОУ СЛЫШАШЕ
 19 СЛОВО ЕГО. 40 МАРТА ЖЕ МЛЪВЪШЕ О МНО-

Ин 10.22

Лк 1.39

Лк 10.38–42

127 6

126 6

- 1 ꙗꙋ слоꙋжѣѣ• ставѣши реꙋе• ꙗꙋ не
 2 брѣжеш лн ꙗко сестра моѧ ѣдн-
 3 нѧ ма ѡстави слоꙋжити тебѣ•
 4 рьци оꙋбо ѣи да ми поможетъ• 41 ѡ-
 5 тѣвѣщавъ же ꙗꙋ реꙋе ѣи• маѣрта
 6 маѣрта• пеꙋешн сѧ ѧ маѣвн ѡ мно-
 7 ꙗꙋ• 42 ѣдно же ѣстъ на пользѧ• ма-
 8 рниѧ жѣ благѧѧ ꙋасть ѧзбра• ꙗже
 9 не ѡтѣѧметъ сѧ ѡтѣ неѧ• 27 бѣистъ•
 10 же ѣгда глаше се• въздвигъши
 11 гласъ ѣднѧ жена• ѡтѣ на-
 12 рода• реꙋе ѣмоꙋ• блажена-
 13 ѧ жѣтрова ношышнѧ тѧ• ѧ съсъца
 14 ѧже ѣсн съсалъ• 28 ѡнъ же реꙋе• тѣмъ-
 15 же оꙋбо блаженни• слышѧщеи сло-
 16 во бжнѣ ѧ хранѧще ѣ : ѡ мѣ ѡ
 17 ÷ стаго ѧкнма ѧ анѧнѧѧ ѣѧ ѡ лѡꙋ
 18 ÷ реꙋе ꙗꙋ 16 ннктоже свѣтнѧннѧ
 19 ÷ въжегъ• ꙗꙋ ꙗꙋ сѧ лѡꙋ• мѣ ꙗꙋ поклоне-

Лк 11.27-28

Лк 8.16

НЮ ВЪЗНГРА
 САМЛАДЕНЦЬ
 РАДОЩАЛНЬ
 УРЪБЪШОМЬ
 НЕЛЖЕНА
 ЖЕВЪРОКА
 КОБЪДЪСЬ
 КЪРШЕННГЛА
 НЪШНЪННО
 ТЪГА НРЕУ
 ШАРНА ВЕЛН
 УНТЪДШАЛО
 МА НЪЗДРА
 ДОБАСАДЪ
 ШОН ОБОЗЪСЬ
 ПАСЪШОМЬ
 ТАКОПРИЗЪРЪ
 НАСЪШЪРЕНН

РАБЫ БОЖІА СЕ
 БОУТЪ СЕЛЪБЛА
 ЖАТЪМАВЪСН
 РОДН ТАКОСЪ
 ТВОРНШЪНЪ
 ВЕЛНУНЕСНА
 НЪН НСТО
 МАГО ПРЪБЪ
 СЪЖЕЛАРНІА
 СЪННІА ТАКО
 ТРНІЕСАЦА
 НЪЗВРАТН
 САКЪДОМЪ
 СБОН

АСНАЛНТОУРЪНН
 СКА ОУТЪЛОУТЛАРЪВ



ВЪРЪША
 НО ВЪННДЕ

К Ю · ВЪ З Н Г Р А
 Г А М Л А Д Е Н Ъ Ц Ъ
 Р А Д О Ш А М Н ВЪ
 У Р Ъ ВЪ М О К М Ъ
 45. Н Б Л А Ж Е Н А И
 Ж Е ВЪ Р О В А · И
 К О Б Ж Д Е Т Ъ ГЪ
 ВЪ Р Ш Е Н Н К · Г Л А
 Н З И Н МЪ К Н О
 46. ТЪ Б А Н Р Е У Е
 М А Р Н И В Е Л И
 У Н ТЪ Д Ш А М О
 47. И Г А Н ВЪ З Д Р А
 Д О В А Г А Д ХЪ
 М О Н · О Б О ЗЪ ГЪ
 П А ГЪ М О К М Ъ
 48. И К О П Р Н ЗЪ РЪ
 Н А ГЪ МЪ Р Е Н Н К

Р А БЪ Г В О К И А Г Е
 Б О О ТЪ Г Е ЛЪ Б Л А
 Ж А ТЪ М А ВЪ Г Н
 49. Р О Д Н И К О ГЪ
 Т В О Р Н МЪ НЪ
 В Е Л И У Н К Е Г Н А Ъ
 Н З И Н Н Е Т О Н
 56. М А К Г О · П РЪ БЪ
 Г ТЪ Ж Е М А Р Н И
 ГЪ Н К И Ж · И К О
 Т Р Н МЪ Г А Ц А ·
 Н ВЪ З В Р А Т И
 Г А ВЪ Д О МЪ
 Г В О Н · · —

А С Е Н А Л И Т О У Р Г И Н · · —
 Е С К А · О ТЪ Л О У · Г Л А · Р К К · · —

Лук.
 X.
 58. БЪ В РЪ М А О
 Н О · ВЪ Н Н Д Е



НІГ ВЪ ВЪГЪ ЁТЕ
 РѢЖЕНАЖЕЕТЕ
 РА Н М Е Н Е М Ъ МА
 РѢА ПРНѢТЪ
 Н ВЪ ДОМЪ СВО
 39. Н Н Г Е Н Ъ Ъ Г Е СТ РА ·
 НА Р Н Ц А К Е М А Н
 МА Р Н И И Ж Е Н
 Г Ъ Д Ъ Ш И П Р Н Н О
 ГОУ НІГОВОУ ГА ДИ
 Ш А А Ш Е С Л О В О
 40. К Е Г О Н М А РѢА ·
 М Ъ Л Ъ В А М А Ш Е
 О М Ъ Н О З Ъ Г Л О У
 Ж Ъ Б Ъ Г Т А В Ъ
 Ш И Ж Е Р Е У Е Г Н
 Н Е Б Р Ъ Ж Е Ш И А И
 И К О Г Е СТ РА М О И

К Д Н И Ж М Л О С Т А
 В Н Г Л О У Ж И Т И
 Р Ъ Ц Н О У Б О К И ·
 Д А М И П О М О Ж Е
 41. Т Ъ О Т Ъ В Ъ Ц А
 В Ъ Ж Е Р Е У Е К И
 НІГ МА РѢА МА
 РѢА П Е У Е Ш И
 Г М И М Ъ Л Ъ В И Ш И
 42. О М Ъ Н О З Ъ К Д И
 Н О Ж Е К Е Т Ъ И А
 П О Т Р Ъ Б Ъ М А
 Р И И Б О · Б Л А Г Ъ
 И Ж У М Е Т Ъ И З Ъ
 РА · ІА Ж Е Н Е О Т Ъ
 Н М Е Т Ъ Г Л О Т Ъ
 XI. 27. Н К ІА Б Д И Г Т Ъ
 Ж · К Г Д А Г Л А А

ШЕ СН ВЪЗДАН
 ГЪШНИ БЛА
 ЖЕНА ГЛАСЪ ОТЪ
 НАРОДА РЕЧЕШОУ
 БЛАЖЕНОЕ ТРЕ
 БО ПОШЕШЕ ТА
 НСЪ БЦА ИЖЕ
 КСНСЪ СЛЪ ОНЪ
 ЖЕ РЕЧЕ ТЕМЪ
 ЖЕ ОУ БО БЛАЖЕ
 НИ СЛЫШАШЕ
 Н СЛОВЕ БЖИЕ Н
 ХРАНАШЕ К
 ДА ТОГО ПА СТОУМОУЕНО
 А КИМОУ НАНЪ
 СЕБА ОТЪЗЛОУ ГЛА О Ф
 РЕЧЕ ГЪ НИ КЪТО
 ЖЕ КЪТНАЛНИ

КАВЪЖЕ ГЪ ННН
 ВЪЖ. С. НОВОУМОУА
 ИЩА ТОГО ПОКЛОНИНИСТОУ
 МОУНУСТЫНОУМОУКРСТОУ
 СЕБА ОТЪЗМАТ ГЛА 98
 РЕЧЕ ГЪ НЖЕЛЮБН
 ТЬОЦАНН ТРЕ ПР
 ИСТЫННО ВЪЖ. З. ПО Н
 ИЩА ТОГО СТРАСТАГОМКА
 АНОДОРА ИСТЫАМЦА ФЕДО
 РЪ И ПОКЛОНИНИСТОУ
 УБЫТНОУМОУКРСТОУ
 СЕБА ОТЪЗНОАНА ГЛА КА
 РЕЧЕ ГЪ КХОУТ
 НИКОМЪ БОН
 ИШЕ ТАКО ВЪЗЛЮ
 БИ БЪ И ПРА ПР
 ИСТАПННО ВЪВЪТОРН

ШЕГН ВЪЗДВН
ГЪШННЪКАИ
ЖЕНАГЛАГОТЬ
НАРОДАРЕУЕМОУ
БЛАЖЕНОУРЪ
ВОНОШЬШЕНТА
НГЪГЪЦА ИЖЕ
28. КЕНГЪГАЛЪОНЪ
ЖЕРЕУЕ. ТЪМЪ
ЖЕОУБОВАЛАЖЕ
НН. ГЛЫШАЩЕ
НГЛОВОБЖИЕН

ХРАНАЩЕН. —
М^ѿца. того. па. стоумоу. но
акимоу нанѣ.

ЕБА. ОТЪЛОУ. ГАА. ОА.

РЕУЕГЪ. ННКЪТО
ЖЕГВЪТНАЛНН

КАВЪЖЕГЪ. — НЦН
КЪЖ. Б. НОКОУМОУА.

М^ѿца. того. поклонениестоу
моу нустьноумоу крстоу.
ЕБА. ОТЪМАТ. ГАА. Б.

РЕУЕГЪ. НЖЕЛЮБН
ТЪОЦАНМТРЕ. — ПРЖ
ЮСТЬПИСАНО. ВЪЖ. З. ПО. Н.

М^ѿца. того. страстаагемка
анодора. истыа мцаа. еодо
рзи. и поклонениестоу н
устьноумоу крстоу.

ЕБА. ОТЪНОАНА. ГАА. КА.

РЕУЕГЪ. КЪОУУЕ
ННКЪТОМЪСВОН
МЪ. ТАКОВЪЗЛЮ
БНБЪМНРА ПРЖ
ЮСТЬПИСАНО. КЪКЪТОРН.

井 上 幸 和

神戸市外国語大学教授

バルト・スラヴ語学専攻

Toshikazu INOUE

Kobe City University of Foreign Studies

9-1, Gakuen Higashi-machi, Nishi-ku,

Kobe City JAPAN 651-2187

[p075343@inst.kobe-cufs.ac.jp]

研 究 叢 書 第 50 冊

2012年3月23日 印刷

2012年3月28日 発行

発行所

神戸市西区学園東町9-1
神戸市外国語大学外国学研究所

印刷所

神戸市灘区友田町3丁目2-3
中村印刷株式会社

Серия монографии, том 50

ПРОГУЛКА ПО АСЕМАНИЕВУ ЕВАНГЕЛИЮ

ИНОУЭ Тосикадзу

Институт иностранных языков г.Кобэ

2012